

M-001 建築図参照

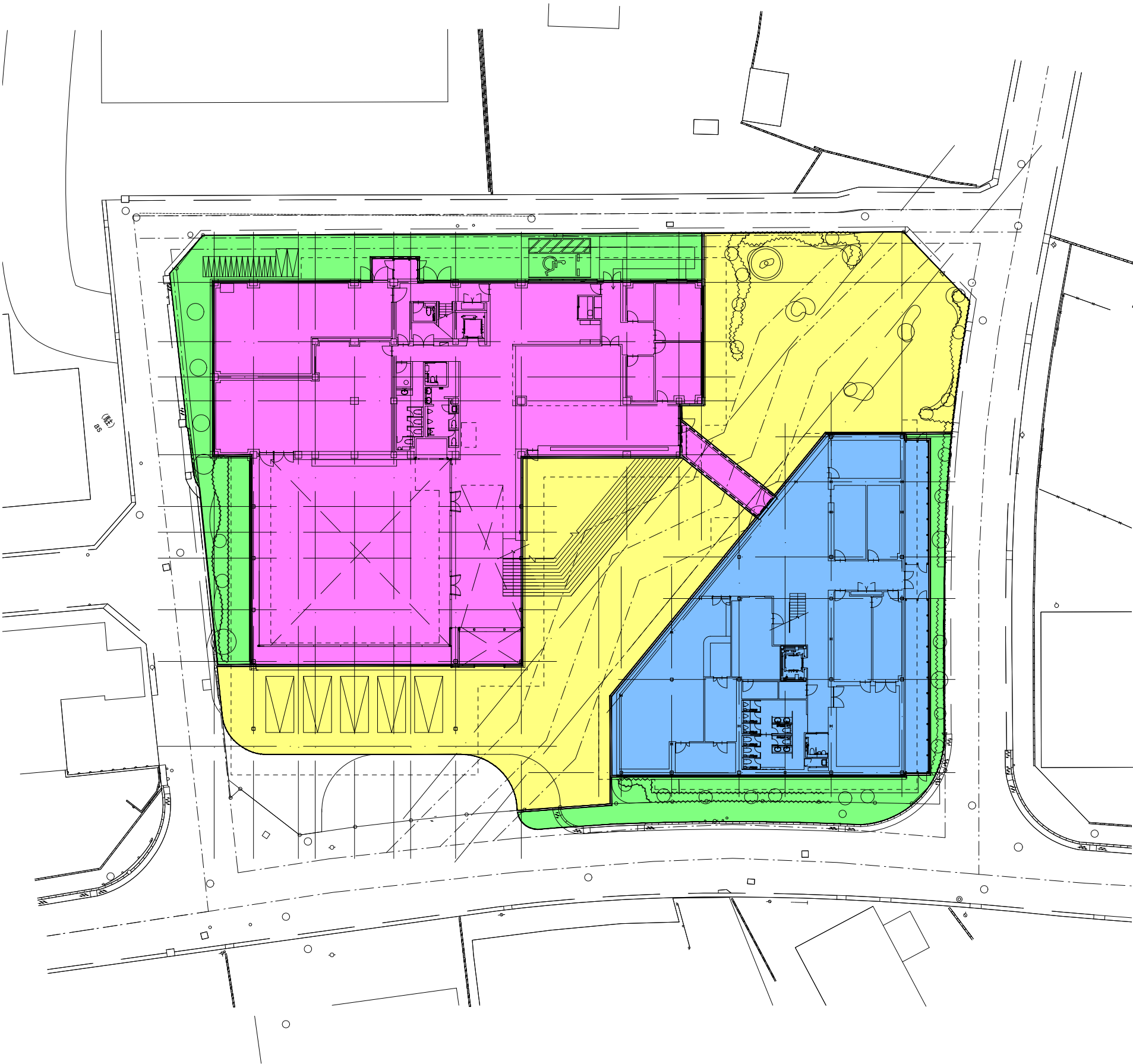
図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)
M- 000	図面リスト	N.S	N.S	M- 201	自動制御設備 計装図(1)	N.S	N.S	M- 301	給排水設備 機器表	N.S	N.S
M- 001	建物概要・敷地案内図	N.S	N.S	M- 202	自動制御設備 計装図(2)	N.S	N.S	M- 302	給排水設備 器具表	N.S	N.S
M- 002	特記仕様書(1)	N.S	N.S	M- 203	自動制御設備 計装図(3)	N.S	N.S	M- 303	給排水設備 配管系統図	N.S	N.S
M- 003	特記仕様書(2)	N.S	N.S	M- 204	自動制御設備 計装図(4)	N.S	N.S	M- 304	給排水設備 外構図・樹リスト	1/200	1/400
M- 004	工事区分表(1)	N.S	N.S	M- 205	自動制御設備 計装図(5)	N.S	N.S	M- 305	給排水設備 ビット 配管平面図	1/100	1/200
M- 005	積算区分範囲図	1/200	1/400	M- 206	自動制御設備 計装図(6)	N.S	N.S	M- 306	給排水設備 1階 配管平面図	1/100	1/200
M- 006	凡例リスト	N.S	N.S	M- 207	自動制御設備 中央監視システム図(1)	N.S	N.S	M- 307	給排水設備 2階 配管平面図	1/100	1/200
				M- 208	自動制御設備 中央監視システム図(2)	N.S	N.S	M- 308	給排水設備 配管詳細図(1)	1/50	1/100
M- 101	空調換気設備 機器表(1)	N.S	N.S	M- 209	自動制御設備 中央監視システム図(3)	N.S	N.S	M- 309	給排水設備 配管詳細図(2)	1/50	1/100
M- 102	空調換気設備 機器表(2)	N.S	N.S	M- 210	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(1)	N.S	N.S	M- 310	消火設備 配管系統図	N.S	N.S
M- 103	空調換気設備 機器表(3)	N.S	N.S	M- 211	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表(2)	N.S	N.S	M- 311	消火設備 1階 配管平面図	1/100	1/200
M- 104	空調換気設備 機器表(4)	N.S	N.S	M- 212	自動制御設備 ビット 平面図	1/100	1/200	M- 312	消火設備 2階 配管平面図	1/100	1/200
M- 105	空調換気設備 機器表(5)	N.S	N.S	M- 213	自動制御設備 1階 平面図	1/100	1/200				
M- 106	空調換気設備 制気口・チャンパースト	N.S	N.S	M- 214	自動制御設備 2階 平面図	1/100	1/200	M- 401	参考図 厨房機器配置図・機器リスト	1/30	1/60
M- 107	空調換気設備 ダクト系統図	N.S	N.S	M- 215	自動制御設備 凡例・明細	N.S	N.S				
M- 108	空調換気設備 ビット ダクト平面図	1/100	1/200								
M- 109	空調換気設備 1階 ダクト平面図	1/100	1/200								
M- 110	空調換気設備 2階 ダクト平面図	1/100	1/200								
M- 111	空調換気設備 ダクト詳細図(1)	1/50	1/100								
M- 112	空調換気設備 ダクト詳細図(2)	1/50	1/100								
M- 113	空調換気設備 ダクト詳細図(3)	1/30	1/60								
M- 114	空調換気設備 配管系統図	N.S	N.S								
M- 115	空調換気設備 1階 配管平面図	1/100	1/200								
M- 116	空調換気設備 2階 配管平面図	1/100	1/200								
M- 117	空調換気設備 配管詳細図(1)	1/50	1/100								
M- 118	空調換気設備 配管詳細図(2)	1/50	1/100								
M- 119	排煙設備 ダクト系統図・2階ダクト平面図	1/100	1/200								

特記仕様書(1)		仕様が複数ある場合の当仕様書における適用：●の項目や事項を適用対象とし、○は適用対象外とする。（ただし、弁別区分表及び工事区分表は除く。） 工事見込形態によって、「監督員及び監理者」は「監督員または監理者」等、適宜読み替えるものとする。	
第1章 工事概要		5.監督員及び 監理者の備品	次の什器備品や図書類について、監督員及び監理者が使用する事務所に設置する。 なお、同什器備品に関する経費及びそれに伴う通信費や消耗品などの経費も受注者の負担とする。 ○ パソコンコンピュータ（Windows仕様、ネットワーク対応） ○ 同アプリケーション（Word、Excel、AutoCAD、PDF） ○ 電話機（局線1回線） ○ 事務机、椅子 ○ 書類用スチールラック ● 公共建築工事 標準仕様書、標準図、監理指針（最新版） ● 建築関係法令集（最新版）
1.工事名称	東海市創造の杜交流館建設工事	6.本受電後の 保安体制と 管理業務	本受電後、竣工引渡までの当該及び関連機器に対する保安体制の確立と点検及び計測を含む管理業務は、全て受注者による対応とし、その経費の一切は受注者の負担とする。なお、業務に関する詳細は、電気主任技術者、監督員及び監理者との協議、指示事項とする。
2.工期	2024年01月04日 ～ 2025年03月31日 （ 1年3ヵ月 ）	7.経年検査	本工事の竣工引渡後1年を経過した時期に、発注者、監督員及び監理者立会による経年検査を実施する。受注者は現場代理人及び各工種担当者を含めた体制で受検するものとし、経年検査にて指摘を受けた不適切な施工もしくは施工不良、機器不良などに起因する故障、破損などの不具合は、直ちにその発生原因を含めて改善すること。 なお、受検及び改善に関する経費の一切は受注者の負担とし、詳細は監督員及び監理者との協議による。
3.敷地概要	工事場所 愛知県東海市横須賀町貳11 用地地域 商業地域 敷地面積 建築図参照 m2	8.実施工程表	工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督員及び監理者の承諾を受けること。 なお、実施工程表作成においては、搬入や受電、通水などの工程上重要となる段階や事項、官公署に対する協議申請時期、主要機器製作に関する承諾計画と工場製作期間などの情報を明示すること。
4.建物概要	建物用途 (建築基準法) 建築図参照 (消防法) 北棟(一)項 ロ 集会所、南棟(一)項 イ 劇場 階数高さ 地下―階/地上2階、塔屋―階 建築物の最高高さ： 建築図参照m 構造種別 鉄筋コンクリート造、鉄骨造 耐火種別 耐火建築物 建築面積 北棟 建築図参照 m2 南棟 建築図参照 m2 延床面積 北棟 建築図参照 m2 南棟 建築図参照 m2	9.施工計画書、 施工要領書	(1) 工事着手後、直ちに施工計画書及び施工要領書を作成し、監督員及び監理者の承諾を受けること。なお、その構成については標準資料の単純複写を避け、当該現場における特性やポイント、設計内容などを十分に反映させたものとする。 (2) 搬入計画や試験調整計画などの工種別施工要領書は、その施工要領や留意点などの詳細事項を表現した内容で、工程進捗や現場における各種調整事項に対応したものを作成し、当該工種の着手前に提出、承諾を受けること。
5.工事項目	種別 ● 新築 ○ 増築 ○ 改修 工事種目 工事種目構成と工事範囲及び見積り範囲は次に示すものとする。 1.空気調和設備 6.給水設備 11.屋外排水設備 2.換気設備 7.排水設備 12. 3.排煙設備 8.給湯設備 13. 4.自動制御設備 9.消火設備 14. 5.衛生器具設備 10.屋外給水設備 15.	10.総合図	建築工事、各種設備工事、その他関連する工事間の相互調整との整合を図る目的で、総合図として機器及び器具類の平面配置図、天井伏図、展開図などを作成し、施工図作成前に監督員及び監理者の承諾を受けること。なお、作図は各受注者が共同で実施し、縮尺は1/50以上を原則とする。
6.施工時間	施工時間は原則として昼間とするが、騒音、振動、臭い等が発生する場合は制限あり。 施設担当者、監督員及び監理者と協議のうえ、調整のこと。	11.施工図、製作図	(1) 施工に必要な施工図や製作図は、工程進捗に影響なきよう計画的に作成し、監督員及び監理者の承諾を受けた後、施工もしくは製作に着手すること。 (2) 施工図や製作図では確認が出来ない機器材料や塗装色などは、設計図書もしくは監督員及び監理者の指示により試作品もしくは見本品を提出し、監督員及び監理者による承諾を受けること。なお、その経費の一切は受注者の負担とする。 (3) 製作図の提出に際して、設計仕様との適合を確認できる仕様対比表や、竣工後の維持管理に関する方策と経費に関する資料を作成し、製作図と共に提出のこと。 (4) 制気口、計装機器及び消火機器などの内、建築意匠との整合性が重視されるものは、監督員及び監理者の指示により見本品もしくは塗装見本などを提出し、その上で承諾を受けること。なお、見本品などの提出に関わる経費の一切は受注者の負担とする。 (5) 施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲する。
第2章 一般共通事項		12.立会検査	(1) 監督員及び監理者が指定する工程段階に達した場合や、現場納まりの関係で施工後の検査対応が困難と判断される部分については、監督員及び監理者による立会検査を実施する。 (2) 機器の性能評価および検査指図書事項に対応する環境の確立などの諸条件により、機器製作工場における検査が妥当と判断される場合は、工場検査を申請し受検すること。なお、工場検査に係る経費の一切は受注者の負担とする。 (3) 立会検査に関する詳細は、監督員及び監理者との協議事項とし、基本的な方針は施工計画書において明示すること。
1.共通仕様	(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は全て下記の共通仕様とする。 ● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(電気設備工事編) 最新版 監修：国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁 ○ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(電気設備工事編) 最新版 監修：国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁 ● 公共建築工事標準図(機械設備工事編)(電気設備工事編) 最新版 監修：国土交通省大臣官庁官庁官庁設備・環境課 ● 空気調和衛生工学会標準仕様 最新版 空気調和・衛生工学会SHASE―S010 監修：(社)空気調和衛生工学会 ● 日本建築家協会標準仕様 建築工事、建築設備工事共通仕様書 最新版 監修：(社)日本建築家協会 (2) 設計図書等の優先順位 全ての設計図書は相互に補充するものとする。ただし、設計図書間において相違ある場合は、次に示す優先順位として適用する。 1.現場説明書、現場説明に関する資料（承諾された同意事項を含む） 2.質疑応答に関する記録 3.特記仕様書（本図） 4.設計図 5.標準仕様書 (3) 記載漏れ事項 設計図面に明記のない場合は疑義を生じた場合もしくは現場納まり等、他との取合いで設計図書の変更を必要とする場合は、協議のうえ交差しないよう施工すること。 (4) 軽微な変更 設計図面に明記がない場合でも、機能上もしくは依拠上当然必要と認められるものについては、協議のうえこれを施工すること。また、軽微な変更に限って、この場合の受注金額の増減は行わない。 (5) 設計変更 工事の都合による部分的な変更、または一部の追加工事等を委託された場合には、受注者は施工に先立ち、その都度、工事費用の増減内訳説明書を提出し、承諾を受けた後、施工すること。なお、この場合の見積り単価は本工事契約内訳単価に基づくことを原則とする。また、図面提出の依頼があった場合は、変更内容を明記した図面を速やかに提出すること。 (6) 設計変更に伴う確認申請の変更 上記、設計変更に伴い、確認申請または計画通知の変更が必要になった場合は、速やかに対応すること。また、変更に関する協議、書類作成が必要な場合は協力のこと。 (7) 現場員の選定 受注者は工事着手と同時に現場を管理する専任担当技術者を定め、その資格、担当業務の内容等を明記した経歴書を添付した人員表を提出し、承諾を受けること。 (8) 現場打合せ 工事の施工にあたり、各工事との取合いを含めて、工事進行に支障がないよう各担当者と打合せを行い、各担当者、監督員及び監理者の了解のうえ、施工すること。 工事関係者間の連絡打合せや定例会議、監督員及び監理者との協議事項の全てを打合せ議事録としてデータ及び書面化し、監督員及び監理者に速やかに提出すること。	13.工事写真	(1) 建設大臣官庁官庁官庁設備監修「工事写真の撮り方(改訂第2版)建築設備編」によるほか、監督員及び監理者の指示による。 (2) 受注者は、官庁庁検査受検や完成検査における資料、隠蔽部分の施工確認、将来設計時点での隠ぺい部分調査への参考資料として、工事写真を撮影する。 (3) 工事写真は施工前、施工中、施工後それぞれの撮影を原則とし、常にファイリングして現場事務所に常備し、監督員及び監理者の指示により逐次提示、提出を行う。 (4) 工事写真はデジタル写真を ● 認める ○ 認めない
2.適用法規、 基準と各種申請	本工事は、建築基準法、消防法、耐震基準、その他官公庁や公的基準に準拠、適合すること。また、本工事に関する官公署、上下水道、ガス事業者、電力事業者などへの協議申請や検査受検は、工程に影響なきよう迅速に対応し、申請や手続きに関する経費の一切は受注者の負担とする。	14.製造者間の 関連	設計図の機器表、自動制御関連図、その他参考図などは、各製造者により多少異なることがあるが、その機能を満足するものであれば、差し支えないものとする。詳細については、承諾図により決定する。
3.関連工事との 協力体制の確立	別途発注される関連工事との相互調整や施工協力を十分に行之い、全ての関連工事における工事進捗が円滑に行われるよう努めること。また、工事区分については、設計図書に示される範囲を原則とするが、設計図書に明記無き事項についても、機能上や現場納まり上必要と判断されるものは、本工事範囲として取り扱うものとし、詳細は監督員及び監理者の指示による。	15.機材などの検査 及び試験	監督員及び監理者が指定する主要機器材料などについては、工事検査及び工場試験を行う。立会時に要する費用は全て受注者の負担とする。
4.工事用仮設	● 本工事に必要な工事用水や工事用電力の確保に関する経費の一切は受注者の負担とする。 ● 本受電、本受水以降竣工引渡までにおける電力及び上下水に関する料金の負担 ● 基本料金及び従量料金と受注者の負担とする。 ○ 従量料金のみ受注者負担とする。 ● 本工事に必要な現場事務所や作業員詰所、資材置場などの工事用仮設物の設置 ● 当該工事敷地内に設置可能である。（指定する場所） ○ 当該工事敷地外での確保とする。なお、用地の確保を含め、設置に関する経費の一切は受注者の負担とする。者の負担とする。 ○ 当該工事敷地外での確保とする。なお、用地については貸与可能とし、設置に関する経費の一切は受注者の負担とする。	16.計算書の作成	設計計算書を基に、現場における調整事項などを反映した下記計算書を作成し、監督員及び監理者の承諾を受けること。なお、作成する資料は監督員及び監理者の指導書式とし、書面による提出の他、表計算ソフトウェアなどのデータより提出とする。 ● 熱源機能力 ● 空気調和機能力 ● 配管及びダクトの圧力損失 ● ポンプ揚程 ● 送風機静圧 ● 機器の電圧容量・ガス消費量 ● パッケージ形空調機能力 ● 冷媒管長による能力低下 ● 耐震（ / / / ） ● 騒音、振動（ / / / ） ○ 耐風圧 ○ その他（ / / / ）
		17.シミュレーション、性能 評価、試作等	○ 空調換気計画について、次に示す建築意匠に関連した重要部分は、空調換気シミュレーション(CFD)もしくは模型実験などによる検証を行い、最終方針の決定を支援する。 対象： ○ 空調換気計画について、シミュレーションや計算などでは評価し難い、手法や納まり構造については、現場実験(モックアップ)による検証を行い、最終方針の決定を支援する。 対象： なお、当該特記仕様書に指定したシミュレーション、性能評価、試作、現場実験などの詳細は、監督員及び監理者との協議事項とし、経費の一切は受注者の負担とする。
18.説明板	監督員及び監理者と協議のうえ、設備機器類及び一連の装置などの系統が容易に理解できる説明板(アクリル樹脂製等)を指示する場所に設けること。	19.取扱説明	受注者は竣工時に設備全般に関するシステムなどの取扱説明書を作成し、監督員及び監理者の承諾を受けること。
20.竣工引渡	竣工時に提出する図書は下記によるが、詳細は監督員及び監理者との協議のこと。 なお、意匠図に記載されている場合は、意匠図の内容を優先するが、詳細は、設備担当者と協議、調整のこと。	21.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		22.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		23.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		24.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		25.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		26.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		27.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		28.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		29.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		30.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		31.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		32.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		33.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		34.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		35.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		36.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		37.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		38.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		39.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		40.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		41.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		42.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 15 試験成績書 2部 - ハードファイル 16 主要機器製造者一覧 1部 - 各社の連絡体制をまとめた一覧を含む 17 官公署届出書類 2部 - 申請書及び検査済証など、別+控 ●正(官公署へ提出) ●CADデータの形式については、別途協議のこと
		43.竣工引渡	(1) 竣工図は受注者にて作成するものとし、構成、表現や図示内容については、設計図に準拠する。なお、機器表には製造者名、型番等を記載のこと。 (2) 取扱説明書は、メーカー標準の取扱説明書を、システムや系統別にファイリングして指定部数提出する。また、設備システムとしての全体構成や設計上構築されている運用、保守については、保守管理者が容易に理解できる内容の資料を作成し、取扱説明書と併せてファイリングのうえ、提出のこと。 (3) 本施設竣工後に想定される年間光熱水費などのランニングコストや、メーカー保守や部品交換などのメンテナンスコストを試算し、維持管理費に関する資料として提出する。 (4) 保守管理者に対する取扱説明は、システム運用に対する機能や操作方法の説明に加え、習熟のための訓練立会や保守点検に関する要領確立のための支援、開館時における対処方法の説明なども含み、保守管理員が、竣工後突発的な設備システムを運用可能とする目的で実施する。
		44.竣工引渡	(1) 竣工図(原図) 1部 - 原図ケース共 2 竣工図(製本) 2部 - A1見開き製本 3 竣工図(製本) 2部 2部 A3見開き製本(縮刷版) 4 竣工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 5 機器完成図 1部 - ハードファイル 6 機器完成図(データ) 1式 1式 PDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 7 施工図(原図) 1部 - 原図ケース共 8 施工図(製本) 1部 - A1見開き製本 9 施工図(データ) 1式 1式 CADデータ●及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 10 工事写真(アルバム) 1部 - カラー、サービス版 11 工事写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 12 完成写真(アルバム) 1部 - カラー、キャビネ版 13 完成写真(データ) 1式 1式 JPEGデータ及びPDFデータ CD-RまたはDVDにて提出 14 取扱説明書 2部 - ハードファイル 1

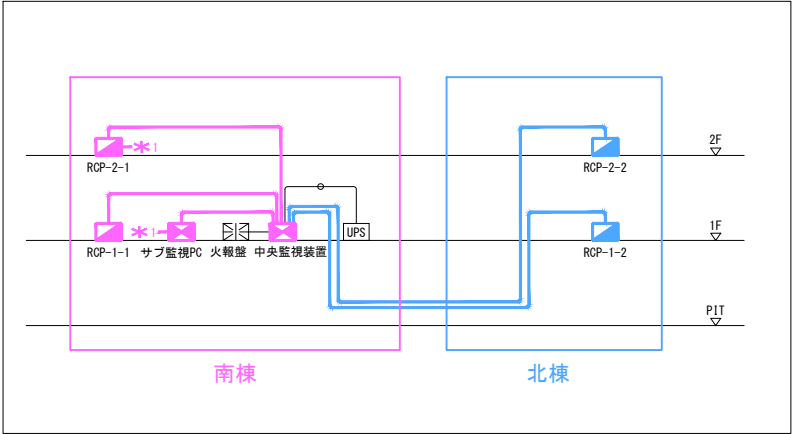
特記仕様書(2)		仕様が複数ある場合の当仕様書における適用：●の項目や事項を適用対象とし、○は適用対象外とする。（ただし、弁別区分表及び工事区分表は除く。） 工事発注形態によって、「監督員及び監理者」は「監督員または監理者」等、適宜読み替えるものとする。	
10.ダクト	(5) サブライレタン及びミキシングチャンバーには点検口を設けること。 （ただし、パッケージ型空調機及び小型ファン等に設置するチャンバーは除く） (6) 保温フレキシブルダクトはピアノ線を挿入したものを使用すること。 (7) 周囲環境が劣悪で、かつ開閉が少ないダンパーについてはテフロンベアリングタイプを選定すること。 (8) 制気口を設けないダクトの開口部はダクト長辺の1/2以上で開先拡大(または長辺、短辺とも1.5倍以上)とし、SUS製クリップ金網を設置すること。	第6章 空気調和設備	
11.発生材の処理	引離しを要しないものは全て構外搬出適正処理(処理費は本工事範囲)とする。	1.設備概要	
12.残土処分	埋戻し後の残土は、● 構内の監督員及び監理者が指示する場所に敷きならし ○ 場外処分 とする。	設備方式 ● 空気調和 ● ダクト方式 【● 中央 ○ 各階ユニット】 ○ ファンコイル・ダクト併用方式 ● 個別方式 ● 冷暖房 ○ ファンコイル方式 【○ 2管式 ○ 4管式】 ● パッケージ方式 【● 個別式 ● マルチ式】	
13.埋戻し・盛土	根切り土中の良質土とし、管の周囲は山砂とする。	熱源機器 ● 空気熱源ヒートポンプユニット 【● 電気 ○ ガス】 ● チラー 【● 空冷 ○ 水冷】 ○ ボイラー ○ コジェネレーション装置 ○ 吸収式冷凍水発生器 ○ 蓄熱方式 【○ 冷凍水 ○ 氷】	
14.工事騒音	(1) 騒音を伴う工事は施工時間帯・曜日に關して制約がある場合があるため、十分に調整すること。 (2) 工事においても屋外開口部などの防音対策を施すこと。	燃料 ● 電気 ○ 灯油 ○ A重油 ○ LPG ○ 都市ガス	
15.ノイズ対策	設備機器でノイズが発生した場合、受注者の関連業者間で協力で測定を行い、必要対策を施すこと。	温湿度条件	
16.高調波対策	(1) 設備機器のインバータ装置には高調波対策に有効な低減装置を設ける。 (2) 本工事で設置したインバータ装置に起因する高調波障害が発生した場合は、受注者は測定を行い、原因の解明とともに必要対策を施すこと。	屋内居室の諸条件	
17.検査・試験・調整	(1) 施工に関する全てを自主検査により確認し、第三者が確認できる形で記録する。 (2) 各システムの動作や機能を確認する目的で、自主試験用チェックシートを作成したのち、全ての機器動作を確認し、データ測定と運転転調整を行う。 (3) 各種検査や試験に関するチェックシートや体制、記録法などの詳細は、監督員及び監理者との協議事項とし、基本的な方針は施工計画書において明示すること。 (4) 総合試験として、本工事範囲および関連工事の全システムを対象とした試験を、関連受注者合同で実施すること。 (5) 総合試験は、試験要領に示すフローに準拠した形で実施し、試験成績表として全てを記録し、監督員及び監理者に提出すること。 (6) 総合試験に関する試験要領は関連受注者合同で作成し、検査体制や方法、対象範囲などと共に、火災や停電など、各発生事象に連動して動作すべき機器やシステムをフロー化して連動内容を確認し、あらかじめ監督員及び監理者の承諾を受ける (7) 工事保証期間は1年とする。	浮遊粉塵濃度 一酸化炭素濃度 二酸化炭素濃度 気流 騒音値 0.15mg/m3以下 6ppm以下 1000ppm以下 0.5m/s以下 第17章参照 ● 騒音値は、建築工事特記仕様を参照のこと	
18.総合調整	(1) 施工に関する全てを自主検査により確認し、第三者が確認できる形で記録する。 (2) 各システムの動作や機能を確認する目的で、自主試験用チェックシートを作成したのち、全ての機器動作を確認し、データ測定と運転転調整を行う。 (3) 各種検査や試験に関するチェックシートや体制、記録法などの詳細は、監督員及び監理者との協議事項とし、基本的な方針は施工計画書において明示すること。 (4) 総合試験として、本工事範囲および関連工事の全システムを対象とした試験を、関連受注者合同で実施すること。 (5) 総合試験は、試験要領に示すフローに準拠した形で実施し、試験成績表として全てを記録し、監督員及び監理者に提出すること。 (6) 総合試験に関する試験要領は関連受注者合同で作成し、検査体制や方法、対象範囲などと共に、火災や停電など、各発生事象に連動して動作すべき機器やシステムをフロー化して連動内容を確認し、あらかじめ監督員及び監理者の承諾を受ける (7) 工事保証期間は1年とする。	散地境界での許容騒音値	
第5章 その他特記事項		● 低圧ダクト ○ 高圧1ダクト ○ 高圧2ダクト	
(1) 配置仕上げ材		○ アングルフランジ工法 ○ コーナールト工法(● 共板フランジ工法 ○ スライドオンフランジ工法) (ただし、長辺の長さが、1,500mm以下の部分)	
(2) 機器の仕様は公共建築工事標準仕様書に準拠すること。 特記以外の付属品は、標準仕様書に記載の他、メーカー標準付属品を付属する。		● 割込み工法 ○ 直付け工法	
(3) 配管表示		空調機の出入口ダクト直管都に取り付けること。取付個数は下記による。 取付辺 300以下及び円形ダクト 測定口1個 取付辺 300を超え、700以下 測定口2個 取付辺 700を超えるもの 測定口3個	
(4) アンカーボルト		(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外形寸法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライレタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設けること。大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。	
(5) 防振		(1) 風量調整ダンパー	
(6) 屋外架台		気密形ダンパーの使用箇所 ● 外気取込用 ○ E/V機械室換気用 防風形の使用箇所 ● 外気取込用 ● 屋外露出部 防塵ダンパー 復帰方式 (○ 遠方 ○ 現地) 定格入力はDC24V、0.7A以下とする ピストンダンパー 復帰方式 (○ 遠方 ○ 現地)	
(7) 冷媒管は窒素ガスによる気密試験を24時間行う。		(1) 材質 吹出口 アルミニウム材質：無結露形または結露防止形とする 吸込口 アルミニウム材質	
(8) 機器廻り、他		(2) 塗装 指定色樹脂焼付け	
(9) 制御配線・配管工事(電気設備含む)		用途 呼称 名称 規格 寸法 圧力(kg/cm2) 5 10 16 20	
(10) 施工図、機器製作図により圧力損失計算を行い、ファン静圧、ポンプ揚程及び動力の確認を行うこと。		冷水、温水 仕切弁、逆止弁 青銅弁 JIS B 2011 50A以下 冷温水 青銅弁 JIS B 2031 65A以上	
(11) その他、監督員及び監理者の指示による。		蒸気 玉形弁、逆止弁 青銅弁 JIS B 2071 50A以上 可鍛鋳鉄弁 JIS B 2051 50A以下	
		還水 仕切弁、逆止弁 可鍛鋳鉄弁 JIS B 2071 65A以上 青銅弁 JIS B 2011 50A以下	
		補給水 仕切弁、逆止弁 青銅弁 JIS B 2011 50A以下	
		● 流量調整が不要な部分は、仕切弁の代わりにバタフライ弁を使用しても良い ● ステンレス鋼管を使用する場合の材質はステンレス製とする	
		工業用バイメンタル式温度計とする。取付け箇所は図示による。	
		取付け箇所は図示による。	
		ビート管方式による着脱式とし、止水コック付とする。取付け箇所は図示による。	
		第7章 換気設備	
		1.ダクトの種別	
		2.ダクトの工法	
		3.ダクトの種別	
		4.風量測定口	
		5.チャンパー	
		6.ダンパー	
		7.吹出口、吸込口	
		8.厨房用	
		9.厨房用	
		10.多湿箇所の	
		第8章 自動制御設備	
		1.構成その他	
		2.電気計装用配線	
		第9章 排煙設備	
		1.ダクトの種別	
		2.ダクトの工法	
		3.排煙口	
		4.排煙風量の測定	
		第10章 衛生器具設備	
		1.洋風大便秘	
		2.和風大便秘	
		3.小便器節水装置	
		4.自動水栓	
		第11章 給水設備	
		1.給水方式	
		2.弁・継手類	
		3.弁類使用区分	
		4.水栓柱	
		5.管の埋設深さ	
		6.引込納付金等	
		第12章 排水設備	
		1.排水方式	
		2.放流先	
		3.満水試験継手	
		4.排水管の勾配	
		5.弁類使用区分	
		6.放流納付金等	
		第13章 給湯設備	
		1.給湯方式	
		2.弁類使用区分	
		第14章 消火設備	
		1.消火設備の種類	
		2.屋内消火栓箱	
		3.屋内消火栓	
		4.保温	
		5.スプリンクラー	
		6.消火器	
		7.弁類使用区分	
		第15章 厨房設備	
		1.厨房システム	
		2.厨房器具	
		第16章 ガス設備	
		1.ガス種類	
		2.電気防食	
		3.バルクタンク	
		4.ガス漏れ警報器	
		5.管の埋設深さ	
		6.引込負担金等	
		第17章 その他設備	
		口屋内居室の	
		騒音値条件	
		映像ホール1 : NC30 映像ホール2 : NC30 ギャラリー/イベント : NC30 収録調整室 : NC25 撮影収録スタジオ : NC25 その他 : NC40	

KENGO KUMA & ASSOCIATES 限研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号		一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次	DRAWN COMPLETION DRAWING DRAWN REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事		DRAWING TITLE 特記仕様書 (2)	DRAWING No. M-003
			CHECKED CHECKED APPROVED			SCALE scale=N.S(A3)	DATE 2023/10/24

建築、電気、空調、給排水設備、昇降機 標準施工区分表																																							
内 容					建築	電気	機械 空調	給排水	昇降機 別途 (建築)	備 考					建築	電気	機械 空調	給排水	昇降機 別途 (建築)	備 考					内 容					建築	電気	機械 空調	給排水	昇降機 別途 (建築)	備 考				
1. 仮設										1 1. 動力、制御										1 5. 厨房機器設備																			
(1)	仮囲い				○					(1) 一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線						○				(1) 厨房機器											○								
(2)	共通足場				○					(2) パッケージエアコン（その他ファン含む）										(2) 電気温水器本体								○											
(3)	作業足場				○	○	○	○		本体						○				(3) 同上据付								○											
(4)	請負業者事務所、下小屋、材料置場等				○	○	○	○		一次側電源送り						○				(4) 同上機器への給排水接続								○											
(5)	監督員事務所、委託工事監理事務所				○					室外機・室内機アース配線						○				(5) 同上機器への一次側電源供給及び接続							○												
(6)	工事用の給排水及び電力等				○	○	○	○		室内機一次側電源送り						○				(6) フード類								○											
(7)	材料場外処分				○	○	○	○		室外機～室内機～室内機連絡配線（店舗・家庭用）						○				(7) グレーチング、側溝、樹、床壁天井仕上							○												
(8)	掘削残土（建築・電気・機械）の場外処分				○	○		○		室外機～室内機～室内機連絡配線（マルチファン）						○																							
										室内機とリモコンの連絡配管配線及びリモコン取り付け（スイッチ）						○				1 6. 太陽光発電パネル工事																			
2. 各水槽、ピット及び連通管その他										(3) 全熱交換機類とスイッチの連絡配線及びスイッチ取り付け								○		配管配線共空調設備工事							○												
(1)	受水槽・排水槽・汚水槽等でコンクリート造のもの				○					(4) 換機類とスイッチの連絡配線及びスイッチ取り付け						○	○			(2) 24時間換気の配線配管は空調設備工事、 一般換気の配管配線は電気工事							○												
(2)	コンクリート造の各種水槽釜場				○					(5) 給湯器とリモコンの連絡配線及びリモコン取り付け							○			(3) 配管配線共、給排水設備工事							○	○											
(3)	コンクリート造水槽用鉄製蓋及び化粧蓋、タラップ				○					(6) 可動防護垂れ壁の二次側配線及び操作盤・押釦取り付け						○				(4) 空配管は電気設備工事							○												
(4)	最下階配管ピット及び化粧蓋、タラップ				○																																		
(5)	床下配管ピットの人通り、通気口、排水口				○																																		
(6)	電気関係配管ピット及び蓋・点検口				○																																		
(7)	消防水利・消火水槽の水張り試験費(1回)				○																																		
3. 各排水溝及び配管トレンチ																																							
(1)	各種トレンチ蓋及び人孔蓋				○																																		
(2)	屋内各排水溝及び蓋				○																																		
(3)	排水溝内の排水目皿及び配管							○																															
(4)	排水溝端部集水溝及び蓋				○																																		
4. 各種基礎																																							
(1)	各種機器据付用コンクリート基礎およびH鋼				○					建築図に記載したもの 各種機器の防振装置は各工事						○																							
(2)	各種水槽類・キュービクル等のコンクリート基礎				○					建築図に記載したもの（フェンス含む） 防振装置は各工事						○	○																						
(3)	各種コンクリート基礎の仕上				○											○																							
(4)	各種機器据付用基礎・水槽類基礎で軽微なもの					○	○	○																				○											
(5)	各機器のアンカーボルトの取付				○	○	○	○								○												○											
(6)	分電盤・動力盤基礎				○											○												○											
5. スリーブ箱入れ及び開口部補強																				○																			
(1)	各種配管スリーブ及び空隙充填				○	○	○	○		外壁ガラリは建築工事						○				昇降路設置位置により昇降路内に配管配線が生じる場合、 昇降路内の配管配線は昇降機設備工事																			
(2)	ダクト及びガラリ等の開口箱入れ				○		○									○																							
(3)	衛生器具（和風大便器）取付開口箱入れ							○								○																							
(4)	コンクリート壁埋込消火栓等開口箱入れ							○								○				平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は備付（工具を必要とするサイズも要）とし、戸が閉いた時にはエレベーターを停止させる																			
(5)	コンクリート壁埋込型壁類の開口箱入れ						○	○	○							○																							
(6)	上記（1）～（5）開口部の補強				○											○				昇降路設置位置により昇降路内に配管配線が生じる場合、 昇降路内の配管配線は昇降機設備工事																			
(7)	躯体貫通部分の防水処理				○	○	○	○								○												○											
(8)	各種穴あけ補修後の仕上				○											○												○											
																				○																			
6. 内装材切込及び下地補強																				○	工事用及び試運転調整用電力は建築工事 昇降路設置位置により昇降路内に配管配線が生じる場合、 昇降路内の配管配線は昇降機設備工事																		
(1)	埋込照明、スピーカー、空調機、制気口等の天井壁切込及び補強				○					すみ出しは各工事										(1) 照明主幹盤までの1次側電源供給、接続工事																			
(2)	補強を要しない天井壁切込				○	○	○	○		コンセント・ダウンライト等小口径開口										(2) 照明主幹盤の製作および据付												○							
(3)	壁付換気扇穴明け							○		有圧扇は空調設備工事										(3) 同上盤以降2次側配管、配線、照明器具												○							
(4)	開口部位置量出し及び開口寸法				○	○	○	○																															
(5)	スイッチ、コンセント等小開口の切込				○	○	○	○		家具類、石、タイル、金属、化粧木の切込は建築工事（補修共）									○																				
(6)	壁付け換気扇取付け建具枠（アルミ建具含む）									本体は空調設備工事						○				(2) 洗面カウンター																			
(7)	換気扇用のサッシアルミパネル開口加工				○					換気扇固定用のパネル面ビス用孔あけ加工含む						○			○	(3) 鏡																			
(8)	設備機器、器具、配管、配線、ダクト用インサート					○	○	○								○				○	(4) 既製流し台、IH台、吊戸棚																		
(9)	壁・天井取付機器の下地補強				○					壁掛け扇風機、テレビモニターアーム等						○				○	(5) 既製IH台用の既製フードカバー																		
																○				○	(6) ミニキッチン（水栓、排水金具共）																		
7. 改め口及び点検口																				○	(7) ガス湯沸器、電気湯沸器																		
(1)	床・壁・天井点検口、点検扉（開口補強共）				○					すみ出しは各工事									○	(8) ユニット型衛生器具（バリアフリートイレ、オストメイト等）																			
(2)	各シャフト点検口、点検扉				○					すみ出しは各工事						○					(9) トイレ内の手すり・杖ホルダー（だれでもトイレ内共）																		
																				○	(10) ペビシート、ペビチェアー、フィッティングボード、折りたたみシート等																		
8. 排水金物																				○	(11) コンセントBOXの穴あけ																		
(1)	床排水金物							○												○	(12) 床埋込型マシンのBOX等の穴あけ																		
(2)	既製ステンレス流しの排水金物				○															○	(13) フリーアクセス床のコンセント・複合アウトレット及び配線																		
(3)	グレーチング				○															○	(14) フリーアクセス床のコンセント・複合アウトレット用開口（工場加工）																		
																				○	(15) フリーアクセス床の予備開口及びプレート																		
																				○	(16) 電気錠・通電金物																		



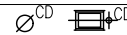
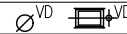
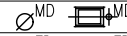
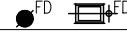
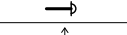
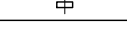
■自動制御区分範囲系統図



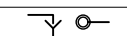
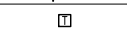
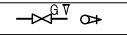
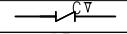
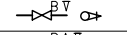
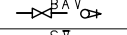
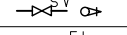
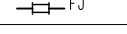
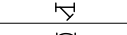
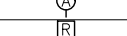
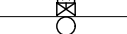
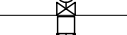
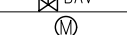
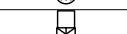
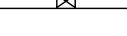
■積算範囲特記事項（機械）

工事種別	積 算 範 囲			
	 : 北棟区分	 : 南棟区分	 : 外構（広場）区分	 : 外構区分
空調換気設備	北棟系統空調換気設備 ※屋外機まで含む	北棟系統空調換気設備 ※屋外機まで含む	該当なし	該当なし
排煙設備	該当なし	南棟系統排煙設備	該当なし	該当なし
自動制御設備	北棟系統自動制御設備 ※自動制御盤（RCP-1-2, 2-2）から 中央監視装置までの渡り配線を含む	南棟系統自動制御設備 ※中央監視を含む	該当なし	該当なし
給排水設備	北棟系統給排水設備 ※汚水樹、グリストラップ、水栓柱、 引込み給水管（バルブを含む）を含む	①南棟系統給排水設備 ②北-南棟間ビット内配管・ポンプ類 ※汚水樹、水栓柱まで含む 引込み給水管（バルブを含む）を含む	外構（広場）範囲内の散水栓器具類 ※器具配管取付は除く	①外構範囲内の散水栓器具類 ②散水栓系統の土中埋設管 ※土工事、器具配管取付まで含む
消火設備	該当なし	南棟系統排煙設備	該当なし	該当なし

■空調換気ダクト

名 称	記 号	仕様	備考
空調給気ダクト	—SA—	亜鉛鉄板（不燃）	全て断熱処理を施す。器具との接続は消音フレキとする。
空調還気ダクト	—RA—	亜鉛鉄板（不燃）	全て断熱処理を施す。器具との接続は消音フレキとする。
外気ダクト	—OA—	亜鉛鉄板（不燃）	全て断熱処理を施す。器具との接続は消音フレキとする。
排気ダクト	—EA—	亜鉛鉄板（不燃）	器具との接続は消音フレキとする。外壁面から1mは断熱処理を施す。 全熱交換器系統は全て断熱処理を施す。
空調外気ダクト	—SOA—	亜鉛鉄板（不燃）	全て断熱処理を施す。器具との接続は消音フレキとする。
厨房排気ダクト	—KEA—	亜鉛鉄板（不燃）	RW50mm巻きとする。
逆流防止ダンパー			
風量調整ダンパー			
モーターダンパー			
防火ダンパー			温度フューズ72℃
可変風量ユニット（VAV）		VAV	単相 100V
吹出口		結露防止形	指定色焼付塗装
吸込口			指定色焼付塗装
ペントキャップ		SUS製深型防虫網付	指定色焼付塗装、深型スクエアフード、サイズはダクト口径とする。
ドアガラリ・アンダーカット			（建築工事）
口特記事項			
・厨房ダクトの板厚は一般ダクトの1サイズアップとする			
・厨房排気ダクト(隠蔽部)は、ロックウール50mm/m巻きとする			
・外壁面(ガラリ,ペントキャップ)に接続するダクトには、吹き込んだ雨水及び結露水が外部に流れるように勾配を付けること			
・屋外露出となるダクトの仕上げは、溶融アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板)によるラッキング(指定色)とする			
・ダンパー類(VD,CD等)、ペントキャップ(VC)のサイズは、接続する配管と同サイズとする			
・特記無き限り、天井ダクトとする			

■空調配管

名 称	記 号	仕様	備考
冷水管（往）	—CS—	配管用炭素鋼管	（SGP白）JIS G 3452
冷水管（還）	—CR—	配管用炭素鋼管	（SGP白）JIS G 3452
温水管（往）	—HS—	配管用炭素鋼管	（SGP白）JIS G 3452
温水管（還）	—HR—	配管用炭素鋼管	（SGP白）JIS G 3452
冷温水管（還）	—CHS—	配管用炭素鋼管	（SGP白）JIS G 3452
冷温水管（還）	—CHR—	配管用炭素鋼管	（SGP白）JIS G 3452
膨張管	—E—	一般配管用ステンレス鋼管	（SUS304）JIS G 3448
冷媒管	—R—	冷媒用被覆銅管	保温厚：ガス管20mm,液管10mm
ドレン管	—D—	耐火二層管	（FDP）ビット・埋設・屋外露出はVP（JIS K 6741）
加温用給水管	— -- —	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	（SGP-VA）JWWA K 116
エア抜き配管	—AV—	一般配管用ステンレス鋼管	（SUS304）JIS G 3448
直接排水口			
空調トラップ			
仕切弁		バルブ耐圧：JIS-10K	
逆止弁		バルブ耐圧：JIS-10K	
バタフライ弁		バルブ耐圧：JIS-10K	
ボール弁			
玉型弁			
可とう継手		FJ	
Y型ストレーナ			
防振継手		防振ゴム	
自動エア抜き弁			
減圧弁			
電磁弁			
電動二方弁			比例制御
電動二法ボール弁		BAV	二位置制御
流量計			
二方弁装置			
口特記事項			
・屋外露出となる配管の仕上げは、SUSによるラッキング（指定色）とする			
・屋内露出となる配管の仕上げは、合成樹脂製カバー（ファインカバー）によるラッキング（指定色）とする			
・●は、冷媒管の防火区画貫通箇所を示し、区画貫通処理は国土交通省認定工法による			
・硬質塩化ビニル管を使用する場合の区画貫通部は、耐火二層管とする			
・空冷パッケージ形空調機における、室外機と室内機の差り配線（電線,制御線）は、冷媒管共巻きとする			
・バルブ類（GV,CV等）のサイズは、接続する配管と同サイズとする			
・特記無き限り、天井配管とする			

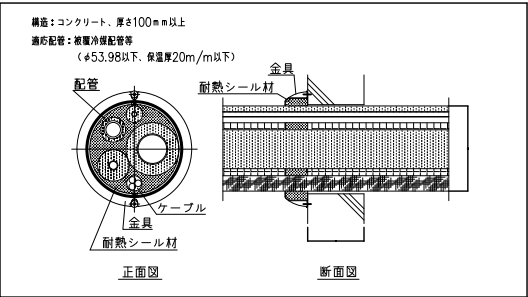
■排煙ダクト

名 称	記 号	仕様	備考
排煙ダクト	—SM—	亜鉛鉄板（不燃）	
口特記事項			
・排煙ダクトには、断熱装置(GW25t)を施す			
・外壁面(ガラリ,ペントキャップ)に接続するダクトには、吹き込んだ雨水及び結露水が外部に流れるように勾配を付けること			
・屋外露出となるダクトの仕上げは、溶融アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板)によるラッキング(指定色)とする			
・ダンパー類(SMD,HFD等)のサイズは、接続する配管と同サイズとする			
・特記無き限り、天井ダクトとする			

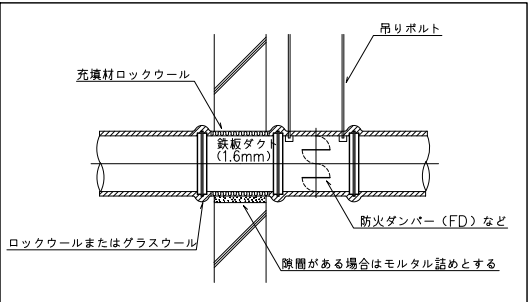
■衛生配管

名 称	記 号	仕様	備考
上水給水管	— -- —	一般配管用ステンレス鋼管	（SUS304）JIS G 3448
上水給水管（埋設）	— -- —	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	（HVP）JIS K 6742
給湯管	— I —	一般配管用ステンレス鋼管	（SUS304）JIS G 3448
雑排水管	— — —	耐火二層管	（FDP）ビット・埋設はVP（JIS K 6741）
汚水排水管	— 〽 —	耐火二層管	（FDP）ビット・埋設はVP（JIS K 6741）
通気管	-----	耐火二層管	（FDP）
消火管	— X —	配管用炭素鋼管	（SGP-白）JIS G 3452
量水器			
仕切弁		バルブ耐圧：JIS-5K	
逆止弁		バルブ耐圧：JIS-5K	
湯栓			
水栓			
混合栓			
洗浄弁			
排水金物			
床上掃除口			
排水トラップ			
排水胴			
埋設弁			
ペントキャップ		SUS製深型防虫網付	指定色焼付塗装、深型スクエアフード
口特記事項			
・給水設備の構造及び材質は、水道法第16条に基づき、「水道法施行令第6条」の基準によること			
・給湯配管の保温厚は、管径40mm未満は30mm以上とし管径40mm以上125mm未満は40mm以上とすること			
・排水設備の設置及び構造は、下水道法第10条第1項に基づき、「下水道法施行令第8条」の基準によること			
・給水管の口径は、ウォーターハンマー防止のため、配管内の流速を2.0m/s以下として決定する			
・排水管の口径算定は「排水負荷単位法」による			
・排水管の勾配は、有効な数値を確保すること呼び径65A以下は最小1/50、呼び径75,100Aは最小1/100、呼び径125Aは最小1/150、呼び径150A以上は最小1/200			
・屋外露出となる配管の仕上げは、溶融アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板)によるラッキング(指定色)とする			
・屋内露出となる配管の仕上げは、合成樹脂製カバーによるラッキング(指定色)とする			
・硬質塩化ビニル管を使用する場合の区画貫通部は、耐火二層管とする			
・バルブ類(GV,CV等)のサイズは、接続する配管と同サイズとする			
・給水、給湯系統において、施工上やむを得ず鳥居配管となる箇所には、エア抜き弁を設けること			
・特記無き限り、床下配管とする屋外露出となる配管の仕上げは、溶融アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板)によるラッキング(指定色)とする			

■冷媒管の防火区画貫通処理



■ダクトの防火区画貫通処理



■大臣認定番号

・耐火二層管	床：PS060FL-0920 壁：PS060WL-0919
・冷媒管	床：PS060FL-0183 壁：PS060WL-0184

■熱源機器（空冷）

[illegible]

■ 空氣調和機

機 器 番 号	名 称	数 量	仕 様	防 振	電源動力（60Hz）				消費電力		運転制御			設 置 場 所	備 考	
					相 [φ]	電 圧 [V]	動 力 [kW]	始 動 方 式	非 常 電 源	冷 却 [kW]	加 熱 [kW]	中央	個別			連動 インターロック
AHU-S-1	ユニット空気調和機 （映像ホール1）	1	型式：水平型 回転型全熱交換器組込み（選気対応型—ダブルコイル） 冷却能力：41.4 kW 再熱能力：12.5 kW 加熱能力：18.0 kW 給気（SA）：風量 6,000 m3/h ノ機外静圧 300Pa 還気（RA）：風量 6,000 m3/h ノ機外静圧 300Pa 外気（OA）：風量 3,000 m3/h 排気（EA）：風量 3,000 m3/h 冷水量：85.0 L/min 温水量：37.0 L/min（再熱26 L/min） 加湿量：6.4 kg/h（気化式）飽和効率23.2% クローズ形 循環温度：冷水入口7℃—出口14℃ ：温水入口45℃—出口38℃ フィルター：プレフィルター（重量法：80%以上） ：中性態フィルター（比色法：65%以上）	A （ファン）	3	200		INV	—	—	○	○		南棟 1F 機械室	NV盤組込み 24時間換気量:240 m3/h コンクリート基礎は建築工事	
AHU-S-2	ユニット空気調和機 （映像ホール2）	1	型式：水平型 回転型全熱交換器組込み（選気対応型—シングルコイル） 冷却能力：22.4 kW 加熱能力：10.1 kW 給気（SA）：風量 3,300 m3/h ノ機外静圧 300Pa 還気（RA）：風量 3,300 m3/h ノ機外静圧 300Pa 外気（OA）：風量 1,600 m3/h 排気（EA）：風量 1,600 m3/h 冷水量：46.0 L/min 温水量：21.0 L/min 加湿量：3.2 kg/h（気化式）飽和効率22.5% クローズ形 循環温度：冷水入口7℃—出口14℃ ：温水入口45℃—出口38℃ フィルター：プレフィルター（重量法：80%以上） ：中性態フィルター（比色法：65%以上）	A （ファン）	3	200		INV	—	—	—	○	○		南棟 1F 機械室	NV盤組込み 24時間換気量:110 m3/h コンクリート基礎は建築工事
AHU-S-3	ユニット空気調和機 （ギャラリー/イベントホール）	1	型式：水平型 回転型全熱交換器組込み（選気対応型—ダブルコイル） 冷却能力：74.6 kW 再熱能力：21.8 kW 加熱能力：58.9 kW 給気（SA）：風量 15,000 m3/h ノ機外静圧 350Pa 還気（RA）：風量 15,000 m3/h ノ機外静圧 350Pa 導入外気（OA）：風量 4,200 m3/h 排気（EA）：風量 4,200 m3/h 冷水量：153.0 L/min 温水量：121.0 L/min（再熱45 L/min） 加湿量：8.7 kg/h（気化式）飽和効率12.7% クローズ形 循環温度：冷水入口7℃—出口14℃ ：温水入口45℃—出口38℃ フィルター：プレフィルター（重量法：80%以上） ：中性態フィルター（比色法：65%以上）	A （ファン）	3	200		INV	—	—	—	○	○		南棟 1F 機械室	NV盤組込み 24時間換気量:1,360 m3/h コンクリート基礎は建築工事

口付品

- ・スプリング防振架台（ファン）
- ・ゴムパット（全体）
- ・マリンランプ（各セクション）、スイッチ（コンセント付）
- ・直読式モニター
- ・コイル水抜バルブ
- ・スクロールダンパー
- ・その他標準付属品一式
- ・電気容量は参考値とする

防振ランクは下記を参照（fn：防振材の固有振動数）

〔床置の場合〕

RP：ゴムパット fn≒ 20.0Hz
SP：スプリングパッド fn≒ 12.0Hz
A：標準スプリング fn≒ 4.0Hz
B：高性能スプリング fn≒ 3.0Hz
C：高性能スプリング fn≒ 2.3Hz

〔天井の場合〕

RP・SP・HR（ゴムハンガー） fn≒ 10.0Hz～
A：HS（スプリングハンガー） fn≒ 4.0Hz～9.0Hz
B：高性能スプリング fn≒ 2.8Hz～3.9Hz
C：高性能スプリング fn≒ 2.2Hz～2.7Hz

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み込む
- ・高さ1.5m以上の機器には、点検用タラップを取り付ける
- ・電気容量は参考値とする

口付品

- ・ファンはVベルトは省エネベルト、プーリーはプッシングプーリーとする
- ・プレフィルターは再生洗浄可型とする
- ・フィルターは予備100%を見込むこと
- ・ファンの回転数は1300rpm以下とする
- ・熱交換器を組み込む場合、熱交換効率は60%以上とする
- ・自動制御工事から支給のフィルター差圧計を組み

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号	一級建築士 登録第319332号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 空調換気設備 機器表 (1)	DRAWING No. M-101
		CHECKED	CHECKED			SCALE scale=N.S(A3)	DATE 2023/10/24
		APPROVED	APPROVED				

■パッケージ型空調機（1）

機 器 番 号	名 称	系 統	数量	機 器 仕 様						防 振	電 源（60Hz）								運 転 制 御				設 置 場 所	備 考		
				型 式	特 別 仕 様		冷 房 能 力 [kW]	暖 房 能 力 [kW]	風 量 [m3/h]		相	電 圧 [V]	冷 房 [kW]	暖 房 [kW]	圧 縮 機 [kW]	送 風 機 [kW]	結 動 方式	非常 電源	中央	個別	連 動 インターロック					
					塩害仕様	その他																				
（北棟）																										
ACP-N-1	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	1F 編集室1	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		3.6	4.0	－	A以上	1	200	0.805	0.810	0.65×1	0.07	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-1-1		1F 編集室1	1	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP・SP	－	－		－	－	0.053×1	外機	－	○	○					1F 編集室1	最小電線太さ 2.0mm ²
ACP-N-2	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	1F 編集室2	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		3.6	4.0	－	A以上	1	200	0.805	0.810	0.65×1	0.07	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-2-1		1F 編集室2	1	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP・SP	－	－		－	－	0.053×1	外機	－	○	○					1F 編集室2	最小電線太さ 2.0mm ²
ACP-N-3	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	1F 収録調整室	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		4.5	5.0	－	A以上	1	200	1.90	1.29	0.92×1	0.07	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-3-1		1F 収録調整室	1	室内機（天井隠蔽型）			－	－	780	RP・SP	－	－		－	－	0.13×1	外機	－	○	○					1F 通路N1-1	最小電線太さ 2.0mm ²
ACP-N-4	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	1F 撮影収録スタジオ	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		5.6	6.3	－	A以上	1	200	1.61	1.67	1.18×1	0.07	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-4-1		1F 撮影収録スタジオ	1	室内機（天井隠蔽型）			－	－	1,080	RP・SP	－	－		－	－	0.23×1	外機	－	○	○					1F WC-N1	最小電線太さ 2.0mm ²
ACP-N-5	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	1F 受付	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		3.6	4.0	－	A以上	1	200	0.805	0.810	0.65×1	0.07	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-5-1		1F 受付	1	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP・SP	－	－		－	－	0.053×1	外機	－	○	○					1F 受付	最小電線太さ 2.0mm ²
ACP-N-6	空冷ヒートポンプマルチエアコン	北棟 ACP-N-6	1	室外機（冷暖切替）台数制御 1番目	耐塩害	高COP	22.4	25.0	－	A以上	3	200	5.42	5.41	4.64×1	0.27×2	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-6	空冷ヒートポンプマルチエアコン	北棟 ACP-N-6	1	室外機（冷暖切替）台数制御 2番目	耐塩害	高COP	28.0	31.5	－	A以上	3	200	7.33	7.16	6.84×1	0.27×2	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	
ACP-N-6-1	空冷ヒートポンプマルチエアコン	1F 待合・休憩スペース	2	室内機（天井隠蔽型）			5.6	6.3	960	RP・SP	1	200	148W	136W	－	140×1W	直結	－	○	○					1F 待合・休憩スペース	
ACP-N-6-2	空冷ヒートポンプマルチエアコン	1F カフェ	2	室内機（天井隠蔽型）			9.0	10.0	1,740	RP・SP	1	200	186W	174W	－	350×1W	直結	－	○	○					1F カフェ	
ACP-N-6-3	空冷ヒートポンプマルチエアコン	2F ホール2	2	室内機（天井隠蔽型）			9.0	10.0	1,740	RP・SP	1	200	186W	174W	－	350×1W	直結	－	○	○					2F ホール2	
ACP-N-7	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	2F 会議室1	1	室外機（冷暖切替、ツイン）	耐塩害		12.5	14.0	－	A以上	3	200	3.38	3.28	2.45×1	0.186×1	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-7-1		2F 会議室1	2	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	1,230	RP・SP	－	－		－	－	0.053×2	外機	－	○	○					2F 会議室1	冷媒チャージを見込むこと
																										最小電線太さ 3.5mm ²
ACP-N-8	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	2F 会議室2	1	室外機（冷暖切替、ツイン）	耐塩害		10.0	11.2	－	A以上	3	200	2.30	2.45	1.79×1	0.11×2	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-8-1		2F 会議室2	2	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP・SP	－	－		－	－	0.053×2	外機	－	○	○					2F 会議室2	最小電線太さ 3.5mm ²
ACP-N-9	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	2F 会議室3	1	室外機（冷暖切替、ツイン）	耐塩害		10.0	11.2	－	A以上	3	200	2.30	2.45	1.79×1	0.11×2	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-9-1		2F 会議室3	2	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP・SP	－	－		－	－	0.053×2	外機	－	○	○					2F 会議室3	最小電線太さ 3.5mm ²
ACP-N-10	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	2F 活動室	1	室外機（冷暖切替、トリプル）	耐塩害		20.0	22.4	－	A以上	3	200	7.15	6.52	4.61×1	0.227×2	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-10-1		2F 活動室	3	室内機（天井隠蔽型）			－	－	780	RP・SP	－	－		－	－	0.13×4	外機	－	○	○					2F WC-N2（F）	最小電線太さ 8.0mm ²
ACP-N-11	家庭用空冷ヒートポンプエアコン	北棟 ACP-N-11	2	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		2.8	4.0	－	A以上	1	200	0.73	1.09	0.75×1	53×1 W	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-11-1		1F サーバー室	2	室内機（天井カセット型/1方向）			－	－	552	RP・SP	－	－	－	－	－	50×1 W	外機	－	○	○					2F サーバー室	冷媒チャージを見込むこと
																										最小電線太さ 2.0mm ²
ACP-N-12	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	北棟 ACP-N-12	1	室外機（冷暖切替）	耐塩害		7.1	8.0	－	A以上	3	200	3.10	2.90	1.70×1	0.07	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-12-1		1F 厨房（局所空調用）	1	室内機（天井カセット型/厨房用）			－	－	1,140	RP・SP	－	－		－	－	0.06×1	外機	－	○	○					1F 厨房（局所空調用）	冷媒チャージを見込むこと
																										最小電線太さ 3.5mm ²
ACP-N-13	家庭用空冷ヒートポンプエアコン	1F 倉庫N1-2（編集サーバー用）	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		3.6	4.8	－	A以上	1	200	1.02	1.41	0.95×1	50×1 W	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-13-1		1F 倉庫N1-2（編集サーバー用）	1	室内機（天井カセット型/1方向）			－	－	558	RP・SP	－	－	－	－	－	53×1 W	外機	－	○	○					1F 倉庫N1-2	冷媒チャージを見込むこと
																										最小電線太さ 2.0mm ²
ACP-N-14	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	1F 倉庫・更衣室	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		3.6	4.0	－	A以上	3	200	0.940	0.980	0.65×1	0.07	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
ACP-N-14-1		1F 倉庫・更衣室	1	室内機（壁掛型）			－	－	660	RP・SP	－	－		－	－	0.03×1	外機	－	○	○					1F 倉庫・更衣室	冷媒チャージを見込むこと
																										最小電線太さ 2.0mm ²
OCF-N-1	空冷ヒートポンプマルチエアコン	北棟 OCF-N-1	1	室外機（冷暖切替）	耐塩害	高COP	22.4	25.0	－	A以上	3	200	5.42	5.41	4.64×1	0.27×2	直結	－	○	○					屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
OCF-N-1-1	空冷ヒートポンプマルチエアコン	1F 厨房（外気処理用）	1	室内機（天井隠蔽型/外気処理用、加湿なし）			22.4	13.9	1,500	RP・SP	1	200	762W	762W	－	380×1W	外機	－	○	○	SF-N-1-1				屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
																										最小電線太さ 2.0mm ²

■パッケージ型空調機（2）

機 器 番 号	名 称	系 統	数 量	機 器 仕 様						防 振	電 源（60Hz）								運 転 制 御				設 置 場 所	備 考
				型 式	特 別 仕 様		冷 房 能 力 [kW]	暖 房 能 力 [kW]	風 量 [m3/h]		相	電 圧 [V]	冷 房 [kW]	暖 房 [kW]	圧 縮 機 [kW]	送 風 機 [kW]	起 動 方 式	非 常 電 源	中央	個 別	連 動 インターロック			
					電 気 仕 様	そ の 他																		
〈南棟〉																								
ACP-S-1	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	南棟 ACP-S-1	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		3.6	4.0	－	A以上	1	200	0.805	0.810	0.65×1	0.07	直結	－	○	○		屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事	
ACP-S-1-1		1F 応接室	1	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP-SP	－	－		－	0.053×1		外機	－	○	○		1F 応接室	最小電線太さ 2.0mm ²	
ACP-S-2	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	南棟 ACP-S-2	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		3.6	4.0	－	A以上	1	200	0.805	0.810	0.65×1	0.07	直結	－	○	○		屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事	
ACP-S-2-1		1F 小会議室	1	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP-SP	－	－		－	0.053×1		外機	－	○	○		1F 小会議室	最小電線太さ 2.0mm ²	
ACP-S-3	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	南棟 ACP-S-3	1	室外機（冷暖切替、ツイン）	耐塩害		7.1	8.0	－	A以上	3	200	1.72	1.85	1.70×1	0.07	直結	－	○	○		屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事	
ACP-S-3-1		1F 事務室	2	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP-SP	－	－		－	0.053×2		外機	－	○	○		1F 事務室	最小電線太さ 3.5mm ²	
ACP-S-4	家庭用空冷ヒートポンプエアコン	南棟 ACP-S-4	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		2.2	2.2	－	A以上	1	100	0.58	0.47	0.60×1	16×1 W	直結	－	○	○		屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事	
ACP-S-4-1		1F 授乳室	1	室内機（壁掛型）			－	－	822	RP-SP	－	－	－	－	－	22×1 W	外機	－	○	○		1F 授乳室	最小電線太さ 2.0mm ²	
ACP-S-5	空冷ヒートポンプマルチエアコン	南棟 ACP-S-5	1	室外機（冷暖切替）台数制御 1番目	耐塩害	高COP	22.4	25.0	－	A以上	3	200	5.42	5.41	4.64×1	0.27×2	直結	○	○	○		屋外 屋外機置場（2F）	コンクリート基礎は建築工事	
ACP-S-5	空冷ヒートポンプマルチエアコン	南棟 ACP-S-5	1	室外機（冷暖切替）台数制御 2番目	耐塩害	高COP	22.4	25.0	－	A以上	3	200	5.42	5.41	4.64×1	0.27×2	直結	○	○	○		屋外 屋外機置場（2F）	コンクリート基礎は建築工事	
ACP-S-5-1A	空冷ヒートポンプマルチエアコン	1F エントランス	1	室内機（天井隠蔽型）			7.1	8.0	1,170	RP-SP	1	200	137W	125W	－	300×1W	直結	○	○	○		1F エントランス	サイレンサー付き（～10dB）	
ACP-S-5-1B	空冷ヒートポンプマルチエアコン	1F エントランス（吹抜部）	2	室内機（天井隠蔽型）			7.1	8.0	1,170	RP-SP	1	200	137W	125W	－	300×1W	直結	○	○	○		1F エントランス（吹抜部）		
ACP-S-5-2	空冷ヒートポンプマルチエアコン	1F 歴史情報発信コーナー	2	室内機（天井ビルトイン型）			5.6	6.3	870	RP-SP	1	200	108W	109W	－	60×1W	直結	○	○	○		1F 歴史情報発信コーナー		
ACP-S-5-3	空冷ヒートポンプマルチエアコン	2F ホール1	2	室内機（天井ビルトイン型）			5.6	6.3	870	RP-SP	1	200	108W	109W	－	60×1W	直結	○	○	○		2F ホール1		
ACP-S-6	店舗用空冷ヒートポンプエアコン	南棟 ACP-S-6	1	室外機（冷暖切替、ペア）	耐塩害		10.0	11.2	－	A以上	3	200	2.45	2.54	1.95×1	0.186	直結	－	○	○		屋外 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事	
ACP-S-6-1		2F 映写/調整室	1	室内機（天井カセット型/4方向）			－	－	960	RP-SP	－	－		－	0.053×2		外機	－	○	○		1F 映写/調整室	最小電線太さ 3.5mm ²	

口特記事項

- ・機器の仕様は「公共建築工事標準仕様書」に準拠すること
- ・パッケージ型空調機の能力及び消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件とする
- ・使用冷媒はオゾン層破壊係数が0のもの、もしくはR-410AまたはR-32とする
- ・グリーン購入法におけるエアコンディショナーの判断基準を満たすものとする
- ・温湿度条件は下記の通り
- （外気）冷房時：36.5℃（DB）、46.3％（RH） 暖房時：0.4℃（DB）、56.3％（RH）
- （室内）冷房時：26.0℃（DB）、50.0％（RH） 暖房時：22.0℃（DB）、40.0％（RH）
- ・補助加熱器を組み込んだ場合の暖房能力は、当該能力を加算したものとする
- ・加湿器を組み込む場合、送風機とインターロックを取ること
- ・塩害仕様は、（社）日本冷凍空調工業会標準規格による
- ・室内機（床置形を除く）は、ドレンアップ機能付とする
- ・天井設置の室内機は防振吊りとし、振れ止め処置を施すこと
- ・電源容量は参考値とする
- ・店舗用・家庭用エアコンの屋外機から室内機までの電源供給線は、冷媒管共巻きとする。
- ・その他電源供給は電気工事とする。

口付属品

- ・スプリング防振架台（室外機）
- ・防振吊金物（室内機）
- ・アクティブフィルター
- ・加湿器（水気化式）（○付属する ●付属しない）
- ・ロングライフフィルター（予備100％）
- ・付属する個別リモコン（●ワイヤード ○ワイヤレス）
- ・遠方発停用端子 ●要（○外部発停端子 ●状態出力信号端子）○不要
- ・冷媒部品（分配器、油トラップ、冷媒回路弁等）
- ・室外機用防雪フード（製造者規格品）（○付属する ●付属しない）
- ・その他標準付属品一式

口集中リモコン

- ・液晶タッチパネルとする
- ・火災信号用端子を有するものとする
- ・機能
- 運転・停止 ●設定温度の変更 ○屋外機吸込温度 ●室内温度 ○室内湿度
- 個別リモコンの操作禁止 ●スケジュール管理 ○空調エネルギー使用量の按分
- 運転時間積算 ●外部記憶媒体への出力

防振ランクは下記を参照（fn：防振材の固有振動数）

- 〔床置の場合〕
- RP：ゴムパッド fn≒20.0Hz
- SP：スプリングパッド fn≒12.0Hz
- A：標準スプリング fn≒4.0Hz
- B：高性能スプリング fn≒3.0Hz
- C：高性能スプリング fn≒2.3Hz

〔天吊の場合〕

- RP・SP：HR（ゴムハンガー） fn≒10.0Hz～
- A：HS（スプリングハンガー） fn≒4.0Hz～9.0Hz
- B：高性能スプリング fn≒2.8Hz～3.9Hz
- C：高性能スプリング fn≒2.2Hz～2.7Hz

■全熱交換器

機 器 番 号	名 称	系 統	数量	機 器 仕 様		熱交換効率		加湿	24時間 換気	CO2 制御	特 別 仕 様	防 振	電 源 (60Hz)					運転制御			設 置 場 所	備 考		
				型 式	風量 [m3/h]	機外静圧 [Pa]	冷房時						暖房時	相 [φ]	電圧 [V]	消費電力 [W]	始 動 方 式	非 常 電 源	中央	個別			連動 インターロック	
(北棟)																								
HEU-N-1-1	全熱交換形換気扇	1F 編集室1	1	天井隠蔽型	270	210	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	105	L-S	—	○	○		1F 編集室1	24時間換気量: 20 m3/h	
HEU-N-1-2	全熱交換形換気扇	1F 編集室2	1	天井隠蔽型	300	210	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	105	L-S	—	○	○		1F 編集室2	24時間換気量: 20 m3/h	
HEU-N-1-3	全熱交換形換気扇	1F 撮影収録スタジオ	1	天井隠蔽型	400	270	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	105	L-S	—	○	○		1F 通路N1-1	24時間換気量: 30 m3/h	
HEU-N-1-4	全熱交換形換気扇	1F 収録調整室	1	天井隠蔽型	180	150	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	105	L-S	—	○	○		1F WC-N1	24時間換気量: 80 m3/h	
HEU-N-1-5	全熱交換形換気扇	1F 待合・休憩スペース	2	天井隠蔽型	410	290	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	165	L-S	—	○	○		1F 待合・休憩スペース	24時間換気量: 40 m3/h	
HEU-N-1-6	全熱交換形換気扇	1F 受付	1	天井隠蔽型	210	180	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	67	L-S	—	○	○		1F 受付	24時間換気量: 90 m3/h	
HEU-N-1-7	全熱交換形換気扇	1F カフェ	3	天井隠蔽型	400	290	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	165	L-S	—	○	○		1F カフェ	24時間換気量: 20 m3/h	
HEU-N-2-1	全熱交換形換気扇	2F 会議室1	2	天井隠蔽型	450	270	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	165	L-S	—	○	○		2F 会議室1	24時間換気量: 50 m3/h	
HEU-N-2-2	全熱交換形換気扇	2F 会議室2	2	天井隠蔽型	360	220	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	105	L-S	—	○	○		2F 会議室2	24時間換気量: 73 m3/h	
HEU-N-2-3	全熱交換形換気扇	2F 会議室3	2	天井隠蔽型	360	220	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	105	L-S	—	○	○		2F 会議室3	24時間換気量: 73 m3/h	
HEU-N-2-4	全熱交換形換気扇	2F 活動室	2	天井隠蔽型	390	240	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	165	L-S	—	○	○		2F 活動室	24時間換気量: 45 m3/h	
(南棟)																								
HEU-S-1-1	全熱交換形換気扇	1F 事務室	1	天井隠蔽型	300	100	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	105	L-S	—	○	○		1F 事務室	24時間換気量: 50 m3/h	
HEU-S-1-2	全熱交換形換気扇	1F 応接室	1	天井隠蔽型	150	110	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	45	L-S	—	○	○		1F 応接室	24時間換気量: 30 m3/h	
HEU-S-1-3	全熱交換形換気扇	1F 小会議室	1	天井隠蔽型	150	100	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	67	L-S	—	○	○		1F 小会議室	24時間換気量: 30 m3/h	
HEU-S-1-4	全熱交換形換気扇	1F エントランス・授乳室	1	天井隠蔽型	500	360	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	245	L-S	—	○	○	SF-S-1-3	1F エントランス・授乳室	24時間換気量: 73 m3/h	
HEU-S-1-5	全熱交換形換気扇	1F 歴史情報発信コーナー	2	天井隠蔽型	350	230	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	105	L-S	—	○	○		1F 歴史情報発信コーナー	24時間換気量: 73 m3/h	
HEU-S-2-1	全熱交換形換気扇	2F 映写/室調整室1	1	天井隠蔽型	150	120	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	75	L-S	—	○	○		2F 映写/調整室1	24時間換気量: 30 m3/h	
HEU-S-2-2	全熱交換形換気扇	2F ホール1	2	天井隠蔽型	410	270	60%以上	60%以上	—	○	○	DCモーター	RP-SP	1	100	165	L-S	—	○	○		2F ホール1	24時間換気量: 65 m3/h	

口特記事項

- ・機器の仕様は「公共建築工事標準仕様書」に準拠すること
- ・全熱交換形換気扇の全熱交換効率は、JIS B 8628に規定された試験方法による
- ・普通換気機能有するものとする
- ・天井設置の室内機は防振吊りとし、振れ止め処置を施すこと
- ・電源容量は参考値とする

口付属品

- ・防振吊金物（室内機）
- ・ロングライフフィルター（予備100％）
- ・コントロールスイッチ（プラスチック製パネル 風量モード選択可能）
- ・接地極付きロック式プラグ及びコード約1 m（○付属する ●付属しない）
- ・その他標準付属品一式

口集中リモコン

- ・液晶タッチパネルとする
- ・火災信号用端子を有するものとする
- ・機能
- 運転・停止 ○設定温度の変更 ○屋外機吸込温度 ○室内温度 ○室内湿度
- 個別リモコンの操作禁止 ●スケジュール管理 ○空調エネルギー使用量の按分
- 運転時間積算 ●外部記憶媒体への出力

防振ランクは下記を参照（fn：防振材の固有振動数）

- 〔床置の場合〕
- RP：ゴムパッド fn≒

■送風機

機 器 番 号	名 称	系 統	数量	機 器 仕 様					24時間換気	防 振	電 源 (60Hz)					運 転 制 御			設置場所	備 考	
				型 式	設 置 種 別	特 別 仕 様	番 手	風量 [m3/h]			機外静圧 [Pa]	相 [φ]	電 圧 [V]	消費電力 [w]	始 動 方 式	非 常 電 源	中央	個別			連 動 インターロック
(北棟)																					
SF-N-1-1	給気ファン	1F 厨房	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/4	150	240	○	RP-SP	1	100	85	L-S	－	○	○	EF-N-1-5	1F 厨房	24時間換気量: 20 m3/h
SF-N-1-2	プースターファン	1F 厨房	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	高静圧	#1 1/2	1,500	360	－	RP-SP	1	100	518	L-S	－	○	○	OCP-N-1-1	1F 厨房	
EF-N-1-1	排気ファン	1F 倉庫N1-1	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	250	10	○	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		1F 倉庫N1-1	24時間換気量: 75 m3/h
EF-N-1-2	排気ファン	1F 倉庫N1-2	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	200	10	○	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		1F 倉庫N1-2	24時間換気量: 75 m3/h
EF-N-1-3	排気ファン	1F WC-N1	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/2	1,020	50	○	RP-SP	1	100	202	L-S	－	○	○		1F WC-N1	24時間換気量: 90 m3/h
EF-N-1-4	排気ファン	1F HCWC-N1	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	150	20	○	RP-SP	1	100	15.5	L-S	－	○	○		1F HCWC-N1	24時間換気量: 75 m3/h
EF-N-1-5	排気ファン	1F 倉庫・更衣室	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	150	60	○	RP-SP	1	100	23.0	L-S	－	○	○		1F 倉庫・更衣室	24時間換気量: 20 m3/h
EF-N-1-6	排気ファン	1F サーバー室	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	50	10	○	RP-SP	1	100	9	L-S	－	○	○		1F サーバー室	24時間換気量: 20 m3/h
EF-N-1-7	排気ファン	1F SK	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	50	10	○	RP-SP	1	100	9	L-S	－	○	○		1F SK	24時間換気量: 20 m3/h
EF-N-2-1	排気ファン	2F 倉庫N2-1	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	200	10	○	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		2F 倉庫N2-1	24時間換気量: 73 m3/h
EF-N-2-2	排気ファン	2F 倉庫N2-2	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	200	10	○	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		2F 倉庫N2-2	24時間換気量: 73 m3/h
EF-N-2-3	排気ファン	2F WC-N2 (F)・WC-N2 (M)	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/2	840	30	○	RP-SP	1	100	202	L-S	－	○	○		2F WC-N2 (F)・WC-N2 (M)	24時間換気量: 73 m3/h
EF-N-2-4	排気ファン	2F HCWC-N2	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	200	10	○	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		2F HCWC-N2	24時間換気量: 73 m3/h
KEF-N-1-1	排気ファン	1F 厨房	1	厨房用 中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/2	1,500	340	－	RP-SP	1	100	520	L-S	－	○	○	SF-N-1-1	1F 厨房	
(南棟)																					
SF-S-1-1	給気ファン	1F 機械室	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/2	1,000	380	－	RP-SP	1	100	480	L-S	－	○	○	EF-S-1-1	1F 機械室	
SF-S-1-2	給気ファン	1F 倉庫S1	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/2	1,000	380	－	RP-SP	1	100	480	L-S	－	○	○	EF-S-1-2	1F 倉庫S1	
SF-S-1-3	プースターファン	1F エントランス・授乳室	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/2	500	350	－	RP-SP	1	100	480	L-S	－	○	○	HEU-S-1-2	1F エントランス・授乳室	
SF-S-2-1	給気ファン	2F キャットウォーク (ギャラリー)	1	片吸込みシロッコファン (清音BOX付き)	床置き	耐振等	#1 1/2	2,600	390	－	A以上	3	200	1,500	L-S	－	○	○	EF-S-2-5	2F 屋外機置場	外気温度制御 (室内温度40度以上でファン稼働) コンクリート基礎は建築工事
EF-S-1-1	排気ファン	1F 機械室	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/2	1,000	30	－	RP-SP	1	100	480	L-S	－	○	○	SF-S-1-1	1F 機械室	
EF-S-1-2	排気ファン	1F 倉庫S1	2	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/4	500	30	－	RP-SP	1	100	125	L-S	－	○	○	SF-S-1-2	1F 倉庫S1	
EF-S-1-3	排気ファン	1F ゲストWC-S1	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	70	10	－	RP-SP	1	100	7.2	L-S	－	○	○		1F ゲストWC-S1	
EF-S-1-4	排気ファン	1F 更衣室 (F)	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1	150	20	○	RP-SP	1	100	44.5	L-S	－	○	○		1F 更衣室 (F)	24時間換気量: 30 m3/h
EF-S-1-5	排気ファン	1F 更衣室 (M)	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1	150	20	○	RP-SP	1	100	44.5	L-S	－	○	○		1F 更衣室 (M)	24時間換気量: 30 m3/h
EF-S-1-6	排気ファン	1F 消火ポンプ室	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	50	10	○	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		1F 消火ポンプ室	24時間換気量: 10 m3/h
EF-S-1-7	排気ファン	1F WC-S1 (F)	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/4	460	80	○	RP-SP	1	100	87.5	L-S	－	○	○	HEU-S-2-2	1F WC-S1 (F)	24時間換気量: 230 m3/h
EF-S-1-8	排気ファン	1F WC-S1 (M)	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/4	490	80	○	RP-SP	1	100	87.5	L-S	－	○	○	HEU-S-2-2	1F WC-S1 (M)	24時間換気量: 230 m3/h
EF-S-1-9	排気ファン	1F HCWC-S1	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	150	20	○	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		1F HCWC-S1	24時間換気量: 10 m3/h
EF-S-2-1	排気ファン	2F 収納庫	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	190	50	○	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		2F 収納庫	
EF-S-2-2	排気ファン	2F WC-S2 (F)	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/4	320	10	○	RP-SP	1	100	49	L-S	－	○	○		2F WC-S2 (F)	24時間換気量: 50 m3/h
EF-S-2-3	排気ファン	2F WC-S2 (M)	1	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/4	500	30	○	RP-SP	1	100	87.5	L-S	－	○	○		2F WC-S2 (M)	24時間換気量: 50 m3/h
EF-S-2-4	排気ファン	2F HCWC-S2	1	天井扇	天吊り	清音	100φ	150	10	－	RP-SP	1	100	10	L-S	－	○	○		2F HCWC-S2	24時間換気量: 30 m3/h
EF-S-2-5	排気ファン	2F キャットウォーク (ギャラリー)	3	中継取付形シロッコファン	天吊り	清音	#1 1/2	867	40	－	RP-SP	3	200	187	L-S	－	○	○	SF-S-2-1	2F キャットウォーク (ギャラリー)	外気温度制御 (室内温度40度以上でファン稼働)
SMF-S-1	排煙機	－ 南棟	1	片吸込みシロッコファン (リミットロード)	床置き	耐振等	#9	47,000	800	－	A以上	3	200	22kW	Y-Δ	○	○	○		2F 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
□特記事項																					
・機器の仕様は「公共建築工事標準仕様書」に準拠すること				□付属品				防振ランクは下記を参照 (fn : 防振材の固有振動数)										[床置の場合]			
・ファンの電動機出力は、JIS C 4213に規定された試験方法による				・標準付属品一式を付属する				[中継取付シロッコファン]										RP: ゴムパッド fn≒ 20.0Hz			
・ファンの電動機は、JIS C 4213に規定された低圧トランスナーモータとする				・スイッチ (24時間換気対応機器のみ)				[防振品金物]										SP: スプリングパッド fn≒ 12.0Hz			
・天井設置の室内機は防振吊りとし、振れ止め処置を施すこと				[遠心送風機]				[天井扇]										A: 標準スプリング fn≒ 4.0Hz			
・電源容量は参考値とする				・スプリング防振架台				・吊り金具										B: 高性能スプリング fn≒ 3.0Hz			
				・呼び番手#2以上の天吊り送風機は、形鋼製架台を付属する				・天井ルーバー										C: 高性能スプリング fn≒ 2.3Hz			
[遠心送風機]				形鋼製架台には、防振材 (○ゴム ●スプリング) を介して取り付けるものとし、ストッパーはボルト形とする																	
・ファンの電動機は、上記かつIEC (国際電気標準会議) における規格IE3に準拠した効率以上とすること																					
・ベルトは高効率Vベルト、プーリーはブラッシングプーリーとする																					

■空調用タンク類

機 器 番 号	名 称	数 量	機 器 仕 様	防 振	電 源 動 力 (60Hz)					運 転 制 御			設 置 場 所	備 考
					相 φ	電 圧 V	動 力 kW	始 動 方 式	非 常 電 源	中 央	個 別	連 動 インターロック		
EXPT-1	脚張タンク (冷水用)	1	型式 : 密閉型角膜式脚張タンク (空調用、鋼板製) 最高使用圧力 : 0.55MPa 脚張水量 : 5.32L タンク内容積 : 11.7L	－	－	－	－	－	－	－	－	－	南棟 2F 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
EXPT-2	脚張タンク (温水用)	1	型式 : 密閉型角膜式脚張タンク (空調用、鋼板製) 最高使用圧力 : 0.55MPa 脚張水量 : 5.32L タンク内容積 : 11.7L	－	－	－	－	－	－	－	－	－	南棟 2F 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
T-1	クッションタンク (冷水用)	1	型式 : 密閉型空調用タンク (SUS製) タンク容量 : 800L	－	－	－	－	－	－	－	－	－	南棟 2F 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
T-2	クッションタンク (温水用)	1	型式 : 密閉型空調用タンク (SUS製) タンク容量 : 800L	－	－	－	－	－	－	－	－	－	南棟 2F 屋外機置場	コンクリート基礎は建築工事
□特記事項 ・機器の仕様は「公共建築工事標準仕様書」に準拠すること □付属品 ・標準仕様品一式														

■フィルターユニット

機 器 番 号	名 称	系 統		数量	仕 様				フィルター寸法				ケーシング寸法				備 考				
		名 称	送風機接続系統		型 式	処理風量 [m3/h]	最終圧損 [Pa]	フィルター (プレ：質量法82% 除塵：IEJIS 比色法90%)	W	x	D	x	H	W	x	D		x	H		
(北棟)																					
FU-N-1-1	除塵フィルター	1F 編集室1	HEU-N-1-1	1	ダクト接続型	270	138	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-1-2	除塵フィルター	1F 編集室2	HEU-N-1-2	1	ダクト接続型	270	138	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-1-3	除塵フィルター	1F 撮影収録スタジオ	HEU-N-1-3	1	ダクト接続型	300	154	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-1-4	除塵フィルター	1F 収録調整室	HEU-N-1-4	1	ダクト接続型	150	78	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-1-5	除塵フィルター	1F 待合・休憩スペース	HEU-N-1-5	2	ダクト接続型	410	212	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-1-6	除塵フィルター	1F 受付	HEU-N-1-6	1	ダクト接続型	210	108	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-1-7	除塵フィルター	1F カフェ	HEU-N-1-7	3	ダクト接続型	410	212	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-1-8	除塵フィルター	1F 厨房	SF-N-1-1	1	ダクト接続型	150	78	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-1-9	除塵フィルター	1F 厨房	SF-N-1-2	1	ダクト接続型	1,500	236	プレフィルター + 除塵フィルター	610	x	プレ：20	，	除塵：150	x	610	800	x	500	x	800	
FU-N-2-1	除塵フィルター	2F 会議室1	HEU-N-2-1	2	ダクト接続型	450	230	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-2-2	除塵フィルター	2F 会議室2	HEU-N-2-2	2	ダクト接続型	360	184	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-2-3	除塵フィルター	2F 会議室3	HEU-N-2-3	2	ダクト接続型	360	184	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-N-2-4	除塵フィルター	2F 活動室	HEU-N-2-4	2	ダクト接続型	390	200	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
(南棟)																					
FU-S-1-1	除塵フィルター	1F 応接室	HEU-S-1-1	1	ダクト接続型	150	78	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-S-1-2	除塵フィルター	1F 事務室	HEU-S-1-2	1	ダクト接続型	150	78	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-S-1-3	除塵フィルター	1F 小会議室	HEU-S-1-3	1	ダクト接続型	270	138	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-S-1-4	除塵フィルター	1F エントランス・授乳室	HEU-S-1-4	1	ダクト接続型	500	260	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-S-1-5	除塵フィルター	1F 歴史情報発信コーナー	HEU-S-1-5	2	ダクト接続型	350	180	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-S-1-6	除塵フィルター	1F 機械室	SF-S-1-1	1	ダクト接続型	1,000	240	プレフィルター + 除塵フィルター	610	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	800	x	500	x	500	
FU-S-1-7	除塵フィルター	1F 倉庫S2	SF-S-1-2	1	ダクト接続型	1,000	240	プレフィルター + 除塵フィルター	610	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	800	x	500	x	500	
FU-S-2-1	除塵フィルター	2F 映写室調整室1	HEU-S-2-1	1	ダクト接続型	150	78	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-S-2-2	除塵フィルター	2F ホール1	HEU-S-2-2	2	ダクト接続型	410	212	プレフィルター + 除塵フィルター	305	x	プレ：20	，	除塵：150	x	305	500	x	500	x	500	
FU-S-2-3	除塵フィルター	2F キャットウォーク（ギャラリー）	SF-S-2-1	1	ダクト接続室外設置型	2,600	292	プレフィルター + 除塵フィルター	610	x	プレ：20	，	除塵：150	x	610	800	x	900	x	900	
□特記事項 ・機器の仕様は、標準塩害対応品とすること ・機器の仕様は「公共建築工事標準仕様書」に準拠すること																			□付属品 ・「FU-S-2-3」は傾斜屋根、フット、カッ付きを付属とする ・その他、標準付属品一式を付属とする		

■消音器リスト

種類	対象機器番号	数量	種別	サイズ			備考
				H	W	L	
(北棟)							
消音器	ACP-N-3-1	1	SA	500	x	400 x 1,000	
消音器	ACP-N-3-1	1	RA	500	x	400 x 1,000	
消音器	ACP-N-4-1	1	SA	500	x	400 x 1,000	
消音器	ACP-N-4-1	1	RA	500	x	400 x 1,000	
消音器	HEU-N-1-3	1	OA	500	x	400 x 1,000	
消音器	HEU-N-1-3	1	EA	500	x	400 x 1,000	
消音器	HEU-N-1-4	1	OA	500	x	400 x 1,000	
消音器	HEU-N-1-4	1	EA	500	x	400 x 1,000	
(南棟)							
消音器	AHU-S-1	1	SA	800	x	550 x 2,000	
消音器	AHU-S-1	1	RA	800	x	550 x 2,000	
消音器	AHU-S-2	1	SA	800	x	650 x 2,000	
消音器	AHU-S-2	1	RA	800	x	650 x 2,000	
消音器	AHU-S-3	2	SA	1,000	x	800 x 2,000	
消音器	AHU-S-3	2	RA	800	x	900 x 2,000	
消音器	SF-S-2-1	1	OA	600	x	500 x 2,000	
消音器	EF-S-2-5	3	EA	500	x	400 x 1,000	
消音器	SMF-S-1	1	SM	650	x	500 x 1,000	映像ホール2
消音器	SMF-S-1	1	SM	700	x	600 x 1,000	映像ホール1
消音器	SMF-S-1	1	SM	900	x	750 x 1,000	ギャラリー
□消音器仕様 外装 : SGCC 内表面 : SGCCバンチング 吸音材 : GW充填							

■VAV/CAVリスト

記号	系統	数量	種類	風量 [m3/h]	制御	設置場所	備考
						室名	
VAV-S-1	映像ホール1	1	OA	3,000	CO2濃度による比例制御、全閉機能付き	南棟 1F機械室	電気式 (AC100V)
VAV-S-2	映像ホール2	1	OA	1,600	CO2濃度による比例制御、全閉機能付き	南棟 1F機械室	電気式 (AC100V)
VAV-S-3	ギャラリー／イベント	1	OA	4,200	CO2濃度による比例制御、全閉機能付き	南棟 1F機械室	電気式 (AC100V)
□特記事項 ・耐塩仕様							

制 気 ロ リ ス ト

北 棟

階	部屋名	系統名	種別	制 気 ロ			風量 m3/h	合計 m3/h	流 入		ボックス W × L × H	内 貼 (GW25)	備 考
				型式	寸 法	個数			型 式	m3/h			
1	厨 房	SF-N-1-1	OA	VHS	200 × 200	1	150	150			300 × 300 × 250	○	
1	厨 房	OCP-N-1-1	SOA	VHS	350 × 350	2	750	1500	KFN-N-1-1	1500	450 × 450 × 350	○	
1	WC-N1	EN-N-1-3	EA	HS	150 × 150	8	113	900	HEU-N-1-3, 4, 5, 6	900	350 × 350 × 300	-	廊下より
1	編集室 1	HEU-N-1-1	SA	VHS	250 × 200	1	270	270			450 × 400 × 300	○	
1	編集室 1	HEU-N-1-1	RA	HS	250 × 200	1	270	270			450 × 400 × 300	○	
1	編集室 2	HEU-N-1-2	SA	VHS	250 × 200	1	270	270			450 × 400 × 300	○	
1	編集室 2	HEU-N-1-2	RA	HS	250 × 200	1	270	270			450 × 400 × 300	○	
1	撮影収録スタジオ	HEU-N-1-3	SA	VHS	250 × 200	1	300	300			450 × 400 × 300	○	
1	撮影収録スタジオ	HEU-N-1-3	RA	HS	250 × 200	1	300	300			450 × 400 × 300	○	
1	撮影収録スタジオ	HEU-N-1-3	EA	VHS	250 × 200	1	300	300			450 × 400 × 300	-	廊下へ排気
1	撮影収録スタジオ	ACP-N-4-1	SA	BL-D	2000 L	2	540	1080			2200 × 200 × 300	○	
1	撮影収録スタジオ	ACP-N-4-1	RA	CL-3	2000 L	2	540	1080			2200 × 200 × 300	○	
1	収録調整室	HEU-N-1-4	SA	VHS	250 × 200	1	300	300			450 × 400 × 300	○	
1	収録調整室	HEU-N-1-4	RA	HS	250 × 200	1	300	300			450 × 400 × 300	○	
1	収録調整室	HEU-N-1-4	EA	VHS	250 × 200	1	300	300			450 × 400 × 300	-	廊下へ排気
1	収録調整室	ACP-N-3-1	SA	BL-T	2000 L	1	780	780			2200 × 250 × 300	○	
1	収録調整室	ACP-N-3-1	RA	CL-4	2000 L	1	780	780			2200 × 250 × 300	○	
1	受 付	HEU-N-1-6	SA	VHS	200 × 200	1	210	210			400 × 400 × 300	○	
1	受 付	HEU-N-1-6	RA	HS	200 × 200	1	210	210			400 × 400 × 300	○	
1	受 付	HEU-N-1-6	EA	VHS	200 × 200	1	210	210			400 × 400 × 300	-	廊下へ排気
1	待合・休憩スペース	HEU-N-1-5	SA	BL-D	2000 L	2	410	820			2200 × 200 × 300	○	
1	待合・休憩スペース	HEU-N-1-5	RA	CL-2	2000 L	2	410	820			2200 × 200 × 300	○	
1	待合・休憩スペース	HEU-N-1-5	EA	VHS	300 × 250	2	410	820			500 × 450 × 300	-	廊下へ排気
1	待合・休憩スペース	ACP-N-6-1	SA	BL-D	2000 L	4	480	1920			2200 × 200 × 300	○	
1	待合・休憩スペース	ACP-N-6-1	RA	CL-5	2000 L	2	960	1920			2200 × 250 × 300	○	
1	カフェ	HEU-N-1-7	SA	BL-D	2000 L	3	410	1230			2200 × 200 × 300	○	
1	カフェ	HEU-N-1-7	RA	CL-2	2000 L	3	410	1230			2200 × 200 × 300	○	
1	カフェ	ACP-N-6-2	SA	BL-T	2000 L	4	870	3480			2200 × 250 × 300	○	
1	カフェ	ACP-N-6-2	RA	CL-12	2000 L	2	1740	3480			2200 × 250 × 300	○	
□特記事項 SA・OAは結露防止カバーを見込むこと													
2	WC-N2 (F)、WC-N2 (M)	EN-N-2-3	EA	HS	200 × 150	6	157	940	HEU-N-2-2, 3	940	400 × 350 × 300	-	廊下より
2	会議室 1	HEU-N-2-1	SA	VHS	300 × 250	2	450	900			500 × 450 × 300	○	
2	会議室 1	HEU-N-2-1	RA	HS	300 × 250	2	450	900			500 × 450 × 300	○	
2	会議室 2	HEU-N-2-2	SA	VHS	250 × 250	2	360	720			450 × 450 × 300	○	
2	会議室 2	HEU-N-2-2	RA	HS	250 × 250	2	360	720			450 × 450 × 300	○	
2	会議室 2	HEU-N-2-2	EA	BL-S	2000 L	2	360	720			2200 × 200 × 300	-	廊下へ排気
2	会議室 3	HEU-N-2-3	SA	VHS	250 × 250	2	360	720			450 × 450 × 300	○	
2	会議室 3	HEU-N-2-3	RA	HS	250 × 250	2	360	720			450 × 450 × 300	○	
2	会議室 3	HEU-N-2-3	EA	BL-S	2000 L	2	360	720			2200 × 200 × 300	-	廊下へ排気
2	活 動 室	HEU-N-2-4	SA	VHS	250 × 250	2	390	780			450 × 450 × 300	○	
2	活 動 室	HEU-N-2-4	RA	HS	250 × 250	2	390	780			450 × 450 × 300	○	
2	活 動 室	ACP-N-6-2	SA	ノズル	#12 (290φ)	6	390	2340			400 × 400 × 300	○	自動風向可変ノズル
2	活 動 室	ACP-N-6-2	RA	CL-4	2000 L	3	780	2340			2200 × 250 × 300	○	
2	ホール2	ACP-N-6-3	SA	BL-D	2000 L	6	390	2340			2200 × 200 × 300	○	
2	ホール2	ACP-N-6-3	RA	CL-3	2000 L	4	585	2340			2200 × 200 × 300	○	
□特記事項 SA・OAは結露防止カバーを見込むこと													

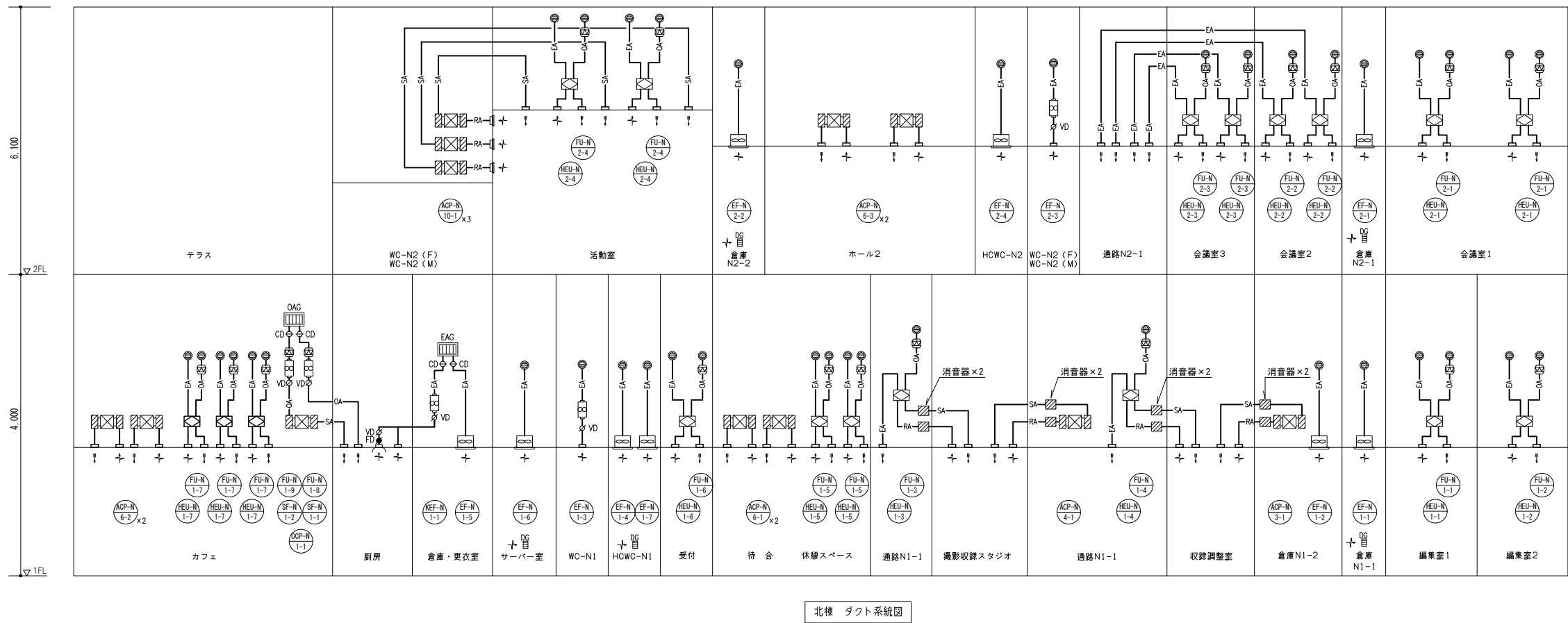
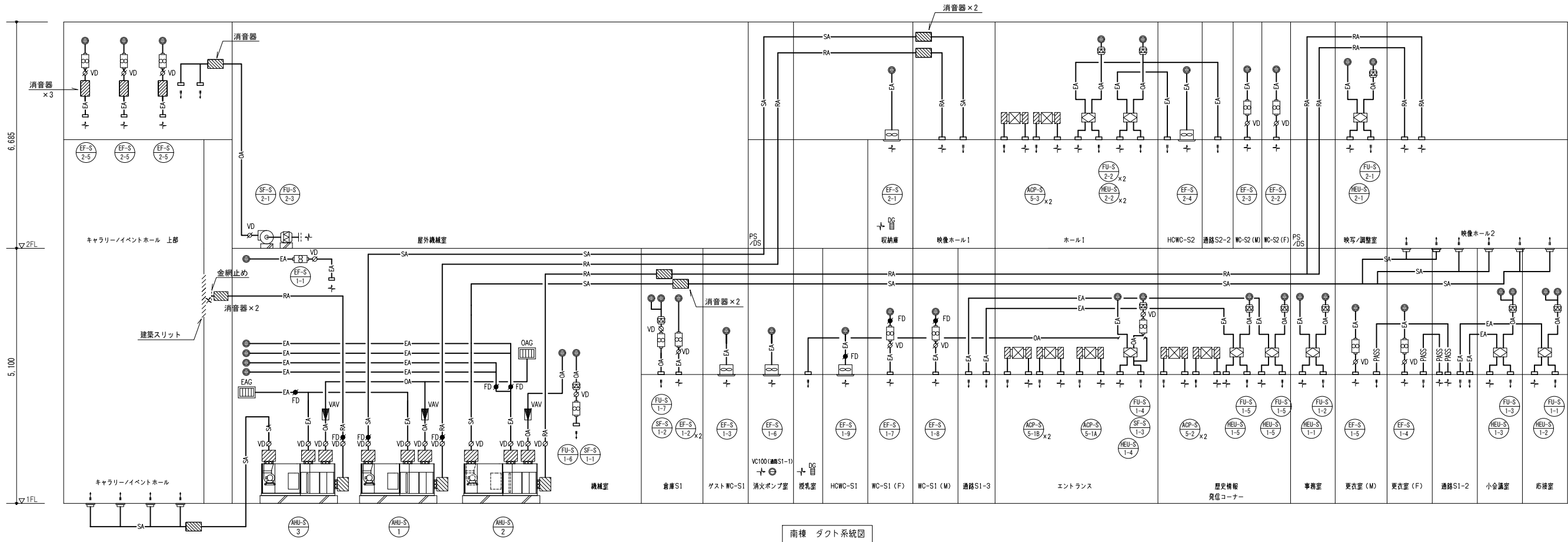
チ ャ ン バ ー リ ス ト

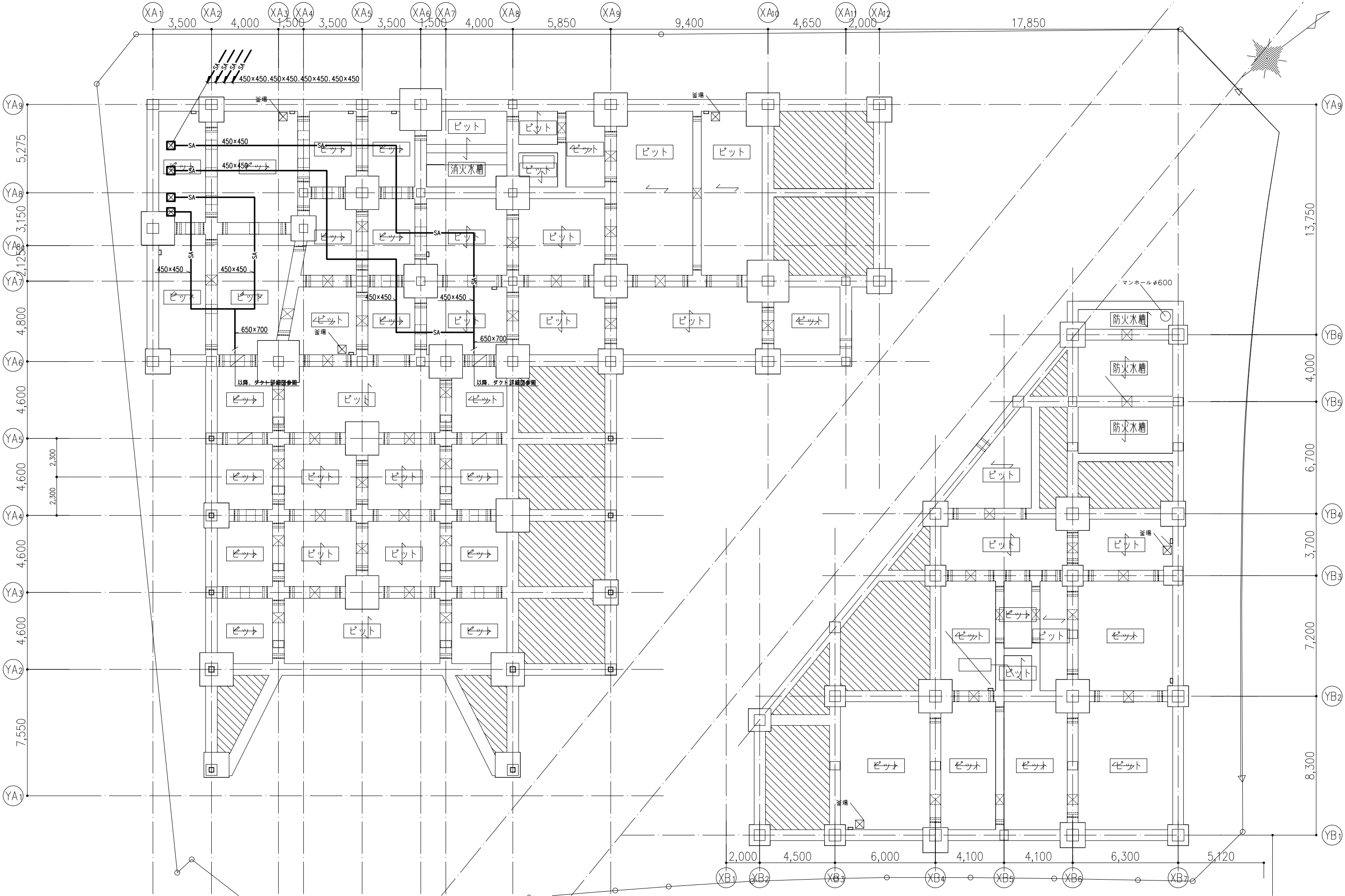
北 棟

階	部屋名	系統名	種別	風量 m3/h	開口率 %	風速 m/s	有効面積 m2	合計 m3/h	寸 法 W × L × H	内 貼 (GW25)	個数	備 考
1	厨 房	OCP-N-1-1	OA	-	-	-	-	-	1500 × 500 × 600	○	1	外気側は外貼とする。
1	厨 房	OCP-N-1-1	SA	-	-	-	-	-	1500 × 500 × 500	○	1	
1	収録調整室	ACP-N-3-1	SA	-	-	-	-	-	700 × 500 × 500	○	1	
1	収録調整室	ACP-N-3-1	RA	-	-	-	-	-	900 × 500 × 500	○	1	
1	撮影収録スタジオ	ACP-N-4-1	SA	-	-	-	-	-	700 × 500 × 500	○	1	
1	撮影収録スタジオ	ACP-N-4-1	RA	-	-	-	-	-	900 × 500 × 500	○	1	
1	待合・休憩スペース	ACP-N-6-1	SA	-	-	-	-	-	700 × 500 × 500	○	2	
1	待合・休憩スペース	ACP-N-6-1	RA	-	-	-	-	-	900 × 500 × 500	○	2	
1	カフェ	ACP-N-6-2	SA	-	-	-	-	-	1400 × 500 × 500	○	2	
1	カフェ	ACP-N-6-2	RA	-	-	-	-	-	1600 × 500 × 500	○	2	
1	O A G	厨房	OA	2250	30	3.0	0.694	-	1400 × 500 × 500	○	1	外気側は外貼とする。
1	E A G	厨房・倉庫	EA	2250	30	3.5	0.595	-	1200 × 500 × 500	-	1	
2	ホール2	ACP-N-6-3	SA	-	-	-	-	-	1000 × 500 × 500	○	2	
2	ホール2	ACP-N-6-3	RA	-	-	-	-	-	1200 × 500 × 500	○	2	
2	活 動 室	ACP-N-10-1	SA	-	-	-	-	-	700 × 500 × 500	○	3	
2	活 動 室	ACP-N-10-1	RA	-	-	-	-	-	900 × 500 × 500	○	3	

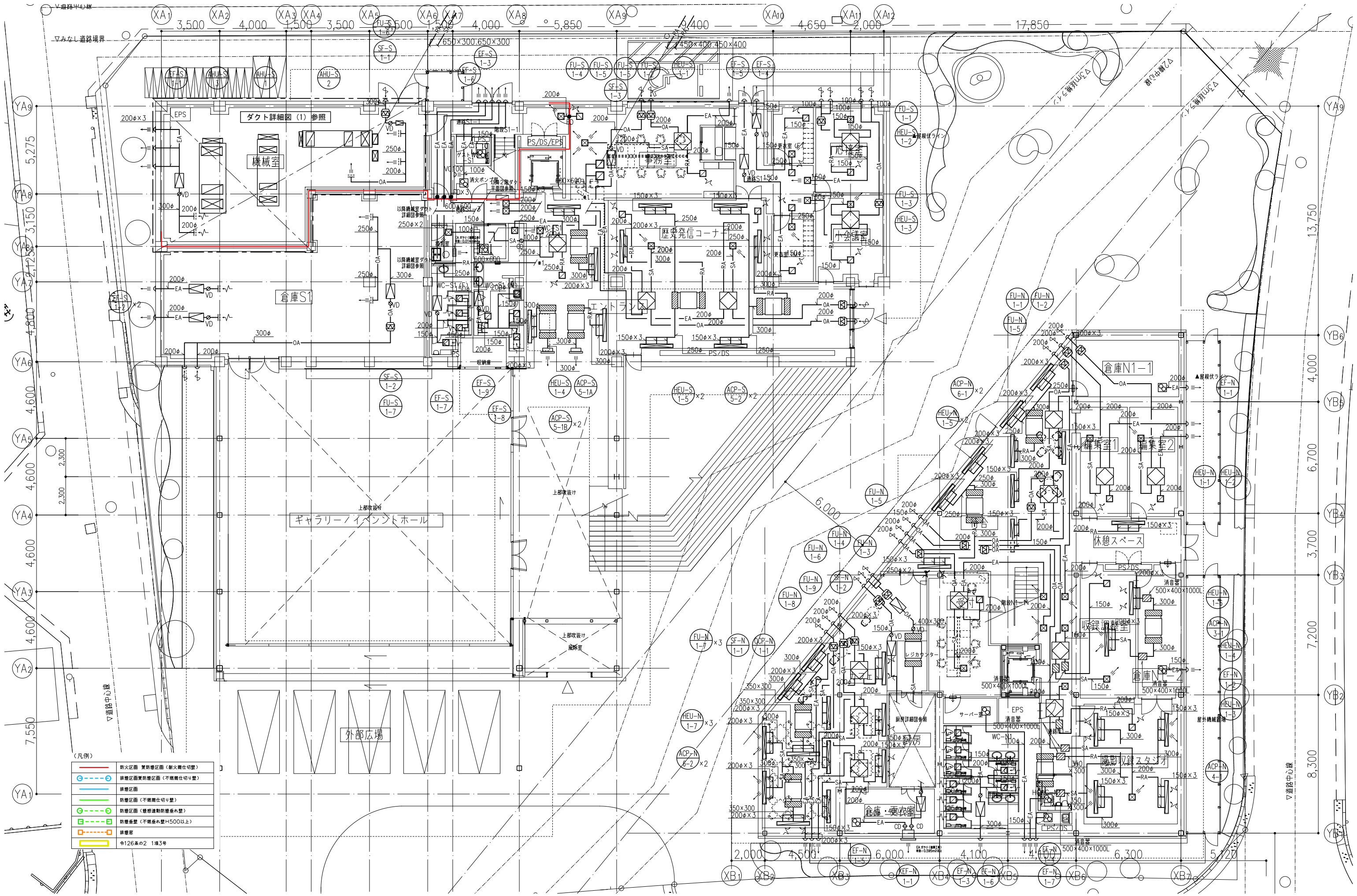
南 棟

階	部屋名	系統名	種別	制 気 ロ			風量	合計	流 入		ボ ッ ク ス		内 貼	備 考
				型式	寸 法	個数	m3/h	m3/h	型 式	m3/h	W × L × H	(GW25)		
1	機 械 室	SF-S-1-1	OA	金網	250 × 250	3	334	1000			450 × 450 × 300	-		
1	機 械 室	EF-S-1-1	EA	金網	250 × 250	2	500	1000	SF-S-1-1	1000	450 × 450 × 300	-		
1	倉庫S1	SF-S-1-2	OA	金網	300 × 300	2	500	1000			500 × 500 × 300	-		
1	倉庫S1	EF-S-1-2	EA	金網	300 × 300	2	500	1000	SF-S-1-2	1000	500 × 500 × 300	-		
1	更衣室 (F)	EF-S-1-4	EA	HS	200 × 200	1	210	210	PASS	210	400 × 400 × 300	-		
1	更衣室 (F)	PASS	EA	VHS	250 × 250	1	210	210	PASS	210	450 × 450 × 300	-		
1	通路S1-2	PASS	EA	HS	250 × 250	1	210	210	HEU-S-1-2, 3	210	450 × 450 × 300	-		
1	更衣室 (M)	EF-S-1-5	EA	HS	200 × 200	1	210	210	PASS	210	400 × 400 × 300	-		
1	更衣室 (M)	PASS	EA	VHS	250 × 250	1	210	210	PASS	210	450 × 450 × 300	-		
1	通路S1-2	PASS	EA	HS	250 × 250	1	210	210	HEU-S-1-2, 3	210	450 × 450 × 300	-		
1	WC-S1 (F)	EF-S-1-7	EA	HS	150 × 150	4	108	430	HEU-S-1-4, 5	430	350 × 350 × 300	-		
1	WC-S1 (M)	EF-S-1-8	EA	HS	150 × 150	4	108	430	HEU-S-1-4, 5	430	350 × 350 × 300	-		
1	事 務 室	HEU-S-1-1	SA	VHS	250 × 200	1	300	300			450 × 400 × 300	○		
1	事 務 室	HEU-S-1-1	RA	HS	250 × 200	1	300	300			450 × 400 × 300	○		
1	事 務 室	PASS	RA	HS	250 × 250	1	150	150	PASS	150	450 × 450 × 300	-		
1	通路S1-1	PASS	EA	VHS	250 × 250	1	150	150	PASS	150	450 × 450 × 300	-		
1	応 接 室	HEU-S-1-2	SA	VHS	200 × 150	1	150	150			400 × 350 × 300	○		
1	応 接 室	HEU-S-1-2	RA	HS	200 × 150	1	150	150			400 × 350 × 300	○		
1	応接室 (通路S1-2へ排気)	HEU-S-1-2	EA	VHS	200 × 150	1	150	150			400 × 350 × 300	-	廊下へ排気	
1	小会議室	HEU-S-1-3	SA	VHS	200 × 150	1	150	150			400 × 350 × 300	○		
1	小会議室	HEU-S-1-3	RA	HS	200 × 150	1	150	150			400 × 350 × 300	○		
1	小会議室 (通路S1-2へ排気)	HEU-S-1-3	EA	VHS	200 × 150	1	150	150			400 × 350 × 300	-	廊下へ排気	
1	受 乳 室	HEU-S-1-4	SA	VHS	100 × 100	1	30	30			300 × 300 × 300	○		
1	エントランス	HEU-S-1-4	SA	VHS	300 × 250	1	470	470			300 × 300 × 300	○		
1	エントランス	HEU-S-1-4	RA	HS	300 × 250	1	470	470			300 × 300 × 300	○		
1	エントランス	ACP-S-5-1A	SA	BL-T	2000 L	1	1170	1170			2200 × 250 × 300	○		
1	エントランス	ACP-S-5-1A	RA	CL-6	2000 L	1	1170	1170			2200 × 250 × 300	○		
1	エントランス (吹抜部)	ACP-S-5-1B	SA	ノズル	#12 (290φ)	2	1170	2340			- × - × -	○	自動風向可変ノズル	
1	エントランス (吹抜部)	ACP-S-5-1B	RA	CL-6	2000 L	2	1170	2340			2200 × 250 × 300	○		
1	歴史情報発信コーナー	HEU-S-1-5	SA	VHS	250 × 250	2	350	350			450 × 450 × 300	○		
1	歴史情報発信コーナー	HEU-S-1-5	RA	HS	250 × 250	2	350	350			450 × 450 × 300	○		
1	歴史情報発信コーナー	ACP-S-5-2	SA	BL-D	2000 L	4	435	1740			2200 × 200 × 300	○		
1	歴史情報発信コーナー	ACP-S-5-2	RA	CL-4	2000 L	2	870	1740			2200 × 250 × 300	○		
1	ギャラリー/イベントホール	AHU-S-3	SA	床吹出	260φ	44	202	8890			550 × 400 × 300	○	※参考型番：SXF-2000LR S3D直付	
1	ギャラリー/イベントホール	AHU-S-3	SA	建築	1000 × 100	20	305	6100			1200 × 300 × 300	○	※制気口・90°フランジまで建築工事	
1	ギャラリー/イベントホール	AHU-S-3	RA	建築	1.67m2 以上			15000			- × - × -	-	RASリット	
1	ギャラリー/イベントホール	AHU-S-3	RA	金網	600 × 800	2	7500	15000			- × - × -	-		
1	ギャラリー上部キャットウォーク	SF-S-2-1	OA	金網	850 × 250	2	1300	2600			- × - × -	-		
1	ギャラリー上部キャットウォーク	EF-S-2-5	EA	金網	400 × 350	3	867	2600	SF-S-2-1	2600	600 × 550 × 300	-		
2	WC-S2 (F)	EF-S-2-2	EA	HS	150 × 100	5	64	320	HEU-S-2-2	320	350 × 300 × 300	-	廊下より	
2	WC-S2 (M)	EF-S-2-3	EA	HS	200 × 150	3	167	500	HEU-S-2-2	500	400 × 350 × 300	-	廊下より	
2	ホール1	HEU-S-2-2	SA	BL-D	2000 L	2	410	820			2200 × 200 × 300	○		
2	ホール1	HEU-S-2-2	RA	CL-2	2000 L	2	410	820			2200 × 200 × 300	○		
2	ホール1 (通路S2-2)	HEU-S-2-2	EA	HS	300 × 250	2	410	820			500 × 450 × 300	-	廊下・HWCへ排気	
2	ホール1	ACP-S-5-3	SA	BL-T	2000 L	2	870	1740			2200 × 250 × 300	○		
2	ホール1	ACP-S-5-3	RA	CL-4	2000 L	2	870	1740			2200 × 250 × 300	○		
2	映写/調整室	HEU-S-2-1	SA	VHS	200 × 150	1	150	150			400 × 350 × 300	○		
2	映写/調整室	HEU-S-2-1	RA	HS	200 × 150	1	150	150			400 × 350 × 300	○		
2	映像ホール1	AHU-S-1	SA	床吹出	400 × 250	45	100	4500			550 × 300 × 300	○	※参考型番：SXF-E 実験費用を見込む	
2	映像ホール1	AHU-S-1	SA	床吹出	1000 × 100	4	375	1500			1200 × 300 × 300	○		
2	映像ホール1	AHU-S-1	RA	HS	700 × 700	2	3000	6000			900 × 900 × 700	○		
2	映像ホール2	AHU-S-2	SA	PC	#25	8	413	3300			400 × 400 × 350	○		
2	映像ホール2	AHU-S-2	RA	CL-4	2000 L	4	825	3300			2200 × 250 × 300	○		
□特記事項 SA・OAは結露防止カバーを見込むこと														



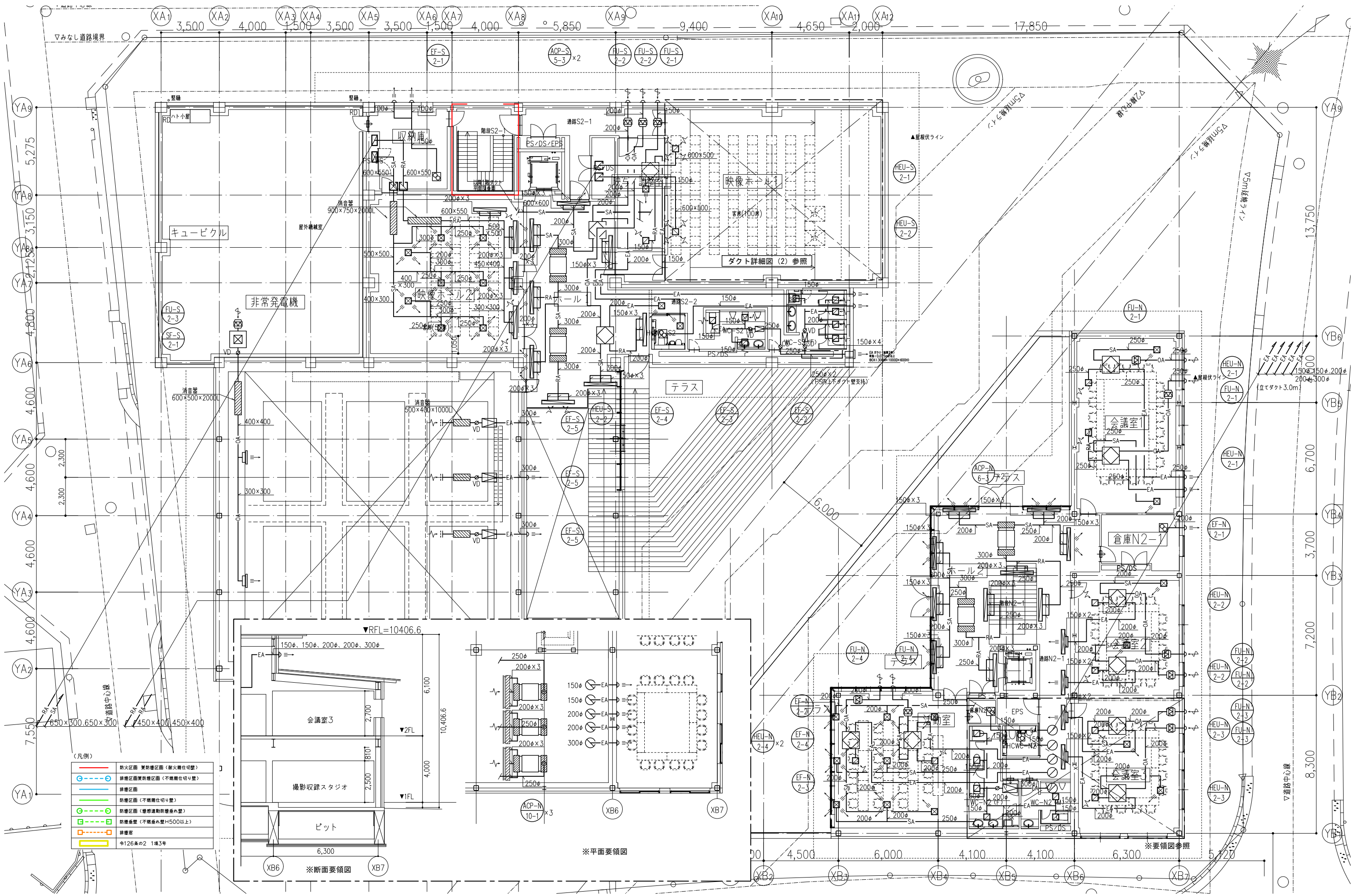


KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号	一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 空調換気設備 ピット ダクト平面図	DRAWING No. M-108
		CHECKED	CHECKED			SCALE scale=1/200(A3)	DATE 2023/10/24
		APPROVED	APPROVED				



(凡例)

	防火区画 兼防煙区画 (耐火構造仕切壁)
	排煙区画兼防煙区画 (不燃構造仕切り壁)
	排煙区画
	防煙区画 (不燃構造仕切り壁)
	防煙区画 (煙感連動防煙垂れ壁)
	防煙垂壁 (不燃垂れ壁H500以上)
	排煙部
	令126条の2 1項3号



KENGO KUMA & ASSOCIATES

限研研建築都市設計事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

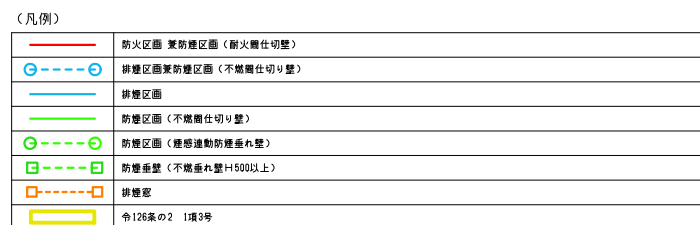
一級建築士
登録第319332号
宮原賢次

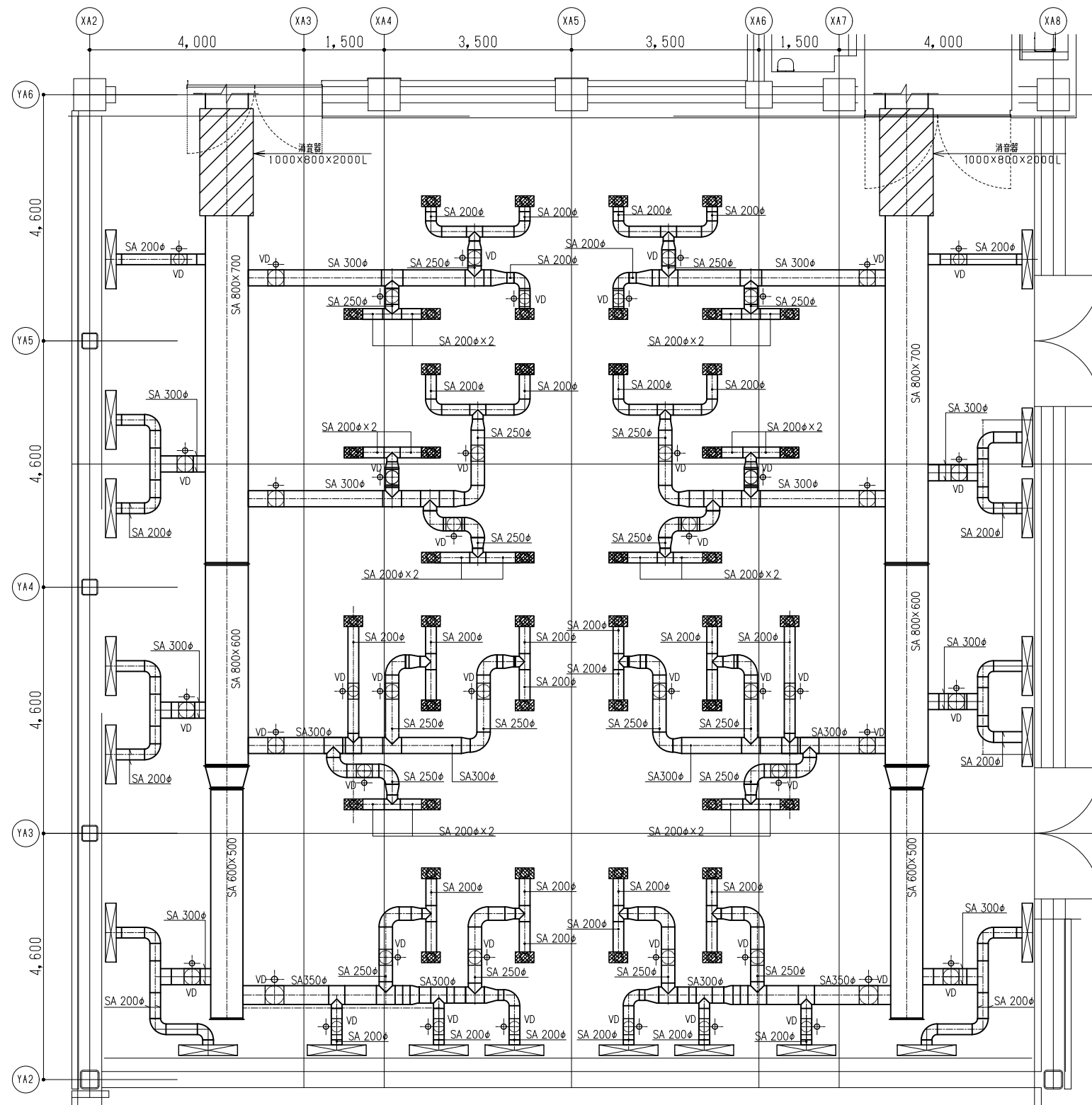
DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

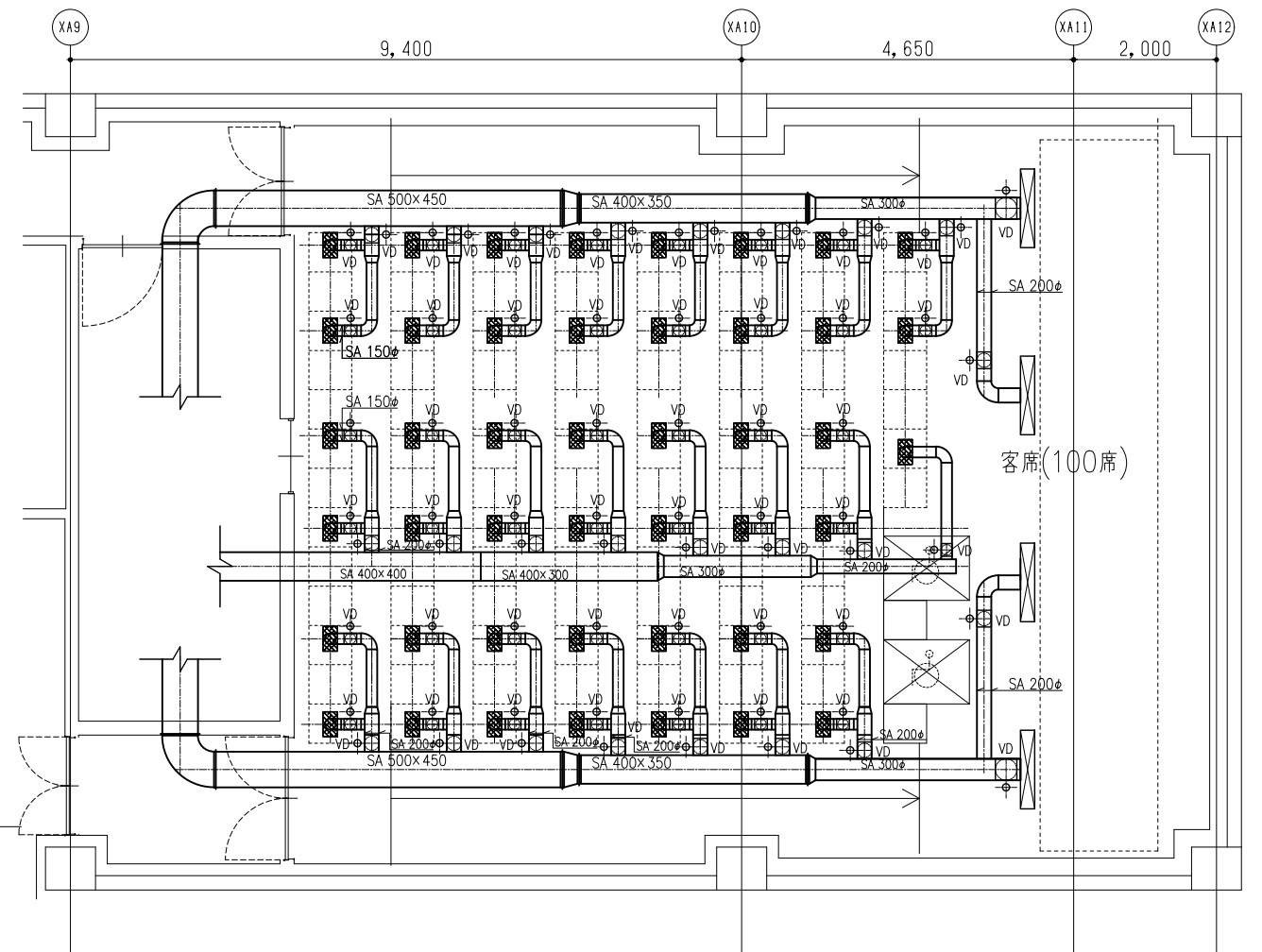
DRAWING TITLE	空調換気設備 2階 ダクト平面図
SCALE	scale=1/200(A3)

DRAWING No.	M-110
DATE	2023/10/24

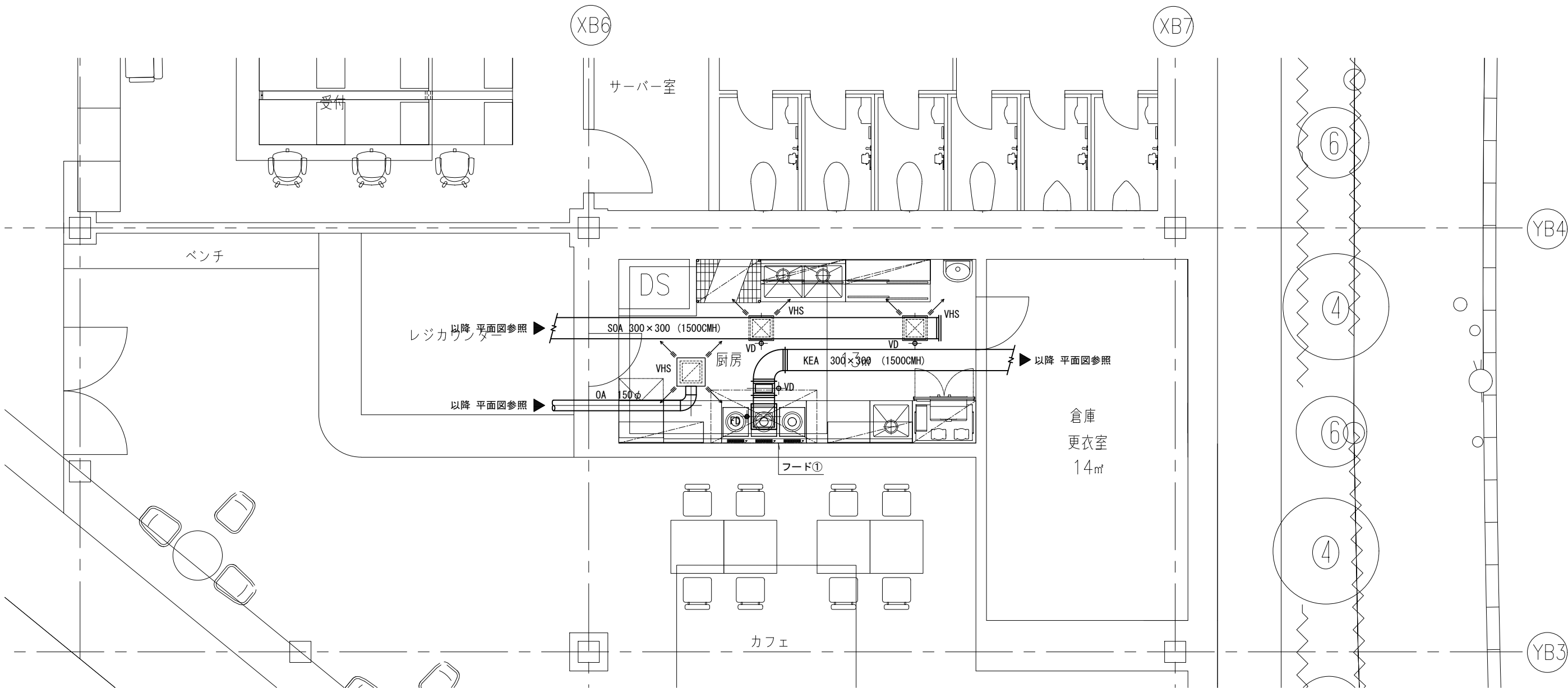




南棟 1階ギャラリー／イベントホール床下ダクト詳細図



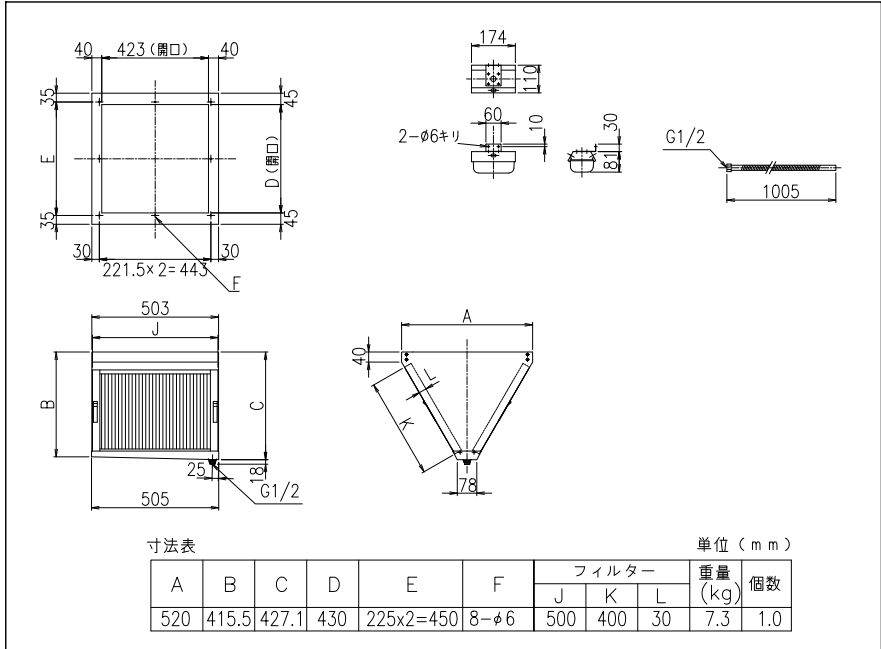
南棟 2階映像ホール1床下ダクト詳細図

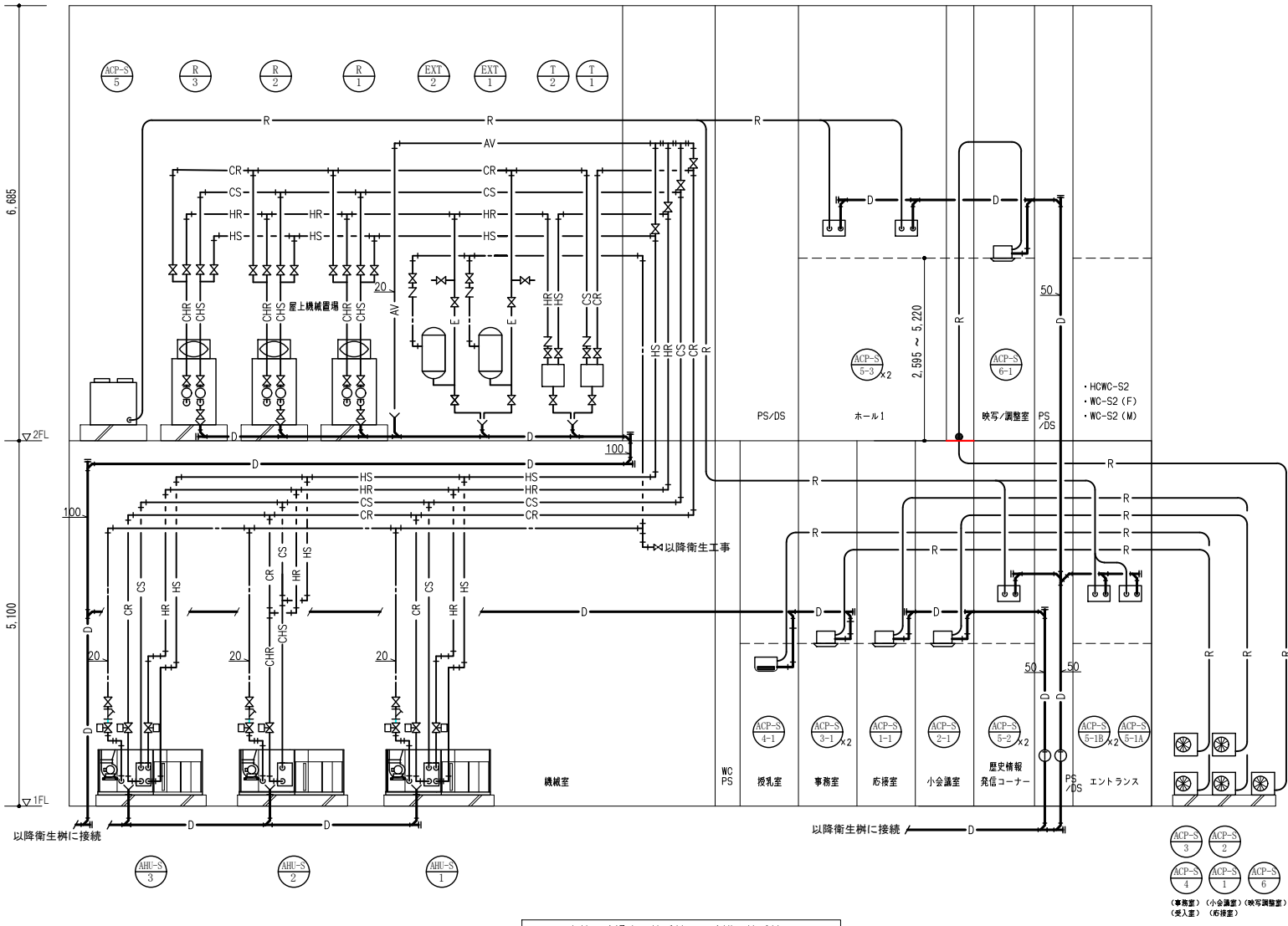


■フードリスト

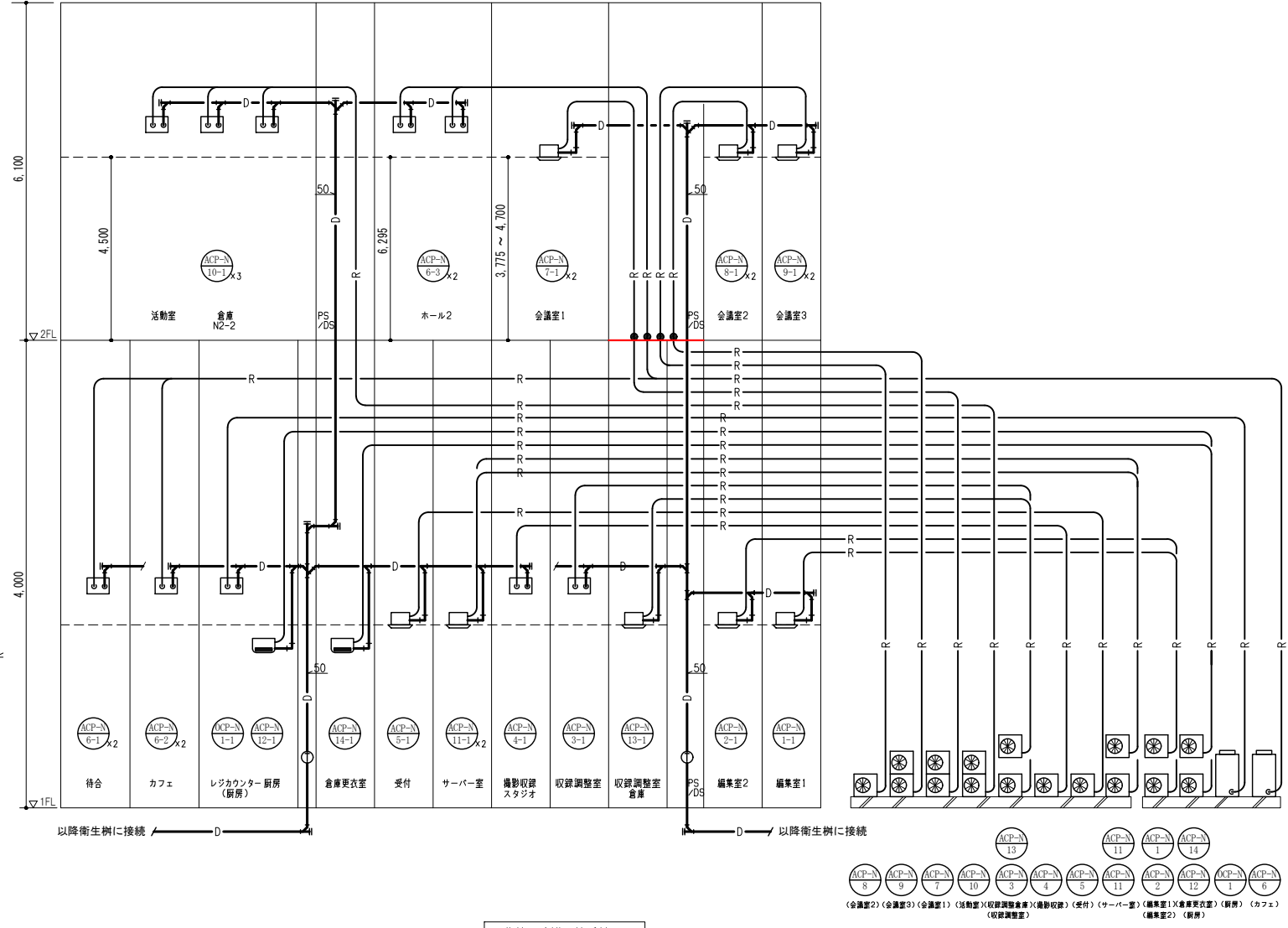
フード 番号	器具 番号	フード寸法 [mm×mm]	グリスフィルター	器具名	台数	面風速による計算			決定風量による 面風速 [m3/h]	決定風量による 面風速 [m/s]
						フード面積 [m2]	面風速 [m/s]	必要排気量 [m3/h]		
1	5	750×1500	○	電磁調理器	1	1.13	0.35	1,420	1,500	0.37
□特記事項 ・排気フードは、ステンレス鋼板製（SUS304）とし、板厚1.0mm以上、板継目は溶接とする。グリスフィルター、他標準付属品一式共。 ・器具からフードまでは800mm以上の離隔をとること。 ・排気フードのダクト接続部には、FD、VD取付とする。 ・ 厨房用排気ダクトはRW50mm巻とし、厨房用給気ダクトはGW25mm巻とする。 ・火源から排気フードまでの距離は1.0m以下とする。＊CH＝2500mm、フード高さ：1000mm ・ 器具番号と器具の配置は、M-401を参照。										

■グリスフィルター詳細図





南棟 冷温水配管系統図、冷媒配管系統図

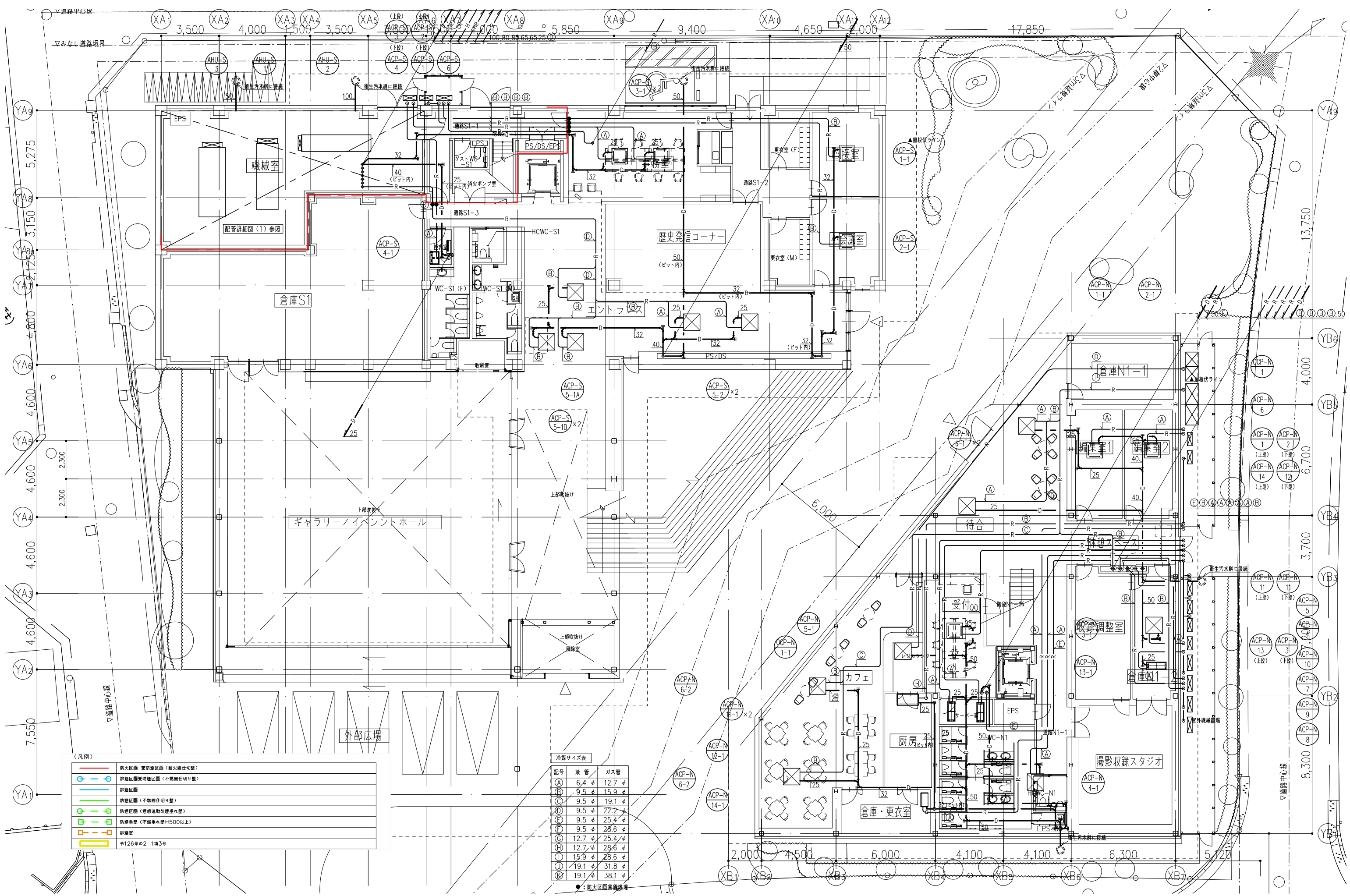


北棟 冷媒配管系統図

●：防火区画貫通処理

（凡例）

	防火区画 兼防煙区画（耐火構造仕切壁）
	排煙区画兼防煙区画（不燃構造仕切り壁）
	排煙区画
	防煙区画（不燃構造仕切り壁）
	防煙区画（煙密運動防煙垂れ壁）
	防煙垂壁（不燃垂れ壁H500以上）
	排煙窓
	令126条の2 1項3号



(凡例)

	防火区画 兼防煙区画 (耐火構造仕切壁)
	排煙区画兼防煙区画 (不燃構造仕切り壁)
	排煙区画
	防煙区画 (不燃構造仕切り壁)
	防煙区画 (煙部運動防煙垂れ壁)
	防煙区画 (煙部運動防煙垂れ壁)
	防煙区画 (不燃垂れ壁H500以上)
	排煙部
	全126系の2 1階3号

記号	冷媒	ガス
(A)	6.4 φ	12.7 φ
(B)	9.5 φ	15.9 φ
(C)	9.5 φ	19.1 φ
(D)	9.5 φ	22.2 φ
(E)	9.5 φ	25.4 φ
(F)	9.5 φ	28.6 φ
(G)	12.7 φ	25.4 φ
(H)	12.7 φ	28.6 φ
(I)	15.9 φ	28.6 φ
(J)	19.1 φ	31.8 φ
(K)	19.1 φ	38.1 φ

KENGO KUMA & ASSOCIATES

隈研吾建築都市設計事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

一級建築士

登録第3193352号

宮原賢次

DRAWN

CHECKED

APPROVED

COMPLETION DRAWING

DRAWN

CHECKED

APPROVED

REVISION

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE

空調換気設備 1階 配管平面図

SCALE

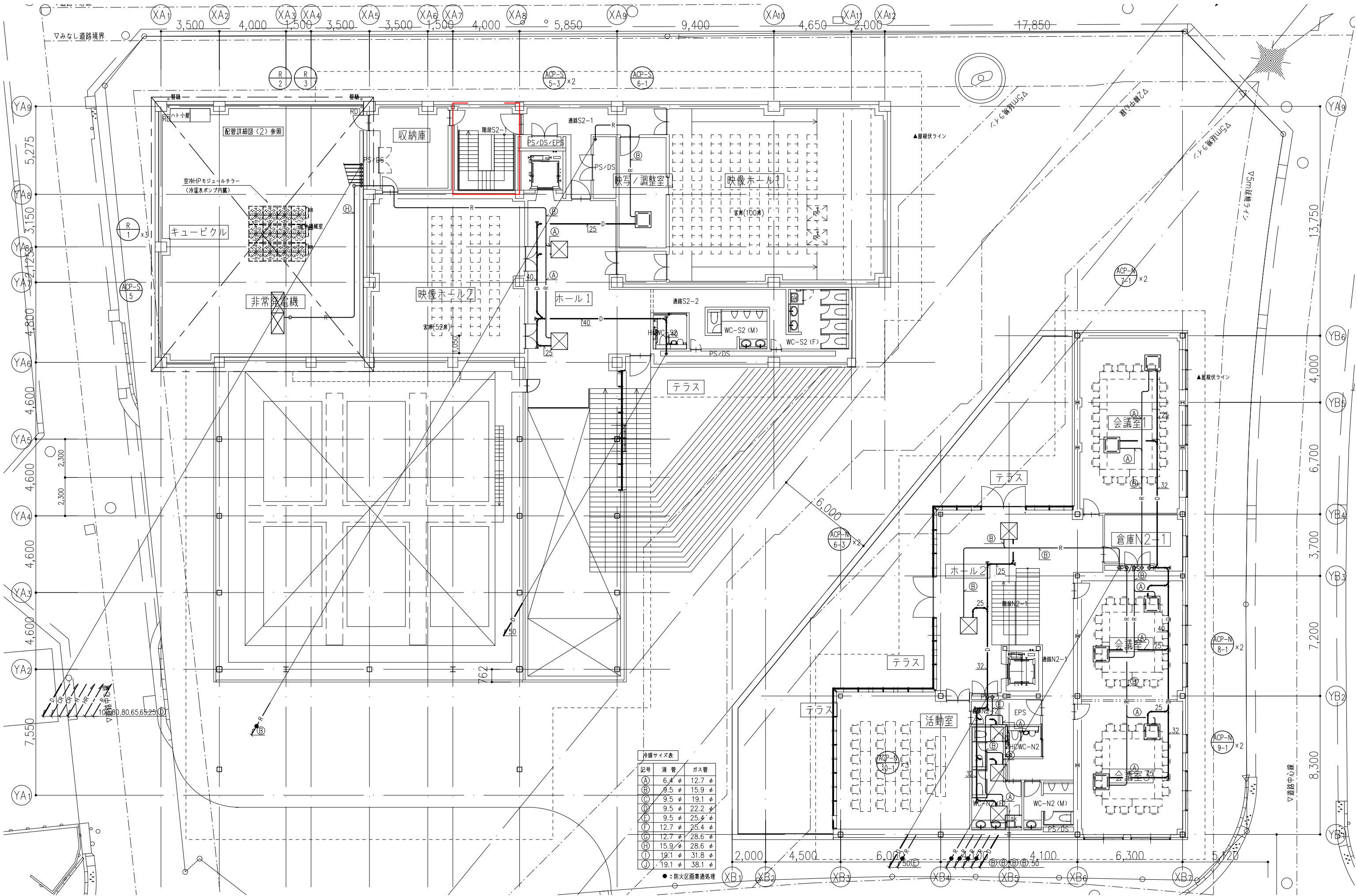
scale=1:200(A3)

DRAWING No.

M-115

DATE

2023/10/24



冷媒サイズ表		
記号	液管	ガス管
(A)	6.4 φ	12.7 φ
(B)	8.5 φ	15.9 φ
(C)	9.5 φ	19.1 φ
(D)	9.5 φ	22.2 φ
(E)	9.5 φ	25.4 φ
(F)	12.7 φ	25.4 φ
(G)	12.7 φ	28.6 φ
(H)	15.9 φ	28.6 φ
(I)	19.1 φ	31.8 φ
(J)	19.1 φ	38.1 φ

●：防火区画貫通処理

KENGO KUMA & ASSOCIATES

隈研吾建築都市設計事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

一級建築士

登録第3193352号

宮原賢次

DRAWN

CHECKED

APPROVED

COMPLETION DRAWING

DRAWN

CHECKED

APPROVED

REVISION

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE

空調換気設備 2階 配管平面図

SCALE

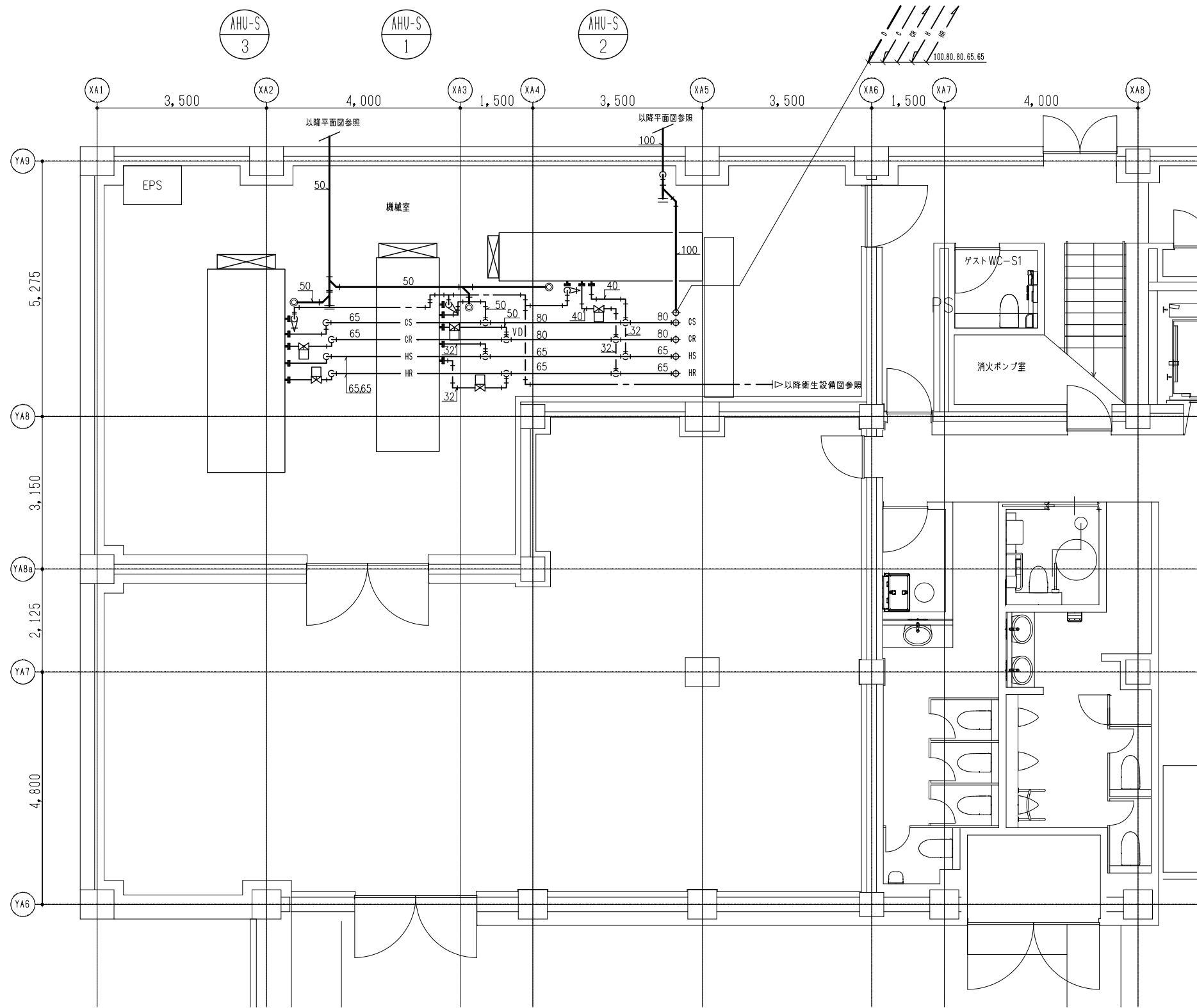
scale=1:200(A3)

DRAWING No.

M-116

DATE

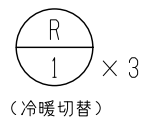
2023/10/24

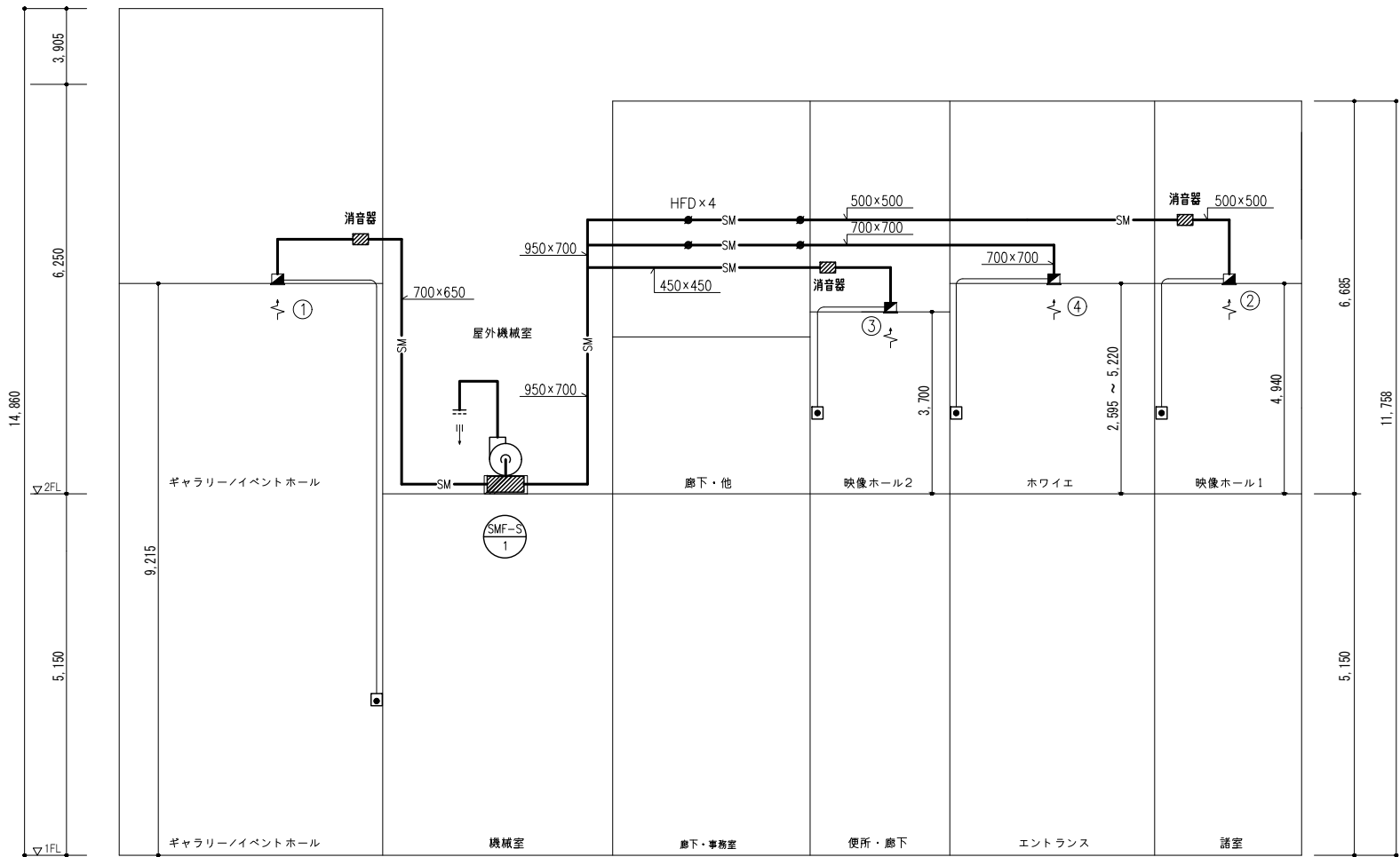


（AHU-S-1） ユニット空調和機		
冷水	GV 50	2
	FJ 50	2
	二方弁装置50	1
	圧力計	2
	温度計	2
温水	GV 32	2
	FJ 32	2
	二方弁装置32	1
	圧力計	2
	温度計	2
加湿	GV 20	1
	Yスト 20	1
	電磁弁20	1
排水	GV 25	2
	間接排水口 50×100	1

（AHU-S-2） ユニット空調和機		
冷温水	GV 40	2
	FJ 40	2
	二方弁装置40	1
	圧力計	2
	温度計	2
冷水	GV 32	2
	GV 40	2
加湿	GV 20	1
	Yスト 20	1
	電磁弁20	1
排水	GV 25	1
	間接排水口 50×100	1

（AHU-S-3） ユニット空調和機		
冷水	GV 65	2
	FJ 65	2
	二方弁装置65	1
	圧力計	2
	温度計	2
温水	GV 50	2
	FJ 50	2
	二方弁装置50	1
	圧力計	2
	温度計	2
加湿	GV 20	1
	Yスト 20	1
	電磁弁20	1
排水	GV 25	1
	間接排水口 50×100	1





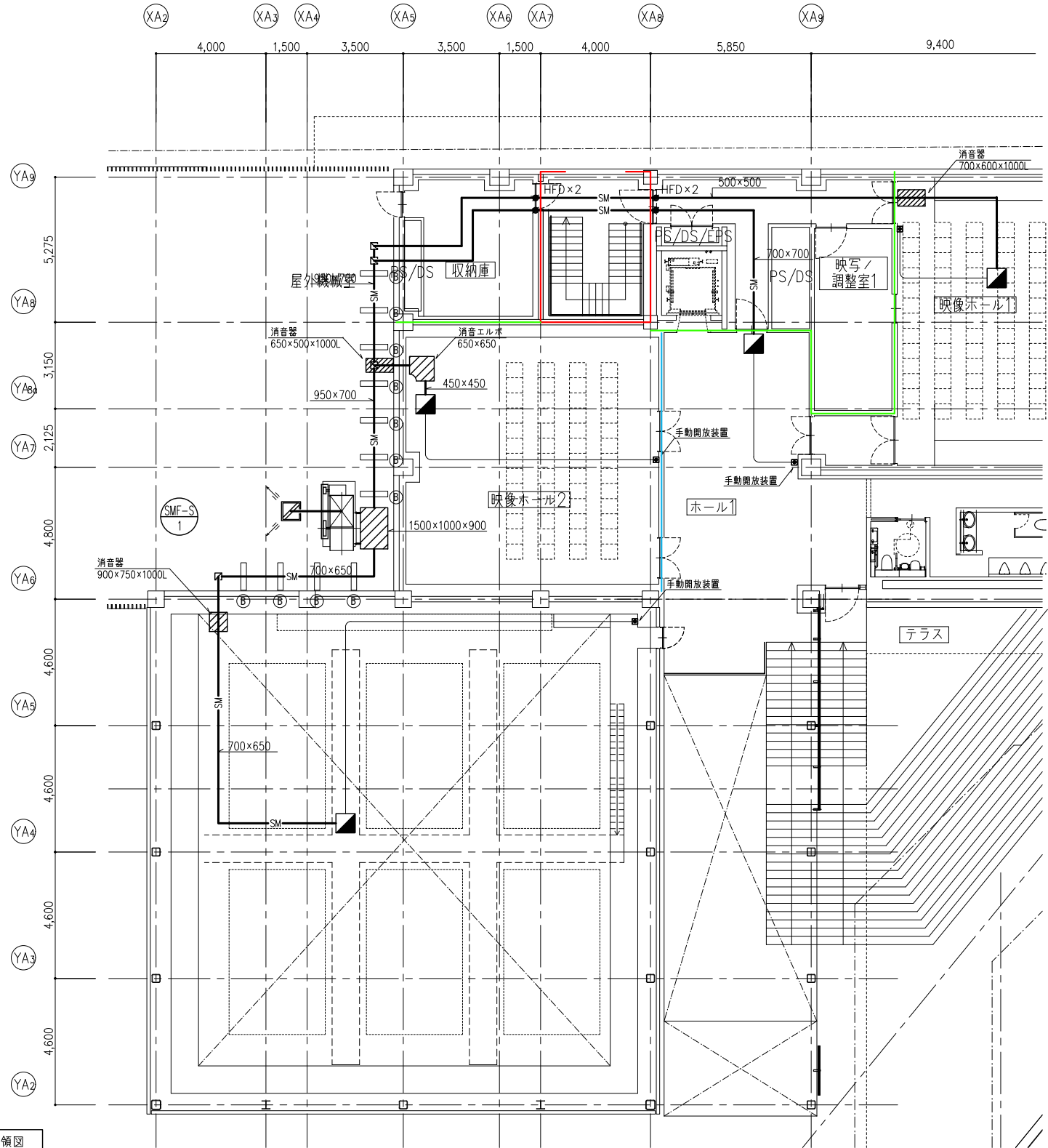
排煙系統図

排煙口リスト

番号	階	部 屋 名	区画面積 (㎡)	排煙量 (㎡³/h)	設計排煙量 (㎡³/h)	排 煙 口			ボ ッ ク ス		備 考
						サイズ	型 式	個数	サイズ	個数	
①	2	ギャラリー/イベントホール	330	21,780	21,800	1000×1000	パネル式	1	1200×1200×800H	1	開放装置は電気式
②	2	映像ホール1	153	10,098	10,100	700×700	パネル式	1	900× 900 ×700H	1	開放装置は電気式
③	2	映像ホール2	90	5,940	6,000	550×550	パネル式	1	750× 750 ×700H	1	開放装置は電気式
④	2	ホール1	355	23,430	23,500	1000×1000	パネル式	1	1200×1200×800H	1	開放装置は電気式

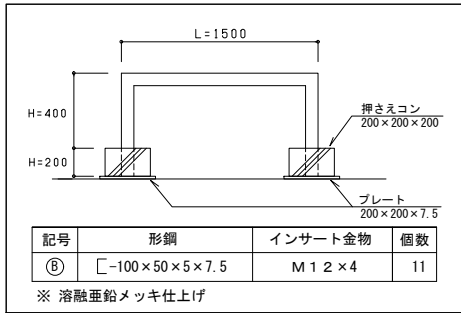
排煙機能能力確認

番号	設計排煙量 (㎡³/h)	階	部 屋 名 (最大区画面積)	区画面積 (㎡)	必要排煙量 (㎡³/h)	必要排煙量計算	備 考
SMF-S-1	47,000	2	ホール1	355	46,860	2以上の防煙区画を対象とする場合の必要排煙量は以下の通りである。 $355(㎡) \times 2(㎡³/min) \times 60(min/h) \times 1.1(安全率) = 46,860(㎡³/h)$	



2階ダクト平面図

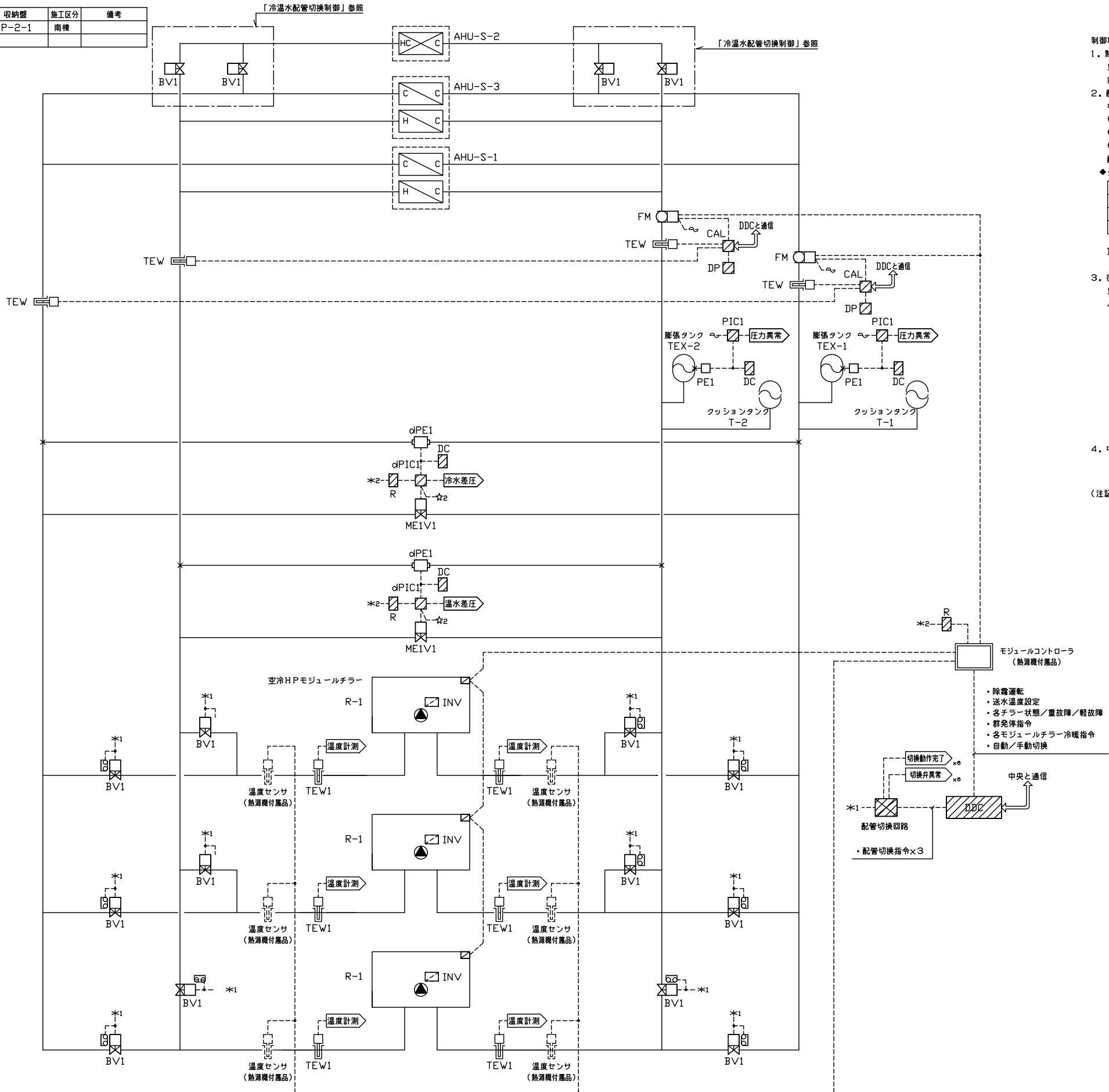
配管架台要領図



(凡例)

防火区画 兼防煙区画 (耐火仕切壁)	
排煙区画兼防煙区画 (不燃仕切り壁)	
排煙区画	
防煙区画 (不燃仕切り壁)	
防煙区画 (建部連絡防煙垂れ壁)	
防煙垂壁 (不燃垂れ壁H500以上)	
排煙室	
令126条の2 1項3号	

設備記号	階数	系統	セット数	収納盤	施工区分	備考
R-1,2,3	1	熱源廻り	1	RCP-2-1	南棟	
		合計	1			



制御項目

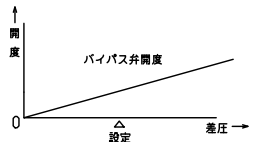
1. 熱源機流量制御 (モジュールコントロール機能)
負荷流量により、熱源機の必要台数を演算し、熱源機の発停制御および内蔵ボンプのインバータ (INV) 比制御を行う。
2. 配管切替制御
中央からの配管切替指令により、冷水・温水配管の切換を行う。
切換動作完了後は、動作完了信号を出力する。
切換動作一定時間経過後、切換先の検知信号が出力されなかった場合は、切換先の異常と判断し警報を出力する。
配管切換完了後、空冷HPモジュール循環パターンの切換を行う。

◆チラー運転表

	R-1	R-1	R-1
夏期	冷水	温水	冷水
中間期	冷水	温水	冷水／温水
冬期	冷水	温水	温水

1年毎に各モジュールチラーの運転パターンをローテーションする。

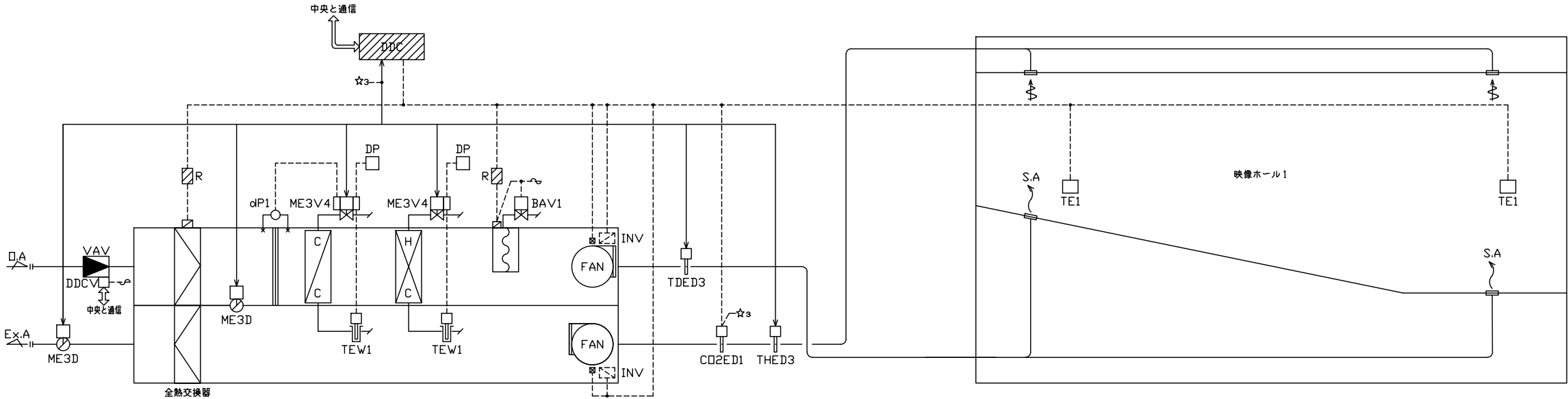
3. 往還バイパス弁制御
負荷側にかかる差圧を一定に保持する為、下図の様に
バイパス弁の比例制御を行う。
(但し熱源機停止中は、起動時における熱源機の通過水量
確保の為、バイパス弁を全開とする)



- #### 4. 中央監視システムとの通信 (発停・監視・設定・計測)

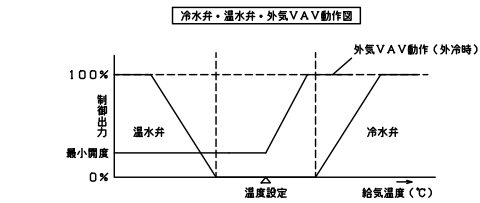
(注記) 1. モジュールチラー間の配線は本工事とする。
2. インバータ(INV) 及びその調整は、熱源機メカ工事とする。
3. モジュールコントローラおよび温度センサは、熱源機付属品とする。

設備記号	階数	系統	セット数	収納態	施工区分	備考
AHU-S-1	1	映像ホール1	1	RCP-1-1	南棟	
		合計	1			



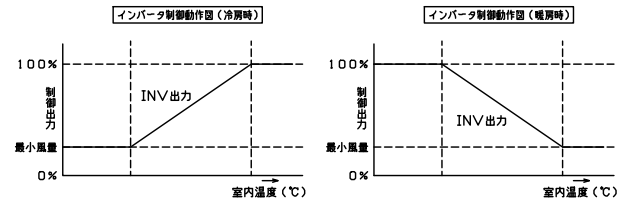
制御項目

1. 給気温度制御（室内温度による給気温度設定自動変更制御）
- 給気温度が設定値となるように、冷水コイル制御弁（冷水弁）、温水コイル制御弁（温水弁）及び、外気VAV（外冷時）の比例制御を行う。
 - 省エネ制御（過流量抑制）を目的として冷水弁及び温水弁は、DDCから指令された出力値になるように実流量での制御を行う。
 - 室内温度により給気温度設定値の自動変更制御（カスケード制御）を行う。
 - 給気温度のハンチング挙動防止を目的として、比例制御パラメータの自動調整制御を行う。
 - 自動調整制御は給気温度変化を監視し、ハンチング検知時には比例帯を適正な値に広げ、ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める制御を行う。



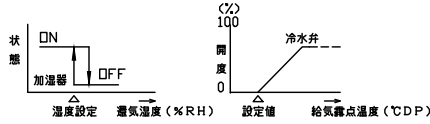
2. 給排気ファン風量制御

- 室内温度により給排気ファンの風量制御（インバータ制御）を行う。
- 中央監視より室内温度の平均値または、最も条件の悪い値を選択できるものとする。
- 本制御は給気温度設定値が下限値（冷房時）／上限値（暖房時）に達した場合開始する。



3. 湿度制御（加湿、除湿）

- （加湿）
- 湿度により加湿器のON／OFF制御を行う。
 - また、中央監視より、本制御の許可／禁止を切り替えられるものとする。
- （除湿）
- 給気露点温度により冷水弁の比例制御及び、給気温度による再熱制御を行う。
 - また、湿度により、給気露点温度設定値の自動変更（カスケード制御）を行う。
 - また、中央監視より、本制御の許可／禁止を切り替えられるものとする。



4. 配管系データ計測

- 冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁、温水弁にて下記データの計測を行う。尚、本データは本体付属表示器（空調機側面等設置）における視認も可能とする。
- 弁前後圧
 - 通過流量
 - コイル還温度
 - コイル往温度
 - 熱量演算（DDCによる演算）

5. ウォーミングアップ制御

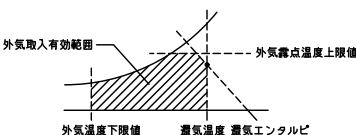
- 立ち上がり時、外気・排気ダンパを開、還気ダンパを開とし予冷／予熱を行う。又、加湿は禁止とする。

6. 空調機停止時のインターロック制御

- （対象：ダンパ／2方弁／加湿器／全熱交換器／還気ファン／VAV）

7. 外気冷房制御

- 外気冷房有効時、給気温度によりダンパの比例制御を行う。
 - 外気冷房有効／無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
- （1）外気エンタルピー < 還気エンタルピー
- （2）外気温度下限値 < 外気温度 < 還気温度
- （3）外気露点温度 < 外気露点温度上限値
- （4）外気温湿度、還気温湿度センサがすべて正常



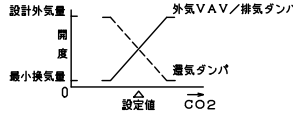
- 外気温湿度の情報は通信により取得するものとする。

8. 全熱交換器制御

- 外気取入無効時、全熱交換器の運転を行う。
- 全熱交換器のロータリー回転制御及び完結運転制御は全熱交換器機側盤の機能とする。

9. CO2制御

- 外気冷房無効時、外気VAV／排気／還気ダンパの比例制御を行う。



10. 中央監視システムとの通信

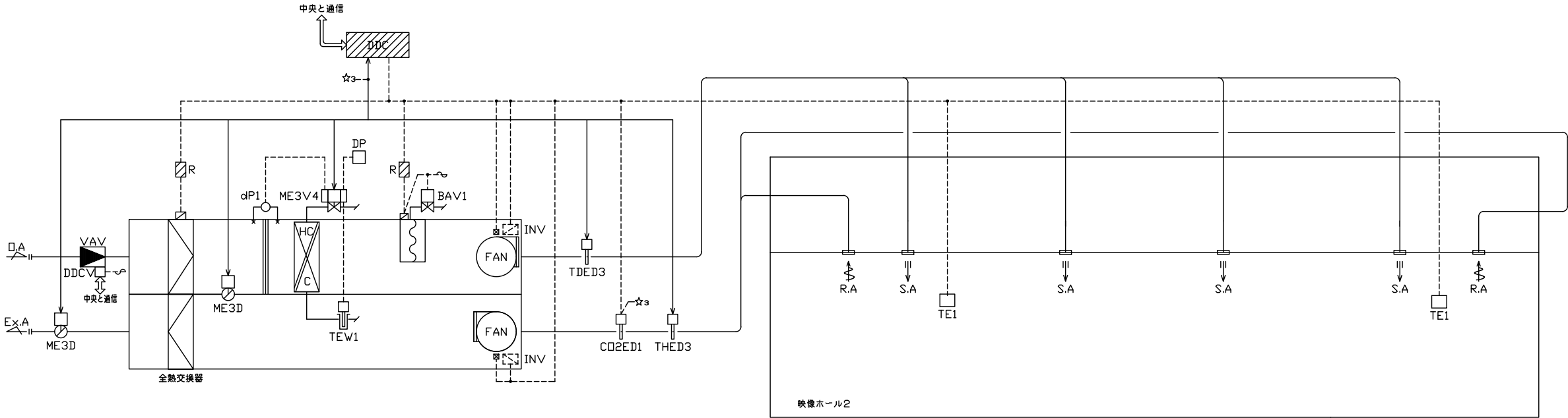
- （発停・設定・計測・監視）

- （注記）1. DDCVは自動制御メカよりVAVメカへ支給し、VAVメカ工事にて取付配線及び、風量パラメータを設定の上現場へ搬入するものとする。
2. INV本体及び、その調整は空調機メカ工事とする。
3. VAVは100V仕様とし、電源供給は電気設備工事とする。
4. 全熱交換器（ロータ）のタイマー制御盤は空調機メカ付属とする。
5. 配線表記（←→）は制御盤未用通信配線を表す。

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	
APPROVED	APPROVED	

DRAWING TITLE	DRAWING No.
自動制御設備 計装図(2)	M-202
SCALE	DATE
scale=N.S(A3)	2023/10/24

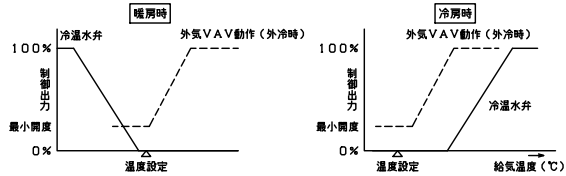
設備記号	階数	系統	セット数	収納態	施工区分	備考
AHU-S-2	2	映像ホール2	1	RCP-1-1	南棟	
		合計	1			



制御項目

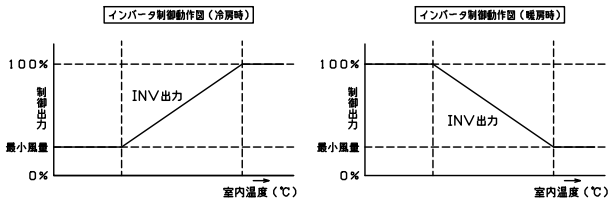
1．給気温度制御（室内温度による給気温度設定自動変更制御）

- 給気温度が設定値となるように、冷温水弁及び、外気VAV（外冷時）の比例制御を行う。
- 省エネ制御（過流量抑制）を目的として冷水弁及び温水弁は、DDCから指令された出力値になるように実流量での制御を行う。
- 室内温度により給気温度設定値の自動変更制御（カスケード制御）を行う。
- 給気温度のハンチング挙動防止を目的として、比例制御パラメータの自動調整制御を行う。
- 自動調整制御は給気温度変化を監視し、ハンチング検知時には比例帯を適正な値に広げ、ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める制御を行う。



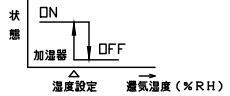
2．給排気ファン風量制御

- 室内温度により給排気ファンの風量制御（インバータ制御）を行う。
- 中央監視より室内温度の平均値または、最も条件の悪い値を選択できるものとする。
- 本制御は給気温度設定値が下限値（冷房時）／上限値（暖房時）に達した場合開始する。



3．還気温度制御（加温）

（加温）還気温度により加温器のON/OFF制御を行う。



4．配管系データ計測

- 冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁、温水弁にて下記データの計測を行う。
- 尚、本データは本体付属表示器（空調機側面等設置）における視認も可能とする。
- ・弁前後圧
- ・通過流量
- ・コイル還温度
- ・コイル往温度
- ・熱量演算（DDCによる演算）

5．ウォーミングアップ制御

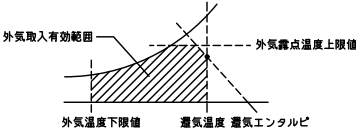
- 立ち上がり時、外気・排気ダンパを閉、還気ダンパを開とし予冷／予熱を行う。
- 又、加温は禁止とする。

6．空調機停止時のインターロック制御

（対象：ダンパ／2方弁／加温器／全熱交換器／還気ファン／VAV）

7．外気冷房制御

- 外気冷房有効時、給気温度によりダンパの比例制御を行う。
- 外気冷房有効／無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
- （1）外気エンタルピー < 還気エンタルピー
- （2）外気温度下限値 < 外気温度 < 還気温度
- （3）外気露点温度 < 外気露点温度上限値
- （4）外気温湿度、還気温湿度センサがすべて正常



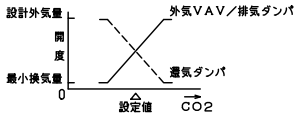
- 外気温湿度の情報は通信により取得するものとする。

8．全熱交換器制御

- 外気取入無効時、全熱交換器の運転を行う。
- 全熱交換器のローター回転制御及び完結運転制御は全熱交換器機側盤の機能とする。

9．CO2制御

- 外気冷房無効時、外気負荷の削減を目的としてCO2濃度により外気VAV／排気／還気ダンパの比例制御を行う。



10．中央監視システムとの通信

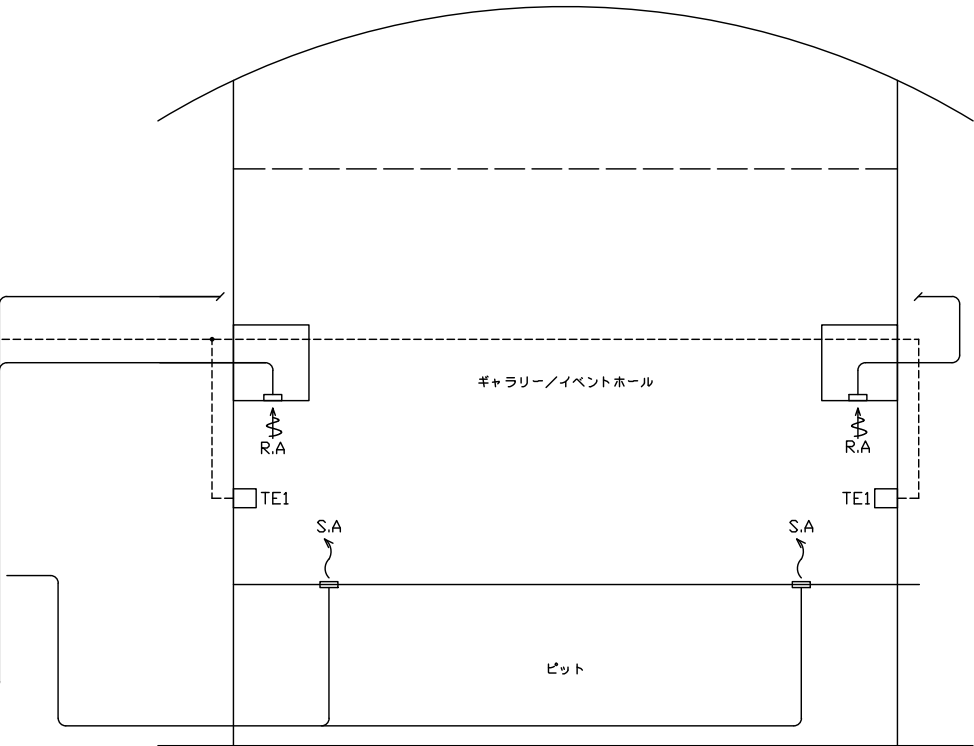
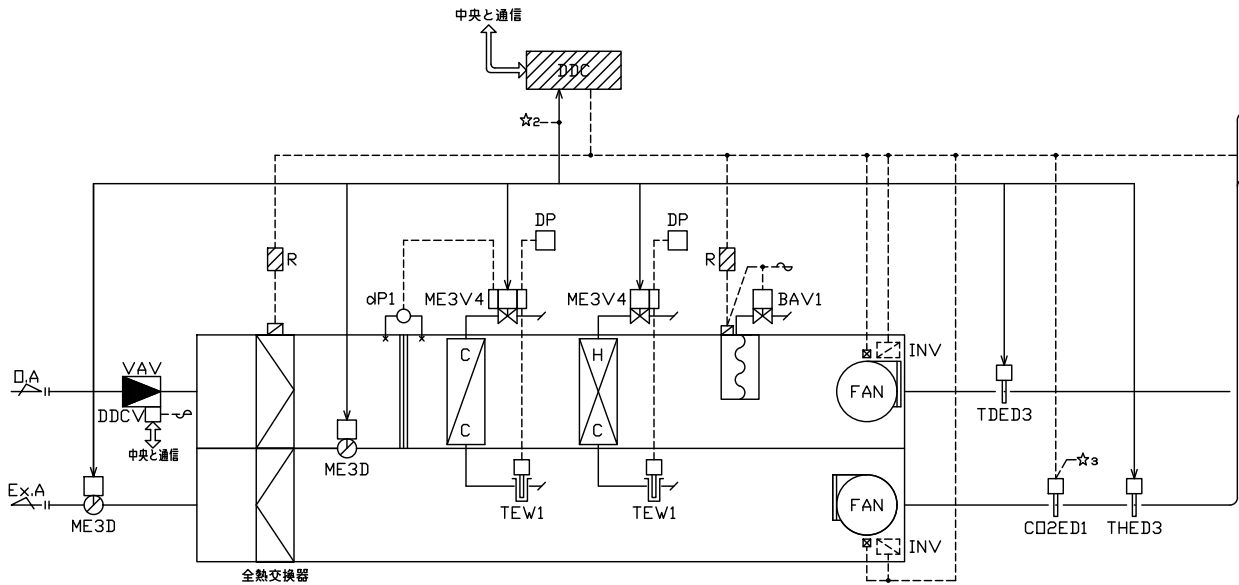
（発停・設定・計測・監視）

- （注記）1．DDCVは自動制御メカよりVAVメカへ支給し、VAVメカ工事にて取付配線及び、風量パラメータを設定の上現場へ搬入するものとする。
- 2．INV本体及び、その調整は空調機メカ工事とする。
- 3．VAVは100V仕様とし、電源供給は電気設備工事とする。
- 4．全熱交換器（ロータ）のタイマー制御盤は空調機メカ付属とする。
- 5．配線表記（←→）は制御盤未用通信配線を表す。

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	
APPROVED	APPROVED	

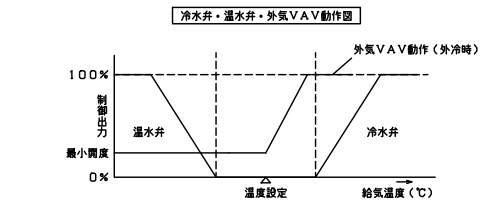
DRAWING TITLE	DRAWING No.
自動制御設備 計装図(3)	M-203
SCALE	DATE
scale=N.S(A3)	2023/10/24

設備記号	階数	系統	セット数	収納態	施工区分	備考
AHU-S-3	1	ギャラリーノイベントホール	1	RCP-1-1	南棟	
		合計	1			



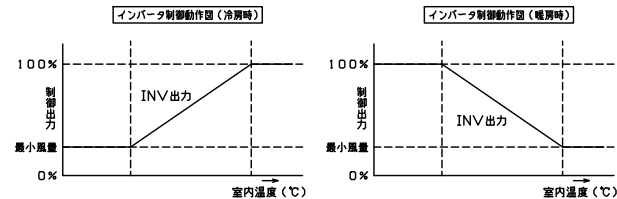
制御項目

1. 給気温度制御（室内温度による給気温度設定自動変更制御）
- 給気温度が設定値となるように、冷水コイル制御弁（冷水弁）、温水コイル制御弁（温水弁）及び、外気VAV（外冷時）の比例制御を行う。
 - 省エネ制御（過流量抑制）を目的として冷水弁及び温水弁は、DDCから指令された出力値になるように実流量での制御を行う。
 - 室内温度により給気温度設定値の自動変更制御（カスケード制御）を行う。
 - 給気温度のハンチング挙動防止を目的として、比例制御パラメータの自動調整制御を行う。
 - 自動調整制御は給気温度変化を監視し、ハンチング検知時には比例帯を適正な値に広げ、ハンチング停止後は徐々に比例帯を狭める制御を行う。



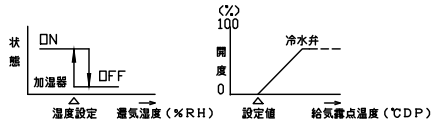
2. 給排気ファン風量制御

- 室内温度により給排気ファンの風量制御（インバータ制御）を行う。
- 中央監視より室内温度の平均値または、最も条件の悪い値を選択できるものとする。
- 本制御は給気温度設定値が下限値（冷房時）／上限値（暖房時）に達した場合開始する。



3. 湿度制御（加湿，除湿）

- （加湿）
- 湿度により加湿器のON/OFF制御を行う。
 - また、中央監視より、本制御の許可／禁止を切り替えられるものとする。
- （除湿）
- 給気露点温度により冷水弁の比例制御及び、給気温度による再熱制御を行う。
 - また、湿度により、給気露点温度設定値の自動変更（カスケード制御）を行う。
 - また、中央監視より、本制御の許可／禁止を切り替えられるものとする。



4. 配管系データ計測

- 冷水・温水状態のデータ可視化を目的として、冷水弁、温水弁にて下記データの計測を行う。尚、本データは本体付属表示器（空調機側面等設置）における視認も可能とする。
- 弁前後圧
 - 通過流量
 - コイル還温度
 - コイル往温度
 - 熱量演算（DDCによる演算）

5. ウォーミングアップ制御

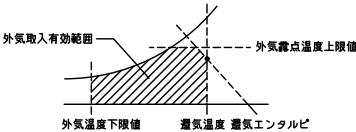
- 立ち上がり時、外気・排気ダンパを閉、還気ダンパを開とし予冷／予熱を行う。又、加湿は禁止とする。

6. 空調機停止時のインターロック制御

- （対象：ダンパ／2方弁／加湿器／全熱交換器／還気ファン／VAV）

7. 外気冷房制御

- 外気冷房有効時、給気温度によりダンパの比例制御を行う。
 - 外気冷房有効／無効の判断は、下記条件を満たした時を有効とする。
- （1）外気エンタルピー < 還気エンタルピー
- （2）外気温度下限値 < 外気温度 < 還気温度
- （3）外気露点温度 < 外気露点温度上限値
- （4）外気湿度、還気湿度センサがすべて正常



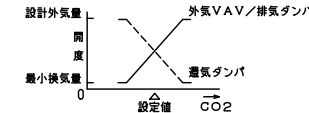
- 外気湿度の情報は通信により取得するものとする。

8. 全熱交換器制御

- 外気取入無効時、全熱交換器の運転を行う。
- 全熱交換器のローター回転制御及び完結運転制御は全熱交換器機側盤の機能とする。

9. CO2制御

- 外気冷房無効時、外気VAV／排気／還気ダンパの比例制御を行う。



10. 中央監視システムとの通信

- （発信・設定・計測・監視）

- （注記）1. DDCVは自動制御メカよりVAVメカへ支給し、VAVメカ工事にて取付配線及び、風量パラメータを設定の上現場へ搬入するものとする。
2. INV本体及び、その調整は空調機メカ工事とする。
3. VAVは100V仕様とし、電源供給は電気設備工事とする。
4. 全熱交換器（ロータ）のタイマー制御盤は空調機メカ付属とする。
5. 配線表記（←→）は制御端未用通信配線を表す。

5

パッケージ渡り配線工事

(注記) 1. 電源供給工事は電気工事とする。
2. 室内機～室外機間信号線は冷媒管共巻工事 (設備工事) とする。

6

全熱交換機スイッチ配線工事

(注記) 1. 電源供給工事は電気工事とする。

7

ファン発停制御

1set

制御項目
1. 室内温度制御
室内温度が設定温度 (40℃) 以上となった時、ファン発停制御を行う。
2. タイマー制御
ファンが稼働し30分間運転した後、停止する。

(注記) 1. 電源供給工事は電気設備工事とする。

8

冷温水配管切換制御

1set

階数	系統	セット数	収納盤	施工区分	備考
1	AHU-S-2系統	1	RCP-1-1	南棟	
	合計	1			

制御項目
1. 配管切換制御
中央からの配管切換指令により、冷水配管／温水配管の切換を行う。
また、切換動作完了後は動作完了信号を出力する。
2. 切換弁異常監視
切換弁異常時、異常信号の出力を行う。

9

消火水槽監視

1set

設備記号	階数	系統	セット数	収納盤	施工区分	備考
PFU-1,2	1	消火水槽	1	RCP-1-1	南棟	
		合計	1			

制御項目
1. 水位監視
水位異常時、警報を出力する。(上限／下限)
また、タイマーにより警報出力のハンチングを防止する。

10

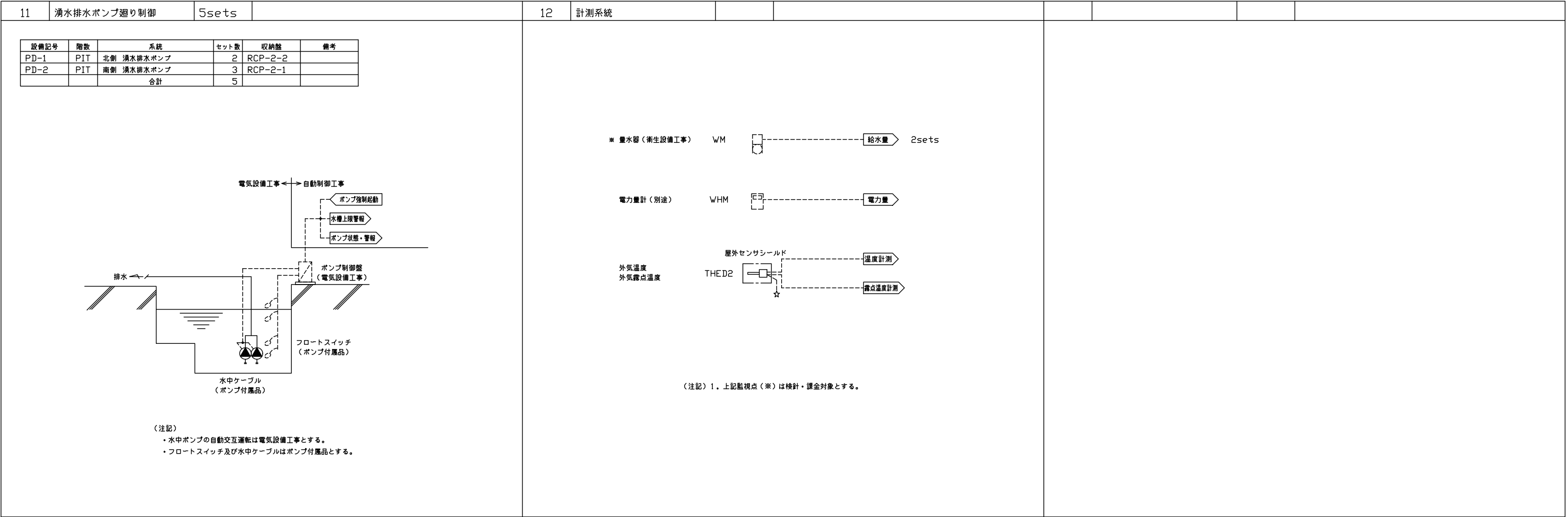
加湿用補給水槽廻り制御

1set

設備記号	階数	系統	セット数	収納盤	施工区分	備考
PTU-1	1	加湿用補給水ポンプ	1	RCP-1-1	南棟	
		合計	1			

制御項目
1. 水位制御
槽内水位により補給水弁の開閉制御を行う。
2. 水位監視
水位異常時、警報を出力する。(上限／下限)
また、タイマーにより警報出力のハンチングを防止する。
3. ポンプユニット空転防止制御
槽内水位低下時、ポンプユニットの空転防止を行う。

(注記) 1. 定水位弁は衛生設備工事とする。



自動制御機器表

機器記号	名称	仕様概要	備考
BAV1	電動2方ボール弁		二位置
BV1	電動バタフライ弁		二位置
CAL	熱量清算器	Modbus通信	温度検出部別途
CQ2ED1	CQ2濃度センサ	電圧又は電流出力	0~2000ppm, ダクト挿入型
DC	DC24V電源		
DDC	デジタル式コントローラ		
DDCV	VAVコントローラ		VAV制御用
DP	ディスプレイパネル		
DP	熱量清算器用表示器		熱量清算器用
dP1	差圧スイッチ		二位置
dPE1	差圧センサ	電圧又は電流出力	
dPIC1	指示調節器		
FM	電磁流量計	電流又はパルス出力	
LF	液面リレー/電極棒 5P		付属品含む
ME1V1	電動2方弁	電子式, 接点, 抵抗値入力	比例
ME3D	ダンパ操作器	電気式 2位置	適信接続
ME3V4	電動2方弁	電子式	適信接続
PIC1	指示調節器		
R	補助リレー		
SVW1	電磁弁		上水用
TDED3	ダクト用温度・露点温度センサ	挿入形, 抵抗値出力, 電圧又は電流出力	適信接続
TE1	室内用温度センサ	室内形, 抵抗値出力	Pt100Ω
TEW	配管用温度センサ 積算熱量計用	挿入形, 抵抗値出力	2本一組, Pt100Ω×2
TEW1	配管用温度センサ	挿入形, 抵抗値出力	Pt100Ω, R3/4
TEW2	配管用温度センサ	挿入形, 抵抗値出力	Pt100Ω, R3/4
THE.D3	ダクト用温湿度センサ	挿入形, 抵抗値出力, 電圧又は電流出力	適信接続
TIC1	指示調節器		
TM	タイマ		定格120分, 設定1~60分程度
Tr1	トランス		AC100, 200→AC24V
Tr2	絶縁トランス		AC100, 200→AC24V(絶縁トランス)

流体 W2: 水 (2方弁)
単位 流体W2: 流量 [l/m]、ΔP [kPa]

系 統 名	流 体	流 量	P i	Δ P	C v	口 径 (A)	備 考
< 熱源廻り制御 >							
往還 バイパス弁	W2	142.0		125.0	8.8	25	
冷水 流量計	W	142.0			31.7	40	
往還 バイパス弁	W2	89.5		125.0	5.5	25x20	
温水 流量計	W	89.5			25.2	40	
R-1 冷水水切換弁	W2					50	4sets
R-1 冷水水切換弁	W2					50	4sets
R-1 冷水水切換弁	W2					50	4sets
<空調機廻り制御(1)>							
AHU-S-1 C/C制御弁	W2	85.0		30.0	10.8	25	
AHU-S-1 H/C制御弁	W2	37.0		30.0	4.7	15	
AHU-S-1 水加温制御弁	W2					20	
<空調機廻り制御(2)>							
AHU-S-2 H C/C制御弁	W2	46.0		30.0	5.8	15	
AHU-S-2 水加温制御弁	W2					20	
<空調機廻り制御(3)>							
AHU-S-3 C/C制御弁	W2	153.0		30.0	19.4	40x32	
AHU-S-3 H/C制御弁	W2	121.0		30.0	15.3	25	
AHU-S-3 水加温制御弁	W2					20	
<冷温水配管切換制御>							
冷水水切換弁 温水側	W2					50	4sets
<加温用補給水配管切換制御>							
PTU-1 電磁弁	W2					20	

盤リスト

盤 名	形 状	収納系統名	備 考
RCP-1-1	自 立	空調機廻り制御 (1) 1set 空調機廻り制御 (2) 1set 空調機廻り制御 (3) 1set 冷温水配管切換制御 1set 加温用補給水配管廻り制御 1set	
RCP-1-2	自 立	中央管理点入出力一覧表 参照	
RCP-2-1	自 立	熱源廻り制御 1set	屋外盤
RCP-2-2	自 立	中央管理点入出力一覧表 参照	

凡例

---~---	AC100V or 200V
☆1	DC24V電源供給
☆2	AC24V電源供給 (一般用)
☆3	AC24V電源供給 (センサ用)
☆4	AC24V電源供給 (一般用, 電源ボックス付)
☆5	AC24V電源供給 (センサ用, 電源ボックス付)
〇〇---	インターロック
▨	現場盤内取付機器
◀	監視盤との信号受渡し

KENGOKUMA & ASSOCIATES

限研吾建築都市設計事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

一級建築士
登録第3193352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE
自動制御設備 計装図(6)

SCALE
scale=N.S(A3)

DRAWING No.
M-206

DATE
2023/10/24

システム構成図		中央監視機器仕様																	
システム概要 本中央監視装置は、南棟1F事務室に設置し省力化、省エネルギー化、安全性の確保、快適環境の実現等を目的とした熱源・空調・衛生・受変電設備等の各種機器の総合的、効率的な管理、監視、制御を行う。 システム構築にあたり、構成機器が故障した場合でも他の機器に影響が及ばないよう危険分散を考慮したシステムとする。 ・本システムは、統合コントローラ、個別機器制御コントローラ、及びタッチパネル式液晶ディスプレイにて構築する。 また、安定性、将来性、セキュリティ性を考慮し、統合コントローラのOSはLinuxとする。																			
電気設備工事 AC/GC 100V35A D種接地相当 UPS 2kVA 1次電源断警報 バッテリー低下警報 故障 防災受信器【火災信号】 キュービクル 取合盤 自家発電 【自家発電圧確認（84G・52G等） 本工事 中央監視装置 ※印へ電源供給 ※印へ電源供給 分電回路 RS 通信 SVC （AC/GC給電状態） 自家発電給電状態 停電電利断 リレー タイマ回路 エネルギー管理サービス ビルマネジメントサービス PC タブレット インターネット/イントラネット クラウド サービス PT屋/PD屋 （別途通信設備工事） 将来工事 ネットワーク機器 （クラウドサービス受託品） 将来工事 Ethernet（BACnet/IP） Ethernet（BACnet/IP） Ethernet（BACnet/IP） Ethernet（BACnet/IP） センサ 流量計 バルブ DDC 個別線 モジュールコントローラ SAnet バルブ ダンパ センサ DDC DDCV センサ VAV制御 VAV 個別線 受変電設備 火報盤 動力屋																			
参考姿図		<table><tr><td>中央監視装置</td><td>サブ表示PC</td><td>椅子</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>UPS参考姿図 2kVA 停電バックアップ 10分</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>		中央監視装置	サブ表示PC	椅子						UPS参考姿図 2kVA 停電バックアップ 10分							
中央監視装置	サブ表示PC	椅子																	
		UPS参考姿図 2kVA 停電バックアップ 10分																	
KENGO KUMA & ASSOCIATES 限研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号		<table><tr><td>一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次</td><td>DRAWN CHECKED APPROVED</td><td>COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED</td><td>REVISION</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 東海市創造の杜交流館建設工事 <table><tr><td>DRAWING TITLE 自動制御設備 中央監視システム図(1)</td><td>DRAWING No. M-207</td></tr><tr><td>SCALE scale=N.S(A3)</td><td>DATE 2023/10/24</td></tr></table>		一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION									DRAWING TITLE 自動制御設備 中央監視システム図(1)	DRAWING No. M-207	SCALE scale=N.S(A3)	DATE 2023/10/24
一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次	DRAWN CHECKED APPROVED	COMPLETION DRAWING DRAWN CHECKED APPROVED	REVISION																
DRAWING TITLE 自動制御設備 中央監視システム図(1)	DRAWING No. M-207																		
SCALE scale=N.S(A3)	DATE 2023/10/24																		

中央監視システム機能表									
1. システム基本機能 （1）操作方法 タッチパネルにより操作を行う。 （2）機器個別発停操作・設定値変更 グラフィック画面、チャート画面、ログ画面またはポイント一覧画面より管理点を選択して機器の発停操作・設定値の変更を行う。 （3）状態監視 管理点の状態・計測値・計量値の監視を行う。 （4）警報処理 管理点・システム構成機器の警報発生・復帰の監視を行う。 また、火災時処理・停復電時処理・電力デマンドといった制御の警報発生・復帰の監視を行う。 警報発生時は、最新の警報内容を警報通知ウィンドウに表示すると共に、インジケータの点灯表示を行う。 また、警報レベル（10段階）に応じてブザー鳴動（音色4種類）を行う。 もしくは、警報音の代わりにポイント毎に設定した音声メッセージ（85種類）を鳴動することができる。 さらに警報時には、警報となった管理点に登録されている対象グラフィックまたはチャートを強制的に表示することができる。 （5）サービス外機能 BACnetデバイスのポイント状態を実際のポイントの状態ではなくユーザーが指定する値に変更することができる。 これにより一時的に警報を抑制したり、任意に設定した値を入力値とし制御を継続することができる。 （6）強制操作機能 BACnetデバイスのポイント出力について、一般制御からの指令を保留しユーザーが指定する値に変更することができる。 ただし、非常時（火災や停電の際）は火災時制御、停電時制御からの指令を優先とする。 （7）変化蓄積 定周期スキャンまたは状態変化により前回値から変化した際の時刻とデータを蓄積し、関連アプリケーションへ蓄積データを提供する。 ・ユーティリティベイン履歴表示 ・データ集計 ・チャート表示など 2. 基本画面機能 （1）アプリケーションウィンドウ表示 アプリケーションウィンドウとして最大3ウィンドウを同時に表示することができる。 さらに警報時に強制表示するためのウィンドウを1枚表示することができる。 （2）画面スクロール機能 画面上にすべての情報を表示しきれない場合は、スクロール機能により画面を移動させ表示することができる。 （3）画面履歴表示 ユーザ毎に、現在の監視用PCで閲覧した画面履歴を保持し、該当画面を呼び出すことができる。 （4）ユーザ管理とアクセス権 管理点や各種機能を運用区分(設備・系統・場所等)に振り分けを行う。 ユーザIDとパスワードを登録し、運用区分に対して操作のアクセス権（表示不可／表示のみ／一般レベル／管理レベル／エンジニアリングレベル）を設定できる。 ユーザ離職時のユーザ無効化忘れを防止するために、ユーザごとに有効期限を設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワードは無期限もしくは有効期間を設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワードに必要な最小入力文字数を設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワードに記号・数字・英大文字・英小文字を1文字以上必要とするかを各々設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワードは過去と異なるパスワードにしなければならないかを設定することができる。 全ユーザ共通で、パスワード認証によるログインに設定回数連続で失敗した場合に、ユーザを無効化することができる。 ユーザごとに、ログイン可能とする曜日や時間帯を制限するために、カレンダーやスケジュールによって管理点の状態がACTIVE状態である場合のみログインを維持することができる。 （5）ポイント一覧表示・詳細表示 ポイント一覧画面で管理点を一覧表示できる。 表示された情報は名称、運転状態、警報状態 等によりフィルタリングができる。 また、任意のポイントをあらかじめグループ化して表示することもできる。 ポイント詳細画面で発停操作や設定変更ができる。 重要機器の発停操作時は、通常の発停操作（操作－実行）の他に、確認動作を入れた3アクション操作（操作－確認－実行）を可能とする。 確認時に、任意のメッセージ表示によりオペレータに注意を促すことができる。 （6）デバイス状態監視 システム構成機器の状態・通信状態を常時監視し、異常時には警報を発する。 3. 監視機能（ポイント監視系） （1）アナログ上下限監視 計測値が設定された上下限値を超えた時に警報を発生させ、上下限範囲に入った際に警報を復帰する。 または、計測値と設定値の差が、設定された値を超えた時に警報を発生させる。 ポイント一覧によって、複数の設定値を一括で変更できる。 上下限ともに3段階まで設定できる。 （2）活性経過時間 機器の活性経過時間を監視し、あらかじめ設定された値を超えた機器を一覧形式で表示する。 （3）状態変化回数 機器の状態変化回数を監視し、あらかじめ設定された値を超えた機器を一覧形式で表示する。 （4）状態継続時間監視 機器が連続して活性状態となっている時間をカウントし、あらかじめ設定された上限値を超えた時に警報を発生させる。 4. 監視機能（一覧表示系） （1）グラフィック画面表示 建物内の管理点情報を平面図・断面図、または系統図などのグラフィック画面で表示する。 画面上の管理点のシンボルを選択することで、操作/設定値の変更操作を可能とする。 複数の管理点を選択し、一括で操作/設定値の変更を可能とする。 グラフィックに配置されている管理点の一覧を表形式で表示することもできる。 機器の状態は、状態変化や警報発生時に、シンボルの色変化・形状切換により表示する。 また、警報発生時、指定されたグラフィック画面を強制的に表示する。 計測値・計量値は、数値、色変化、メータ等で表示する。 （2）グラフィック編集 グラフィック画面の編集を可能とする。 ・部屋の間仕切り、部屋名などの変更 ・画面背景色の変更 ・各種シンボルの変更・追加 ・グラフィック画面の新規作成 （3）アナンシエータ表示 各設備の状態を画面上にアナンシエータ（集合表示灯）形式で表示する。表示は個別情報が見やすい拡大モードと一覧性に優れた縮小モードの選択が可能とする。ポイントの状態が一目で判断できるよう、ボタンの表示色も変化する。また、アナンシエータ表示灯を選択すると、ポイントの状態がユーティリティベインに表示され、ポイントの発停・設定値変更の操作や状態を確認できる。 また、ユーザーは自由にグループを作成可能とする。 5. データ管理機能 （1）データ集計 変化蓄積データから、計測値、積算値、機器の活性経過時間や状態変化回数などの時データ・日データ・月データを集計し、一定期間蓄積する。 データ蓄積期間は次の通りとする。 ・時データ：本日を含む428日分（14ヶ月分） ・日データ：本月を含む120ヶ月分（10年分） ・月データ：本年を含む10年分 （2）チャート 変化蓄積またはデータ集計にて蓄積されたデータをグラフで表示する。 各グラフは2期間分を比較表示することができる。 【時系列グラフ】 ・折れ線グラフ、積み上げ折れ線グラフ：アナログポイント・デジタルポイント（現在値）の変化蓄積データ、時データ、日データ、月データ ・バークラフ、積み上げバークラフ：積算ポイント・デジタルポイント（活性経過時間・状態変化回数）の変化蓄積データ、時データ、日データ、月データ ・力率グラフ：力率ポイント 【非時系列グラフ】 ・円グラフ：時データ、日データ、月データ ・散布図：時データ、日データ CSV形式のファイルを手動または指定時刻に自動で出力できる。 （3）日週月年報 データ集計によって集計・蓄積された計測値や積算値を、日週月年報告のXLSX形式で表示する。 ・日報：時報データ、日集計データ ・週報：日報データ、週集計データ ・月報：日報データ、月集計データ ・年報：月報データ、年集計データ ODS/CSV/XLSX/PDF形式のファイルを手動または自動で出力できる。 （4）日週月年報フォーマット編集 システムが稼動中であっても、日週月年報の表示フォーマットの編集が行える。 （5）集中検針 管理点の電気・ガス・水道メータなどの検針値を毎月または隔月の指定日に検針し、1ヶ月分の使用量を算出する。それをもとにメータ種別ごと、エリアごとの条件で検針結果を一覧表示できる。 また一覧表示した結果をCSV形式ファイルとして出力する。使用量との前回値との比較による異常検出ができる。 手動検針（入居時/退去時）は、指定日の指定時刻の指定ができる。 （6）ログ 警報や状態変化、操作設定などの情報をログとして蓄積・管理する。 表示中のデータは、任意の条件指定によりフィルタリング、コメント入力ができる。 ODS/CSV/XLSX/PDF形式のファイルを手動または指定時刻に自動で出力できる。 6. 制御機能 （1）カレンダー カレンダーの設定を行う。 11種類の日付種別（祝日・特別日・夏季休暇日・冬季休暇日など）を2年先まで指定できる。 また、ユーザーによるカレンダー設定の変更を可能とする。 （2）スケジュール あらかじめ設定されたスケジュールに従って機器の起動/停止や設定値変更、季節切替を自動で行うことができる。 週間スケジュールは、曜日ごとのスケジュールに対応する。 優先スケジュールは、最大11種類の日付種別（祝日・特別日・夏季休暇日・冬季休暇日など）に対応するカレンダー情報と週間・優先マスタスケジュールにより、当日を含む7日間の実行スケジュールを作成する。実行スケジュール上で起動・停止時刻の変更ができる。 また、ユーザーによるスケジュール設定の変更を可能とする。 複数のスケジュールをグループ化し、一覧表示したり、一括設定変更ができる。 （3）数値演算 システムで監視されている様々な値を利用して数値演算を行い、演算結果を管理点に出力できる。 また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。 （4）条件演算 管理点の状態変化・警報発生など、特定条件を満たす場合に機器運動や運転組み合わせ、順次投入、設定値変更などを自動で行う。 また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。 （5）火災時制御 火災信号入力時、ブザー鳴動、火災インジケータ点灯表示、ログにより火災発生の通知を行う。 また、火災信号入力時、空調機等の関連機器を自動的に停止することを可能とする。 火災時の動作は、他の制御より優先して実行する。 火災復帰時は、手動操作で火災時制御を解除する。 （6）停電 商用電源断検出時、ブザー鳴動、停電インジケータを点灯表示する。 一般制御は実行保留とする。但し、火災時制御は実行できる。 （7）自家発時順序出力 自家発起動検出時、登録されている機器に対して順序出力を行う。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。 （8）復電 商用電源復帰検出時、復電処理を行う。 発停点は停電前の状態及び、停電中に保留された一般制御出力にあわせて起動/停止を行う。 （9）復電時順序復帰 登録されている管理点に対して、予め指定した順序および間隔で復電処理を行う。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。 （10）電力デマンド 受電電力量を積算し、30分毎のデマンド予測を行う。 目標電力の超過が予測された時及び、超過した時は、警報を発する。 取引用デマンドメータとの同期は、外部信号または操作画面により行う。 デマンド予測が目標電力を超過しないよう負荷の遮断・投入を行う。 またインバータへのアナログ出力値の指定ができる。 遮断・投入は、あらかじめ指定されている優先順位（15レベル）に従う。 電力デマンド制御の結果を履歴として蓄積し目標値及び、デマンド値を表示する。 履歴データはCSV形式でのファイルを手動または自動で出力を可能とする。 また、ユーザーによる制御設定の変更を可能とする。 （11）加温禁止出力 空調機を衛生的に保つために、空調機を停止する前にあらかじめ加温を停止し乾燥させる。 空調機が停止する時刻は、スケジュールプログラムによる停止時刻、および、空調最適起動停止制御による停止時刻を判断の対象とできる。また、ユーザーによる設定の変更を可能とする。									

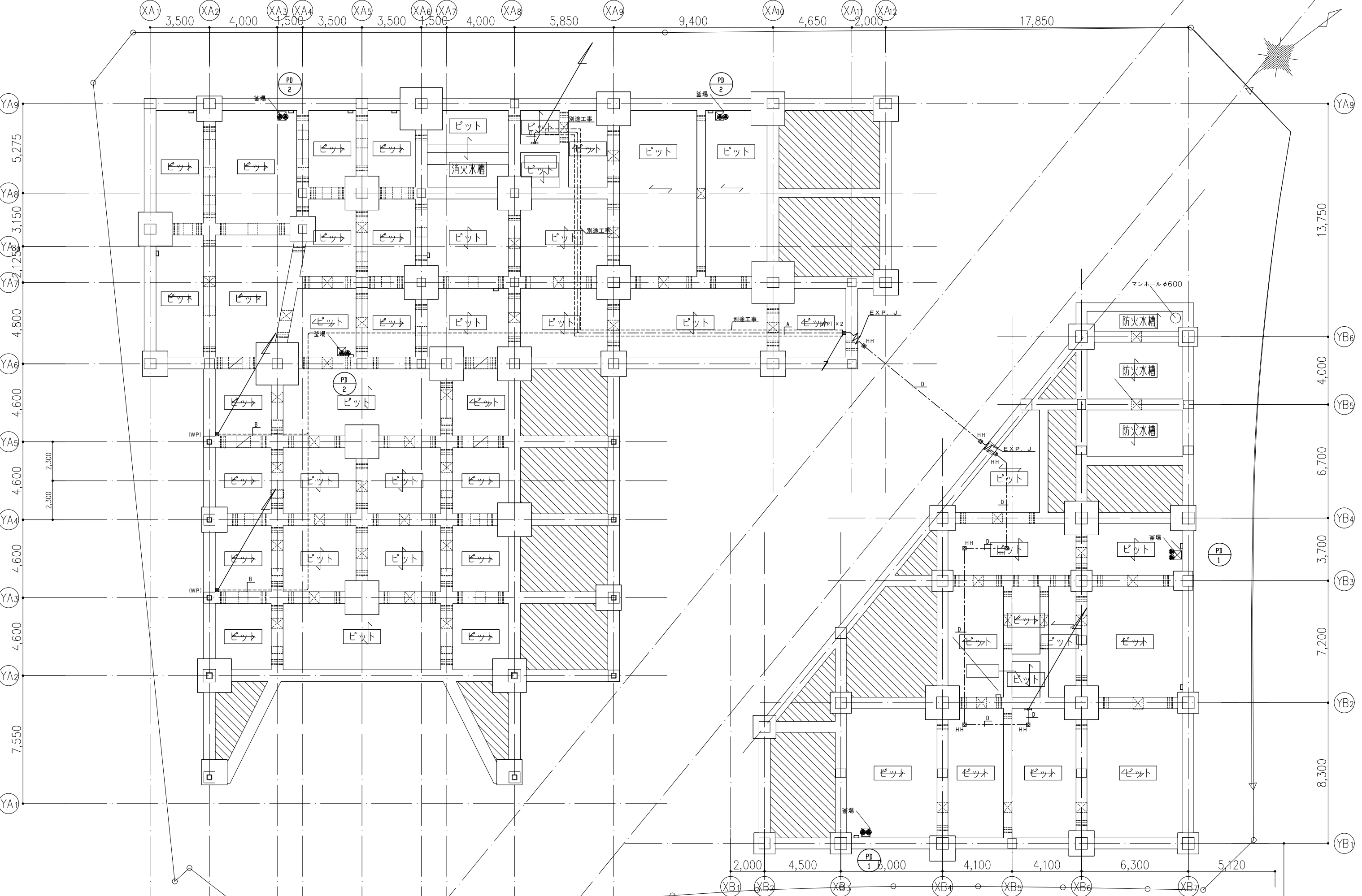
KENGO KUMA & ASSOCIATES 限研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号	一級建築士 登録第3193332号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE	自動制御設備 中央監視システム図(2)	DRAWING No.	M-208
		CHECKED	CHECKED			SCALE	scale=N,S(A3)	DATE	2023/10/24
		APPROVED	APPROVED						

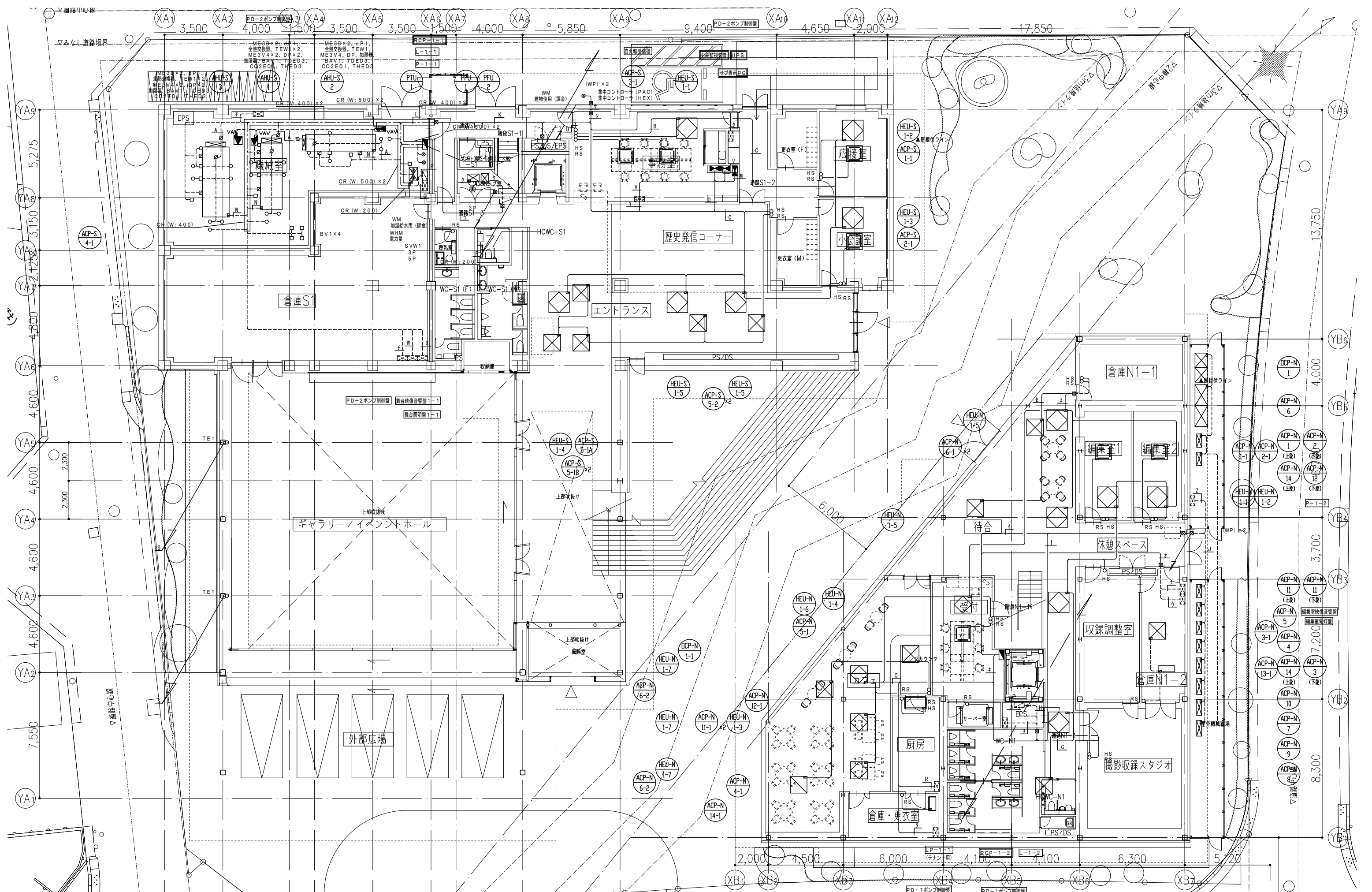
KENGO KUMA & ASSOCIATES 限研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号	一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 自動制御設備 中央監視システム図(2)	DRAWING No. M-208
		CHECKED	CHECKED			SCALE scale=N.S(A3)	DATE 2023/10/24
		APPROVED	APPROVED				

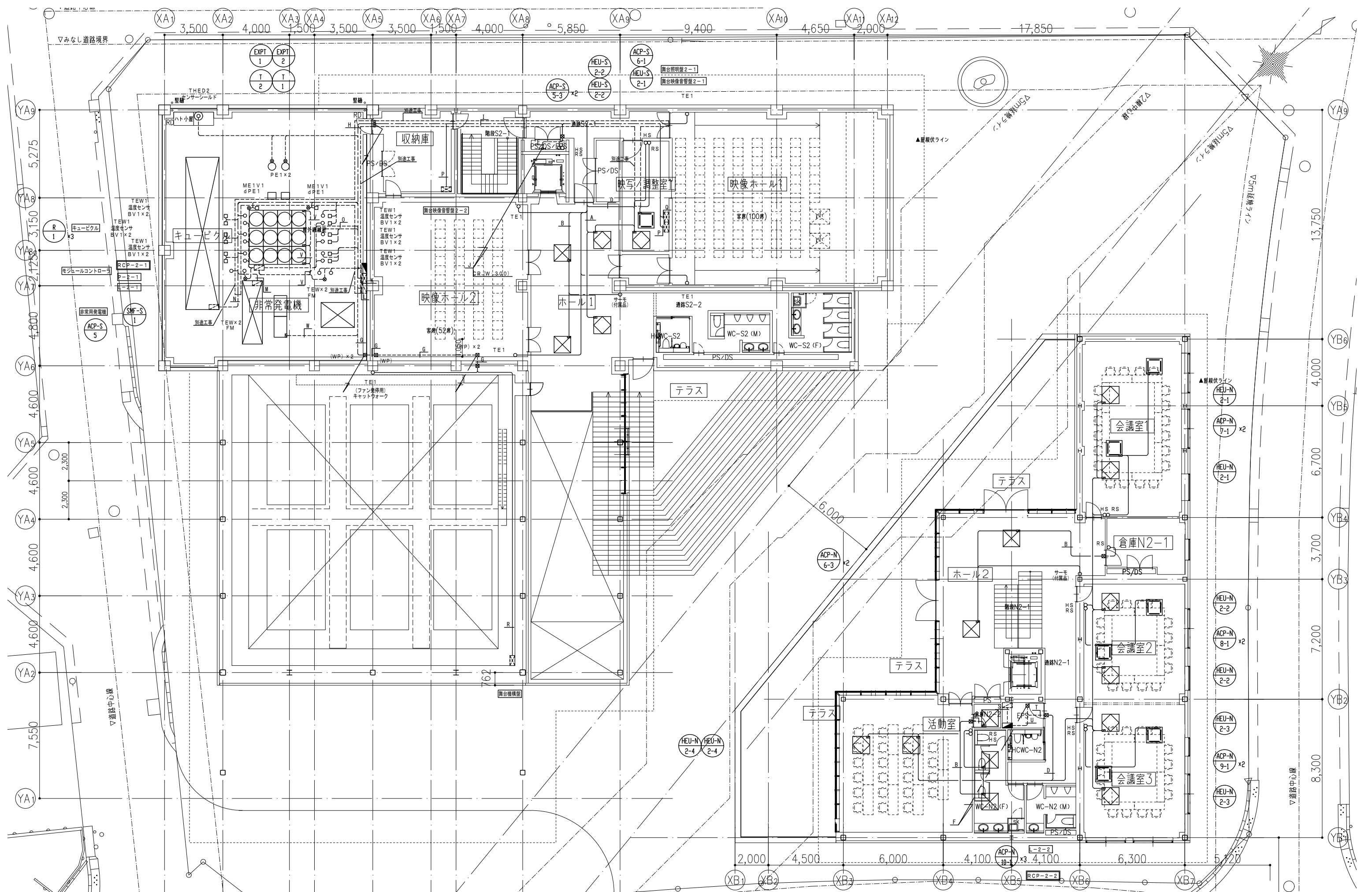
KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号	一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE	DRAWING No.
		CHECKED	CHECKED			自動制御設備 中央監視システム図(3)	M-209
		APPROVED	APPROVED			SCALE	DATE
						scale=N.S(A3)	2023/10/24

設備記号	名 称	自動制御盤	信号取合先	リモート 種別	操 作			表 示			計 測			計量	備 考
					設定	切換	発停	状態	COS	トリップ	警報	温度	湿度		
VAV	室内温度 平均値・最悪値切替	RCP-1-1	---	DDC	1										
	VAV 発停・状態	RCP-1-1	---	DDCV			1	1	1	1					
	風量 計測	RCP-1-1	---	DDCV								1			
	風量 計測(要求)	RCP-1-1	---	DDCV								1			
	風量 設定(最大・最小)	RCP-1-1	---	DDCV	2										
	＜空調機過り制御(3)＞														
AHU-S-3	空調機(1F ギャラリー/イベントホール) 発停・状態・警報	RCP-1-1	機側盤	DDC			1	1	1	1					
	還気ファン 状態・警報	RCP-1-1	機側盤	DDC				1		1					
	インバータ 出力・警報	RCP-1-1	機側盤	DDC							2		2		
	フィルター目詰まり 警報	RCP-1-1	---	DDC						1					
	給気温度 設定・計測	RCP-1-1	---	DDC	1						1				
	給気露点温度 設定・計測	RCP-1-1	---	DDC	1								1		
	加湿許可/禁止	RCP-1-1	---	DDC			1								
	還気温度 設定・計測	RCP-1-1	---	DDC	1						1				
	還気湿度 設定・計測	RCP-1-1	---	DDC	1							1			
	還気CO2濃度 設定・計測	RCP-1-1	---	DDC	1								1		
	弁前後圧(冷水/温水)	RCP-1-1	---	DDC									2		
	通過流量(冷水/温水)	RCP-1-1	---	DDC										2	
	コイル往還温度(冷水/温水)	RCP-1-1	---	DDC							4				
	熱量演算(冷水/温水)	RCP-1-1	---	DDC									2		
	ウォーミングアップ中	RCP-1-1	---	DDC				1							
	外気冷房許可/禁止	RCP-1-1	---	DDC			1								
	外気冷房中	RCP-1-1	---	DDC				1							
	室内温度 設定・計測	RCP-1-1	---	DDC	2						2				
	室内温度 平均値	RCP-1-1	---	DDC							1				
VAV	室内温度 平均値・最悪値切替	RCP-1-1	---	DDC	1										
	VAV 発停・状態	RCP-1-1	---	DBCV			1	1	1	1					
	風量 計測	RCP-1-1	---	DDCV									1		
	風量 計測(要求)	RCP-1-1	---	DDCV									1		
	風量 設定(最大・最小)	RCP-1-1	---	DBCV	2										
	＜ファン発停制御＞														
	室内温度 異常	RCP-2-1	---	RS						1					
	＜ファン＞														
KEF-N-1-1	排気ファン(1F 厨房) 発停・状態・警報	RCP-1-2	P-1-2	RS			1	1	1	1					
SF-S-2-1	給気ファン(2F キャットウォーク) 発停・状態・警報	RCP-2-1	P-2-1	RS			1	1	1	1					
EF-S-2-5	排気ファン(2F キャットウォーク) 状態・警報	RCP-2-1	P-2-1	RS					1	1					
SMF-S-1	排煙機(2F 南棟) 状態・警報	RCP-2-1	P-2-1	RS				1		1					
	＜冷温水配管切換制御＞														
	配管切換指令	RCP-1-1	---	RS			1								
	切換動作完了	RCP-1-1	---	RS				1							
	切換弁異常	RCP-1-1	---	RS						1					
	■衛生設備														
	＜消火水槽過り制御＞														
	消火水槽 上下限警報	RCP-1-1	---	RS							2				
PFU-1	消火ポンプユニット 一括警報	RCP-1-1	機側盤	RS							1				
PFU-2	補助圧ユニット 一括警報	RCP-1-1	機側盤	RS							1				
	＜加湿用補給水過り制御＞														
PTU-1	加湿用補給水ポンプ(水槽一体型) 上下限警報	システム制御盤	---	RS							2				
	＜排水排水槽過り制御＞														
PD-1	北側 排水排水槽 上限警報	RCP-1-2	ポンプ制御盤	RS							2				
	北側 排水排水槽 ポンプ強制起動	RCP-1-2	ポンプ制御盤	RS			2								
	北側 排水排水槽 ポンプ状態・警報	RCP-1-2	ポンプ制御盤	RS				2		2					
PD-2	南側 排水排水槽 上限警報	RCP-1-1	ポンプ制御盤	RS							3				
	南側 排水排水槽 ポンプ強制起動	RCP-1-1	ポンプ制御盤	RS			3								
	南側 排水排水槽 ポンプ状態・警報	RCP-1-1	ポンプ制御盤	RS				3		3					
	＜計測系統＞														
	給水量	RCP-1-1	---	RS									2		課金対象
	電力量	RCP-1-1	---	RS									1		
	外気温度計測	RCP-2-1	---	RS							1				
	外気湿度計測	RCP-2-1	---	RS								1			
	ガス使用量	RCP-1-1	---	RS									1		

[illegible]







KENGO KUMA & ASSOCIATES

限研吾建築都市設計事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

一級建築士
登録第3193352号
宮原賢次

DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION
CHECKED	CHECKED	
APPROVED	APPROVED	

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE
自動制御設備 2階 平面図
SCALE
scale=1:200(A3)

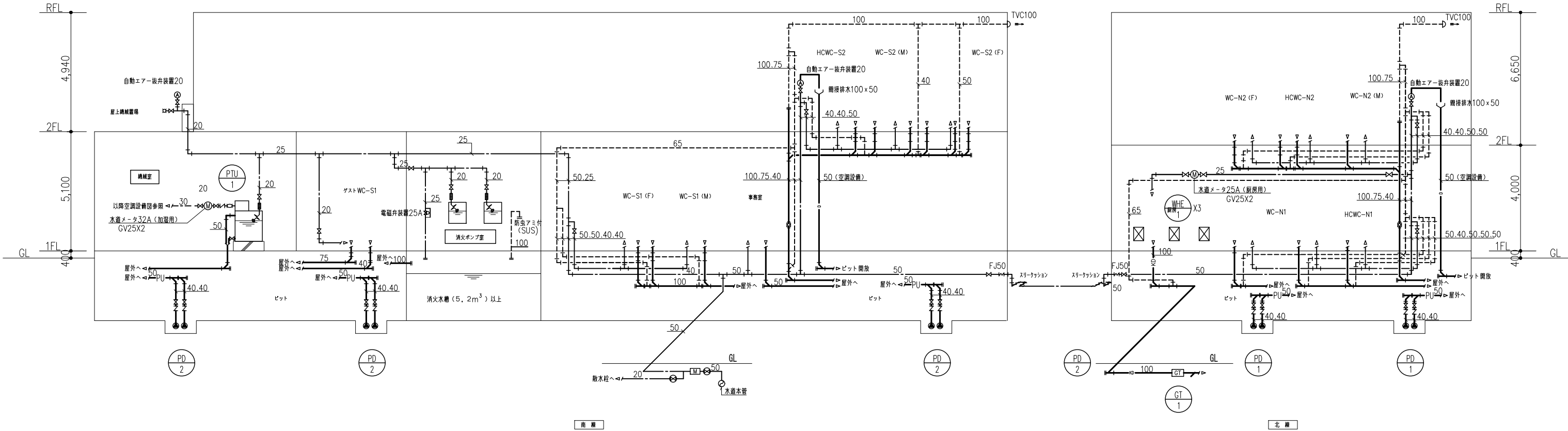
DRAWING No.
M- 214
DATE
2023/10/24

■衛生機器表

機 器 番 号	名 称	仕 様	数 量	防 振	電源動力(60Hz)					中央監視			設 置 場 所	備 考	
					相 [φ]	電圧 [V]	動力 [w]	始動 方式	非常 電源	中央	個別	連動 インターロック			
〔北線〕															
WHE-K-1	貯湯式電気温水器	型式：床置型、貯湯式（飲料用） 容量：50L 付属品：標準付属品一式	3	—	1	200	3.1	L-S	—	—	○	—	北線 1F 厨房	転倒防止処置（告示第5の2号）満水時55kg 保温仕様1	
GT-1	グリストラップ	型式：SUS型屋外埋設パイプ導入型 許容流入流量：71.7L/min以上 阻集グリース：6.9kg以上 堆積残渣の質量：9.8kg以上 蓋仕様：SUS型×3枚	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	北線 屋外埋設		
PD-1	湧水ポンプ	型式：雑用水用水中ポンプ 容量：40φ×60L/min×5m 運転方法：自動交互非常時同時運転 附属品：制御盤、フロートスイッチ×4（2台）、水中ケーブル20m、標準附属品一式	2セット （2台）	—	3	200	0.4×2	L-S	○	○	—	—	北線 ビット	2台を1セットとする 嵐場は建築工事	
〔南線〕															
PTU-1	加温用着給水ポンプ	型式：受水槽一体型加圧給水ポンプ 容量：32φ×50L/min×5m 運転方法：吐出圧一定給水方式 タンク容量：200L 耐震深度：1.5G 付属品：制御盤、ボールタップ、オーバーフロー管（防虫網付）、フレキシブルジョイント×2、架台	1	A	3	200	0.75	INV	—	○	—	—	南線 1F 機械室	コンクリート基礎は建築工事	
PFU-1	消火ポンプ	型式：屋内消火栓ポンプユニット 容量：50φ×300L/min×70m 付属品：予備水槽（50L）、圧力タンク、制御盤、標準附属品一式	1	—	3	200	7.5	L-S	○	○	—	—	北線 1F 消火ポンプ室	コンクリート基礎は建築工事	
PFU-2	消火ポンプ	型式：補助加圧ポンプ 容量：15φ×20L/min×20m 附属品：制御盤、標準附属品一式	1	—	3	200	1.5	L-S	○	○	—	—	北線 1F 消火ポンプ室	コンクリート基礎は建築工事	
HB-1	屋内消火栓	型式：易操作性一号消火栓 仕様：指定色塗装、化粧扉（建築図参照）	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	南線 1F 消火ポンプ室 南線 1F 階段下 南線 2F PS		
PD-2	湧水ポンプ	型式：雑用水用水中ポンプ 容量：40φ×60L/min×5m 運転方法：自動交互非常時同時運転 附属品：制御盤、フロートスイッチ×4（2台）、水中ケーブル20m、標準附属品一式	3セット （2台）	—	3	200	0.4×2	L-S	○	○	—	—	南線 ビット	2台を1セットとする 嵐場は建築工事	
□特記事項															
・機器の仕様は「公共建築工事標準仕様書」に準拠すること			防振ランクは下記を参照（fn：防振材の固有振動数）												
・ポンプの電動機はIEC（国際電気標準会議）における規格IE3に準拠した効率以上とすること			〔床置の場合〕												
・電気容量、ガス消費量は参考値とする			RP：ゴムパッド SP：スプリングパッド A：標準スプリング B：高性能スプリング C：高性能スプリング												
・電気温水器の加熱能力は、JISC9228の定熱条件及び試験方法による			fn≒20.0Hz fn≒12.0Hz fn≒4.0Hz fn≒3.0Hz fn≒2.3Hz												
・保温仕様1（給湯配管の保温厚）は、管径40mm未満は30mm以上とし、管径40mm以上125mm未満は40mm以上とする															
・その他、標準付属品一式を付属とする															
			〔天吊の場合〕												
			RP・SP：HR（ゴムハンガー） A：HS（スプリングハンガー） B：高性能スプリング 高性能スプリング												
			fn≒10.0Hz～ fn≒4.0Hz～9.0Hz fn≒2.8Hz～3.9Hz fn≒2.2Hz～2.7Hz												

■衛生器具表

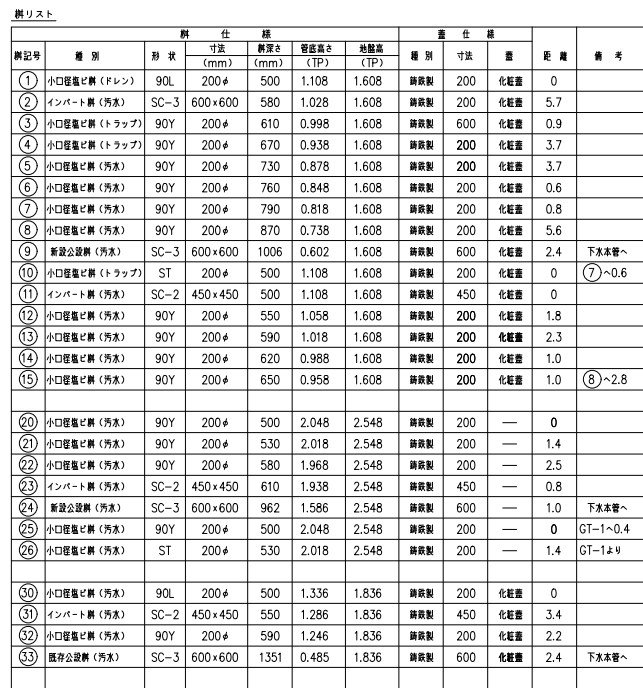
器具名	付属品	参考型番TOTO		参考型番LIXIL		北棟			南棟										屋外	合計	備考			
		器具	付属品	器具	付属品	1F		2F		1F						2F								
						WC N 1	HC WC N 1	厨房	WC N 2 (F)	WC N 2 (M)	HC WC N 2	WC S 1 (F)	WC S 1 (M)	HC WC S 1	授乳室	ゲスト WC S 1	事務室	機械室				WC S 2 (F)	WC S 2 (M)	HC WC S 2
洋式大便器（床排水）	温水洗浄便座	CFS498BYC	TCF5534	BC-P110HM	CW-PA21L-NE	5			3	1		4	2						4	1			20	
	紙巻器		YH702		CF-63HST																			
洋式大便器（床上排水）	温水洗浄便座	CES9820PK	YH702	YBC-K13P	DV-KB126P										1								1	
	紙巻器				CF-63HST																			
小便器（床排水）	止水栓	UFS910JCS		U-A31AP		3				2			3							3			11	
	排水金具																							
シングルフック		YKH52AR		KF-28		8			3	1		4	2		1				4	1			24	
洗面器 カウンター埋込型	自動水栓（単水栓）	L525RCU	TLE27SS2A	L-2594ANC	AM-320CV1	4			2	1		1	2						2	2			14	
	止水栓		T6B1		A-2202																			
	排水金具		TLG0120J		LF-105PAL、A-6224																			
ドレッサー	自動水栓（単水栓）	本体は建築工事	TLE26SS1A	本体は建築工事	AM-320CV1	8									1								9	水栓器具類は機械工事
	止水栓		T6BR		A-2202																			
	排水金具		T6SM2		LF-105SAL、A-6224																			
掃除流し	リムカバー	SK22	TK22	S-202A	掃除流しに含む		1		1				1						1				4	
	バックハンガー		T9R		SF-10E																			
	横水栓		T23AWQ20C		LF-7EZ-19																			
	止水栓		TN114		SF-202																			
	樹脂プラグ		HHO406		－																			
	床排水金具		T37GEP		SF-20SAF-P																			
コンパクト多機能トイレバック （大便器・洗面器・手洗器・オストメイト）	温水便座、リモコン	UADBK61R1A1ADD2BA	TCF5840AUPN	PTWC-HC101R1A1AWWW AC-BK-F62, AC-CB-01	CW-PC12-CK-UR-TU		1				1			1							1		4	
散水栓		T28UH20		LF-13-19-U																		11	11	散水栓BOXは建築工事
横水栓			T28AKUH13		LF-35G-13-CV			1															1	
壁掛洗面器	台付自動水栓、止水栓	L210CM	TLE26706J	L-176UN	AM-320TCV1			1															1	
	排水金具		TL250D、TLDP2105J		LF-105PA、A-6224																			
	水石蔵入れ		TS126AR		KF-24F																			
□特記事項 ・器具の仕様は「公共建築工事標準仕様書」に準拠すること ・給水器具については、日本水道協会（JWWA）等の第三者機関の認証品とする ・温水洗浄便座のコンセントプラグは、E L B付とする ・電気温水器の定格加熱能力及び定格消費電力は、JIS C 9129による ・その他、標準付属品一式を付属とする ・電気温水器の加熱能力は、JIS C 9228の定熱条件及び試験方法による ・保温仕様1：給湯配管の保温厚は、管径40mm未満は30mm以上とし、管径40mm以上125mm未満は40mm以上とする □上記器具表に記載無き、以下の器具は別途建築工事とする ●鏡 ●手すり ●ベビーチェアー ●ベビーベット ●洗面化粧台 ●洗面カウンター ●流し台 ●地流し																								



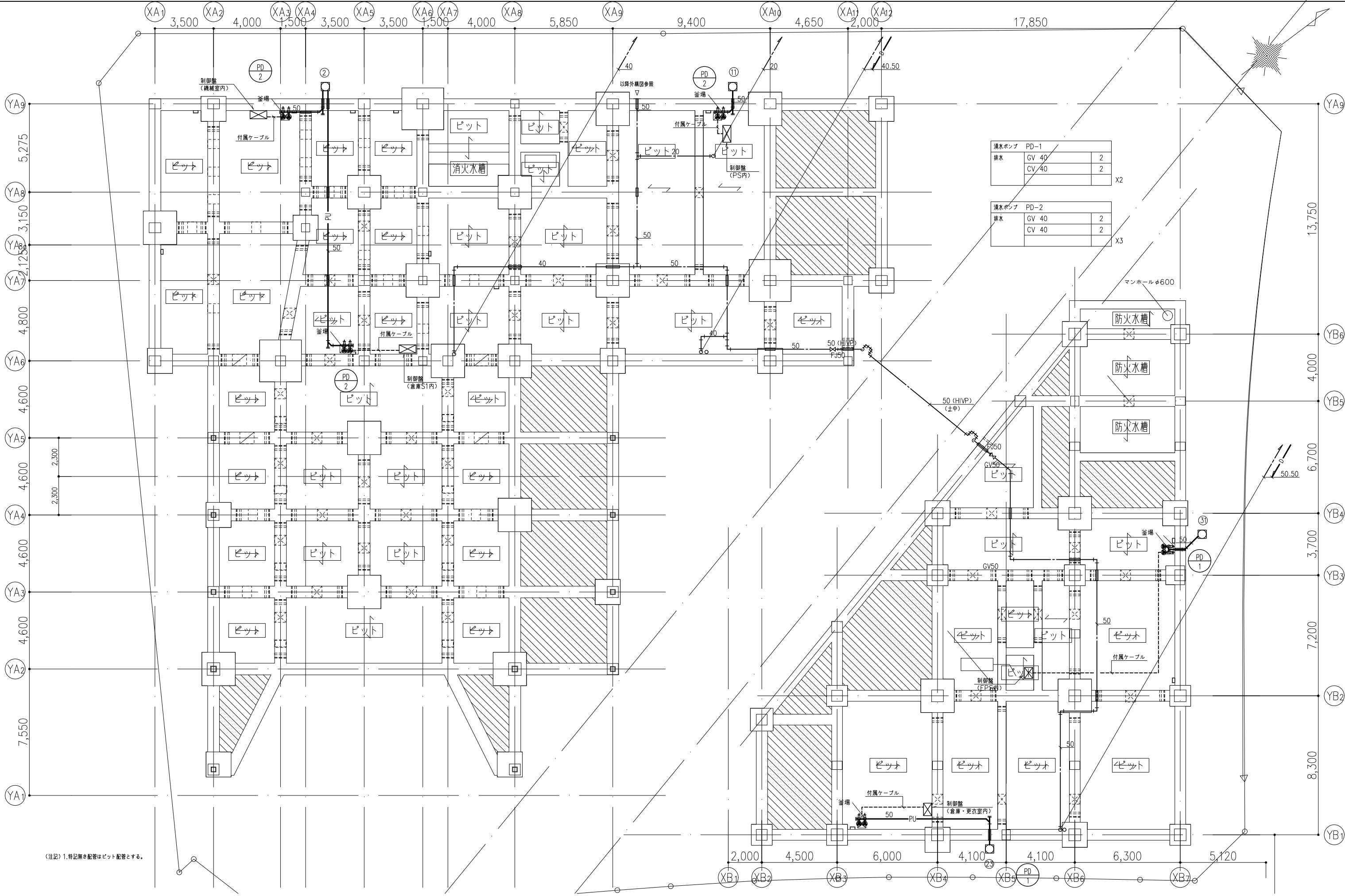
給排水配管系統図

〈注記〉1. 室名の □ は直天を示し、内露出配管とする。
2. ㊦ は漏水試験點手を示す。

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号	一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE	DRAWING No.
		CHECKED				CHECKED	給排水設備 配管系統図
		APPROVED	APPROVED	SCALE		DATE	
						scale=N.S(A3)	2023/10/24



This architectural site plan illustrates the layout of the Nishimura Public Office Building. The plan includes detailed dimensions for building sections and setbacks, as well as elevation markers. Key features include a central rest area, a reception desk, and various utility and infrastructure points. The plan is oriented with a north arrow pointing towards the top right.



(注記) 1. 特記無き配管はピット配管とする。

KENGO KUMA & ASSOCIATES

限研吾建築都市設計事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

一級建築士

登録第3193352号

宮原賢次

DRAWN

CHECKED

APPROVED

COMPLETION DRAWING

DRAWN

CHECKED

APPROVED

REVISION

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE

給排水設備 ピット 配管平面図

SCALE

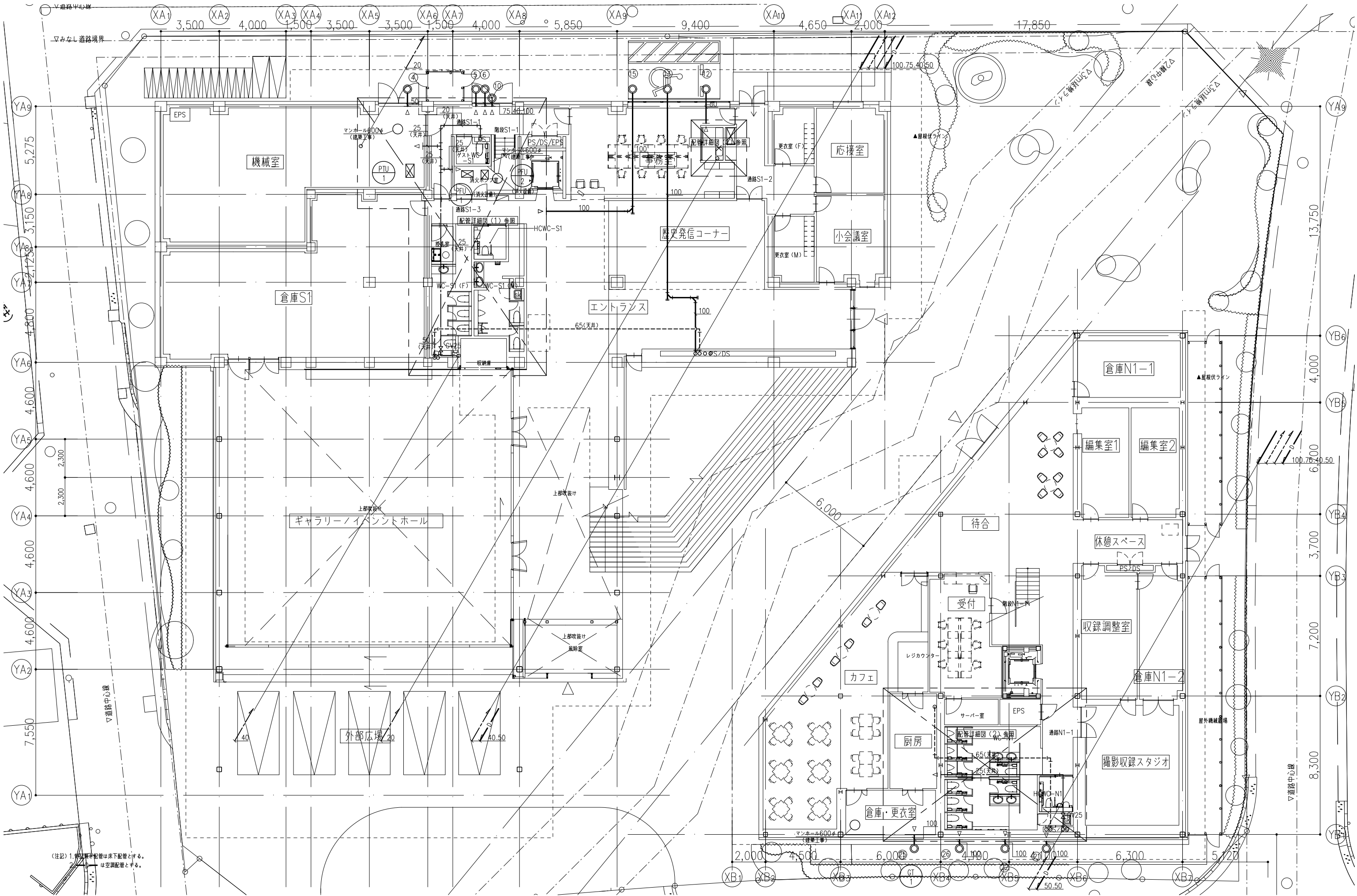
scale=1:200(A3)

DRAWING No.

M-305

DATE

2023/10/24



KENGO KUMA & ASSOCIATES

隈研吾建築都市設計事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

一級建築士

登録第3193352号

宮原賢次

DRAWN

CHECKED

APPROVED

COMPLETION DRAWING

DRAWN

CHECKED

APPROVED

REVISION

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE

給排水設備 1階 配管平面図

SCALE

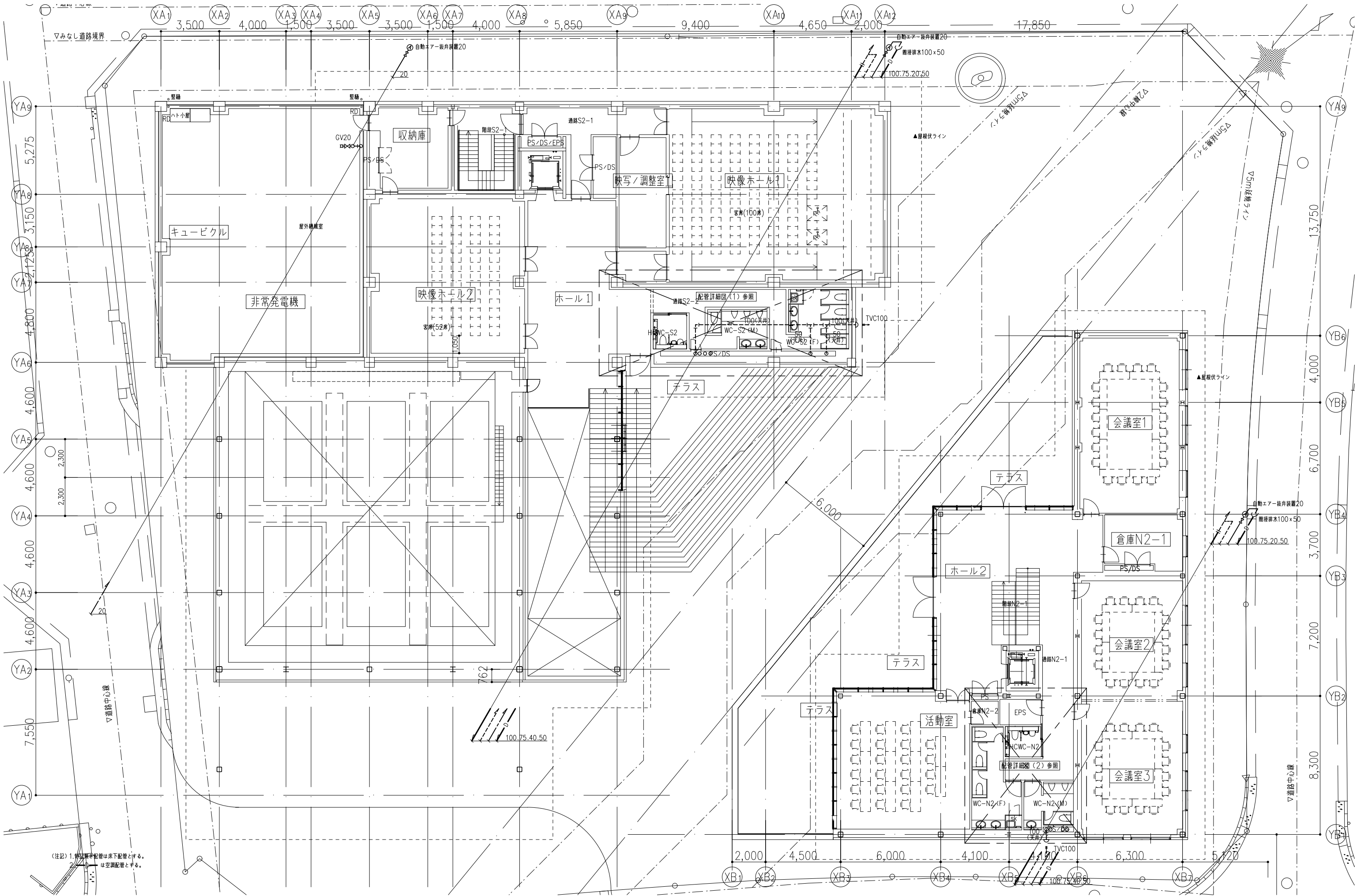
scale=1:200(A3)

DRAWING No.

M-306

DATE

2023/10/24



(注記) 1. 排水配管は床下配管とする。
2. 空調配管とする。

KENGO KUMA & ASSOCIATES

隈研吾建築都市設計事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

一級建築士

登録第3193352号

宮原賢次

DRAWN

CHECKED

APPROVED

COMPLETION DRAWING
DRAWN

CHECKED

APPROVED

REVISION

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE

給排水設備 2階 配管平面図

SCALE

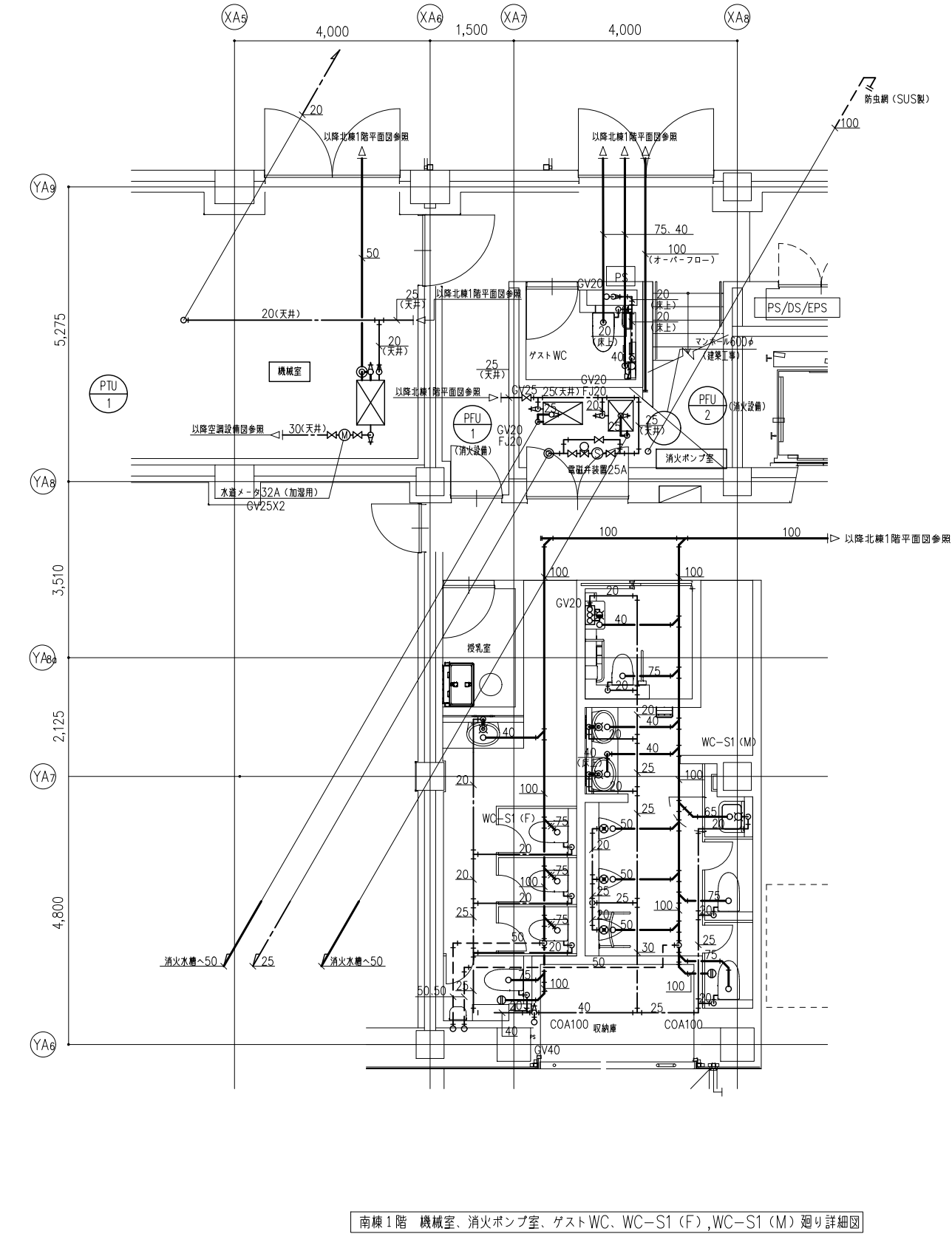
scale=1:200(A3)

DRAWING No.

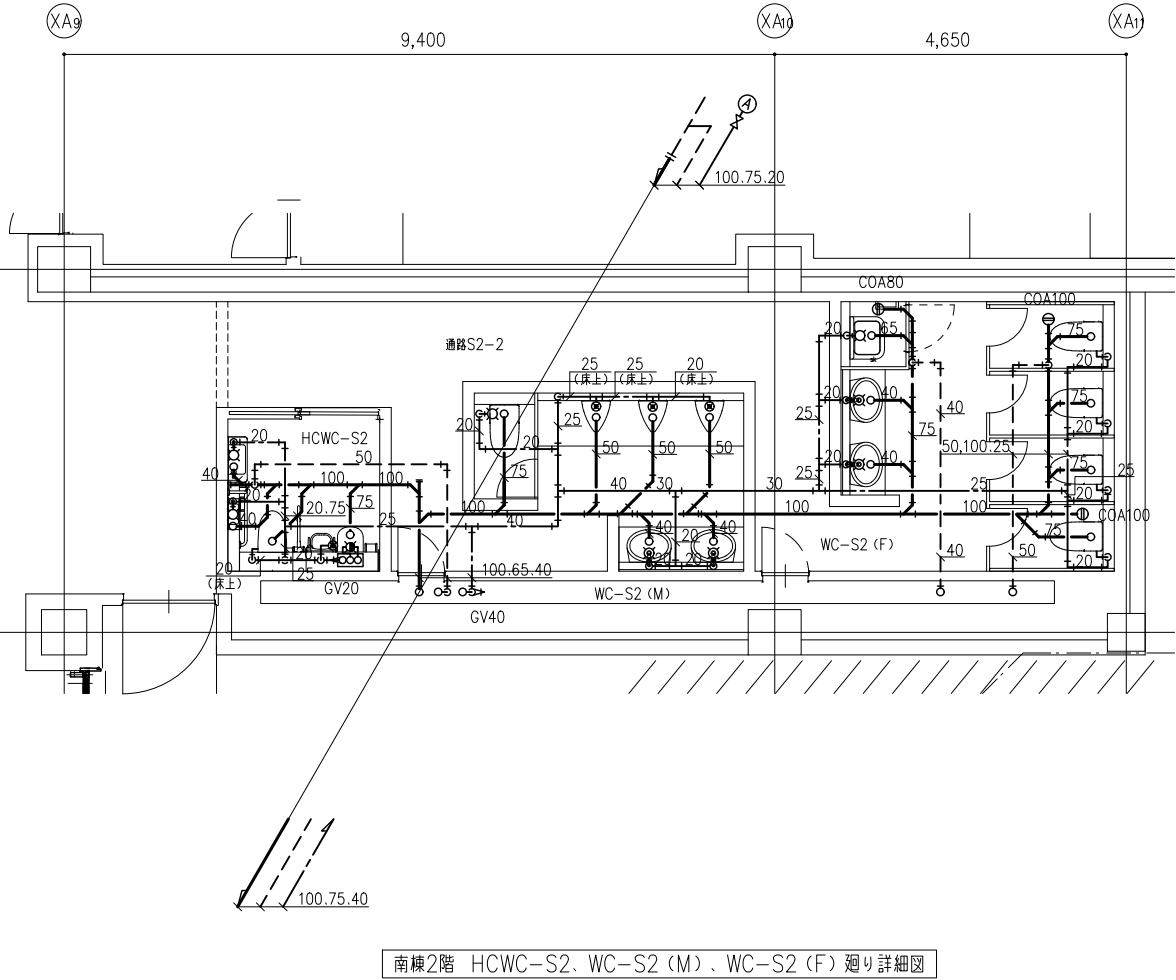
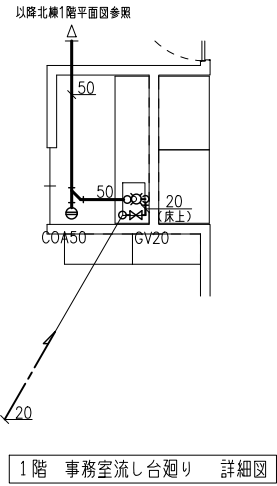
M-307

DATE

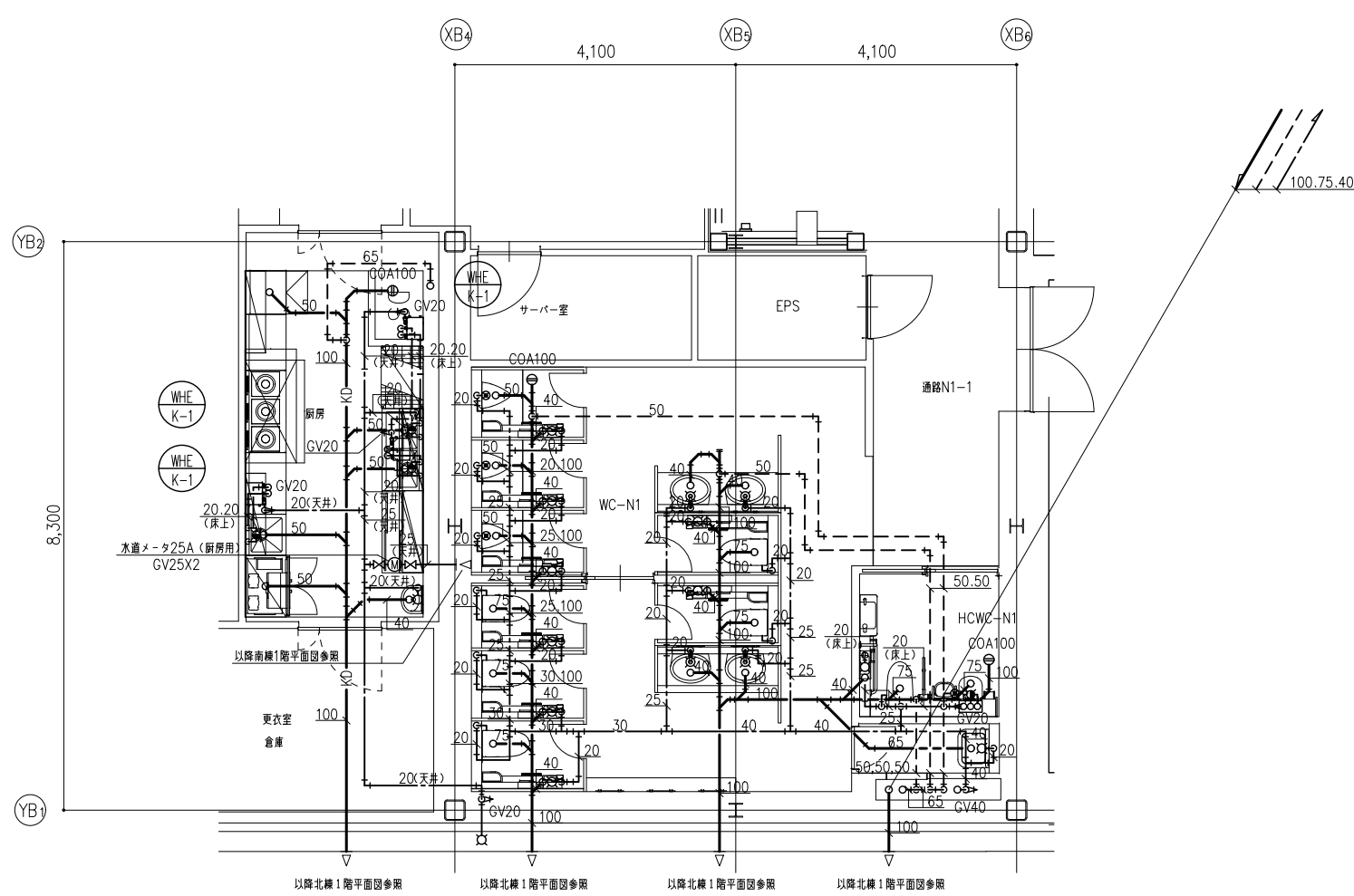
2023/10/24



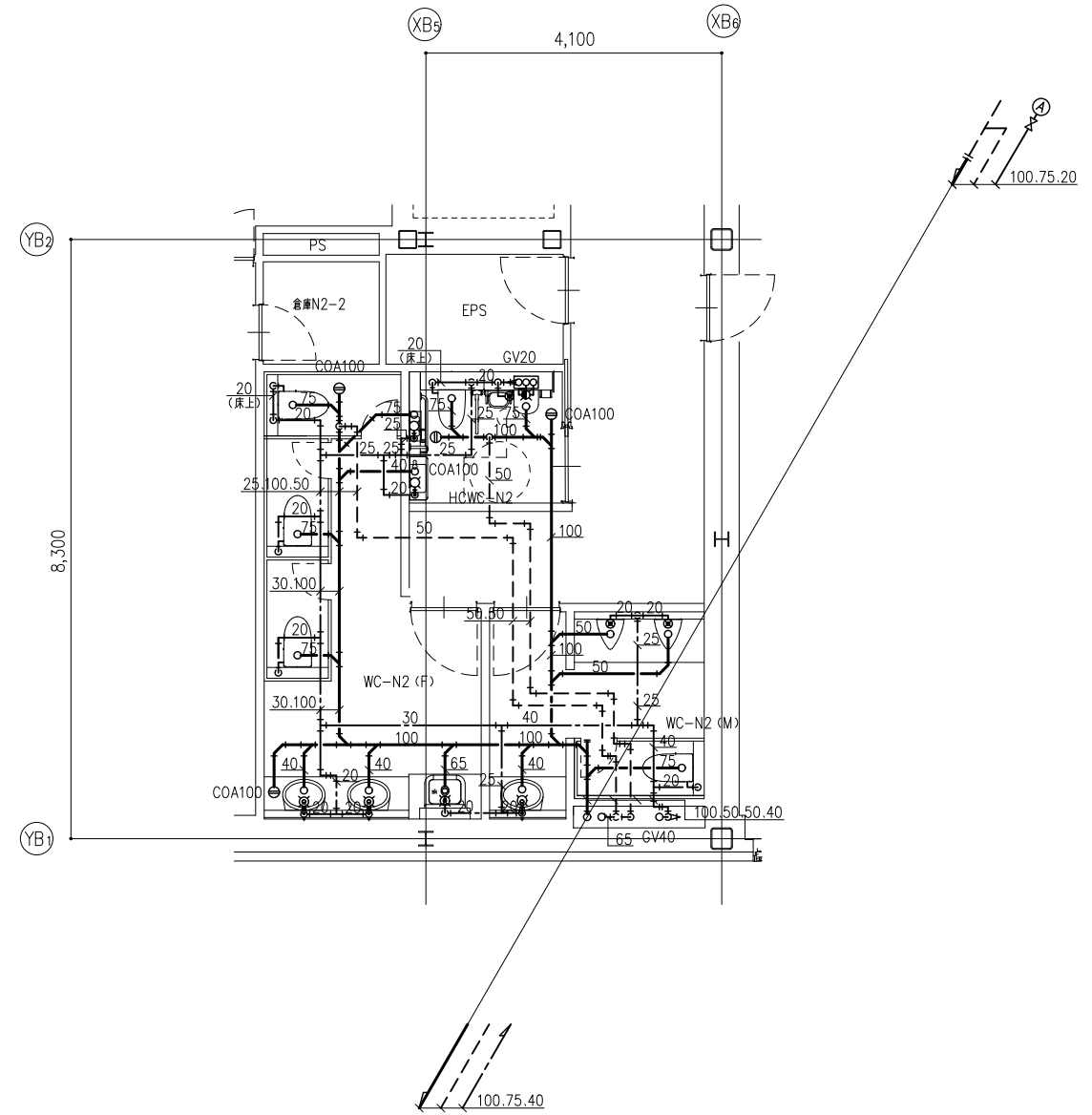
受水槽一体形加圧給水ポンプ WT-1		
吐出	GV 32	1
	CV 32	1
	防振継手 32	1
給水補給	GV 20	1
	FJ 20	1
	BT 20 (付属品)	1
排水	GV 25	1
	間接排水 100X50	1
	防虫網 (SUS製) 50	1



〈注記〉1. 特記無き配管は床下配管とする。
2. 室名の □ は直天を示し、内露出配管とする。

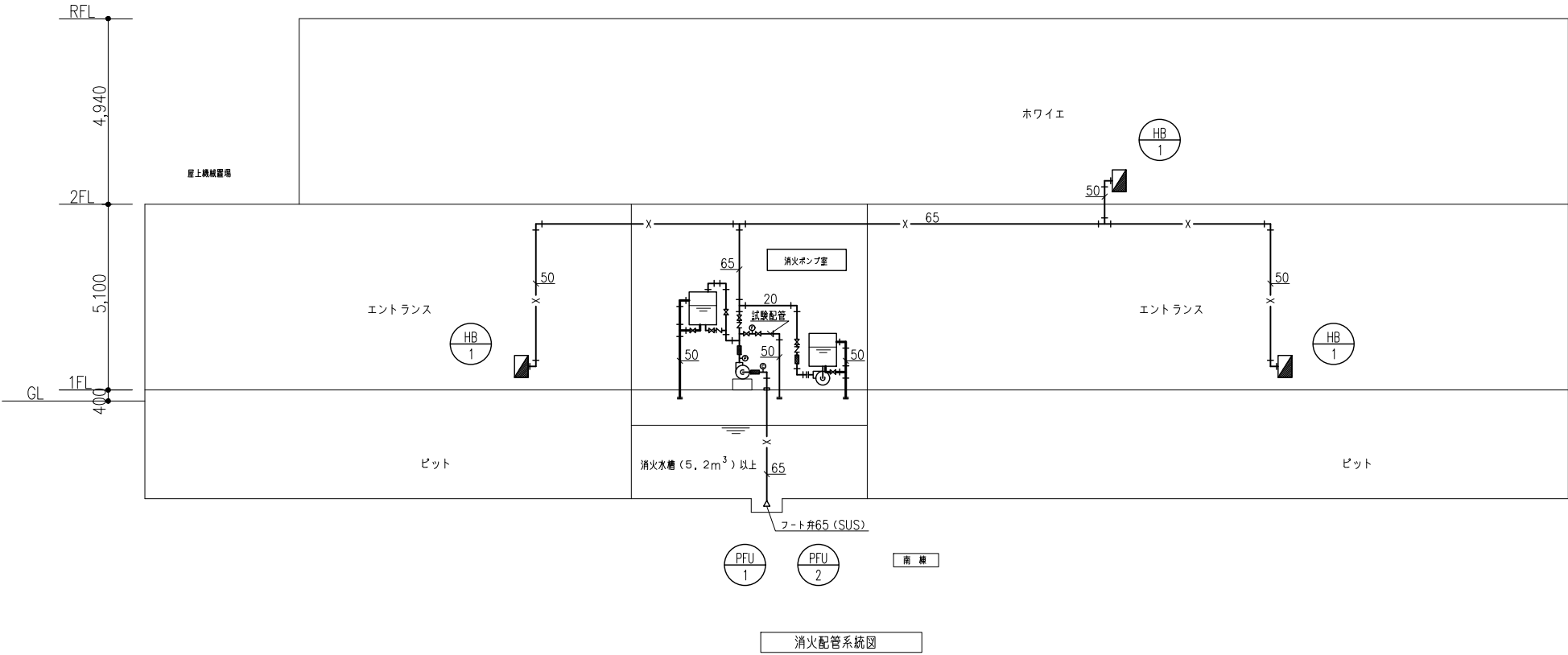


北棟1階 WC-N1、HCWC-N1、厨房廻り詳細図



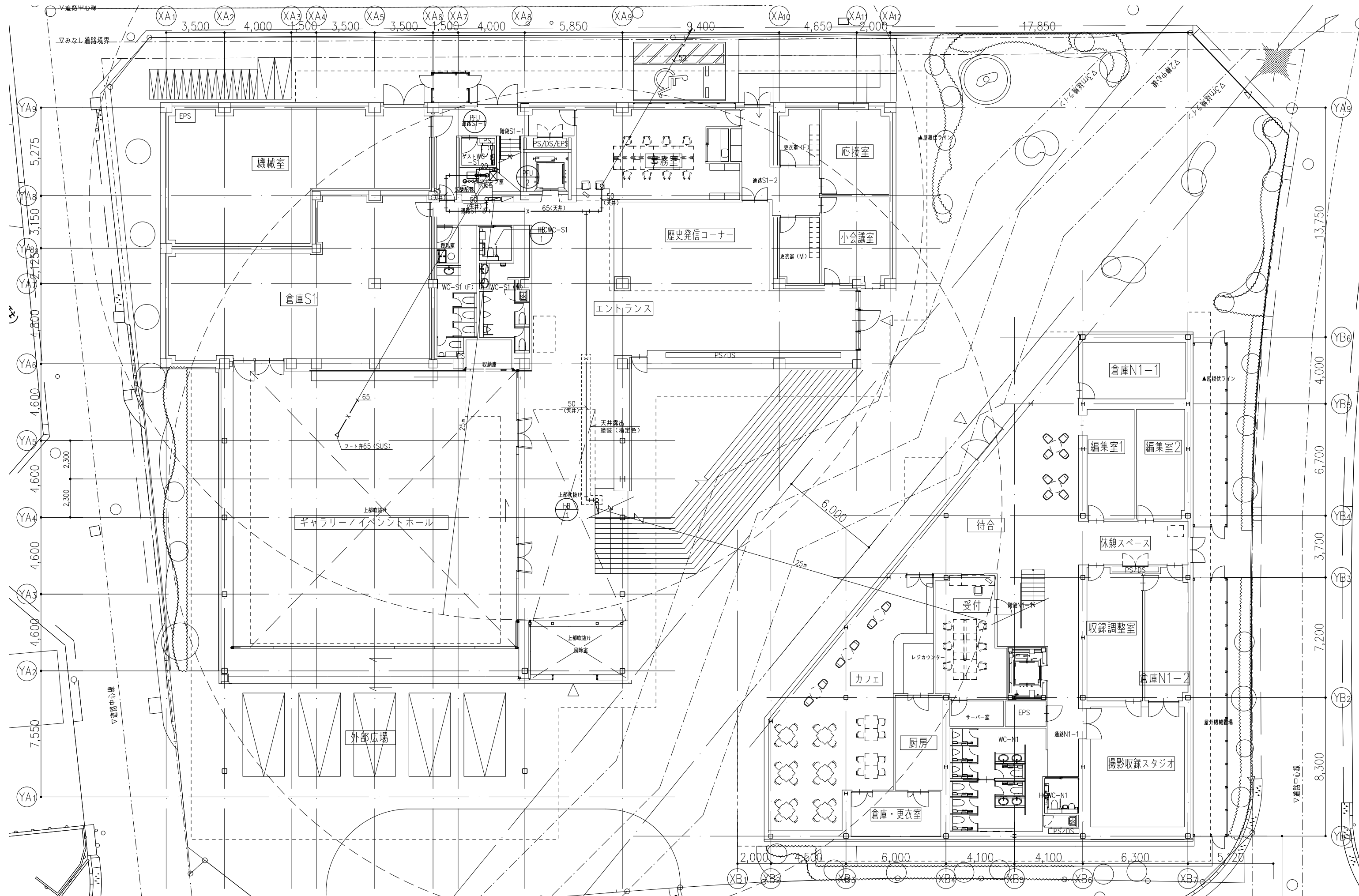
北棟2階 WC-N2 (F)、HCWC-N2、WC-N2 (W) 廻り詳細図

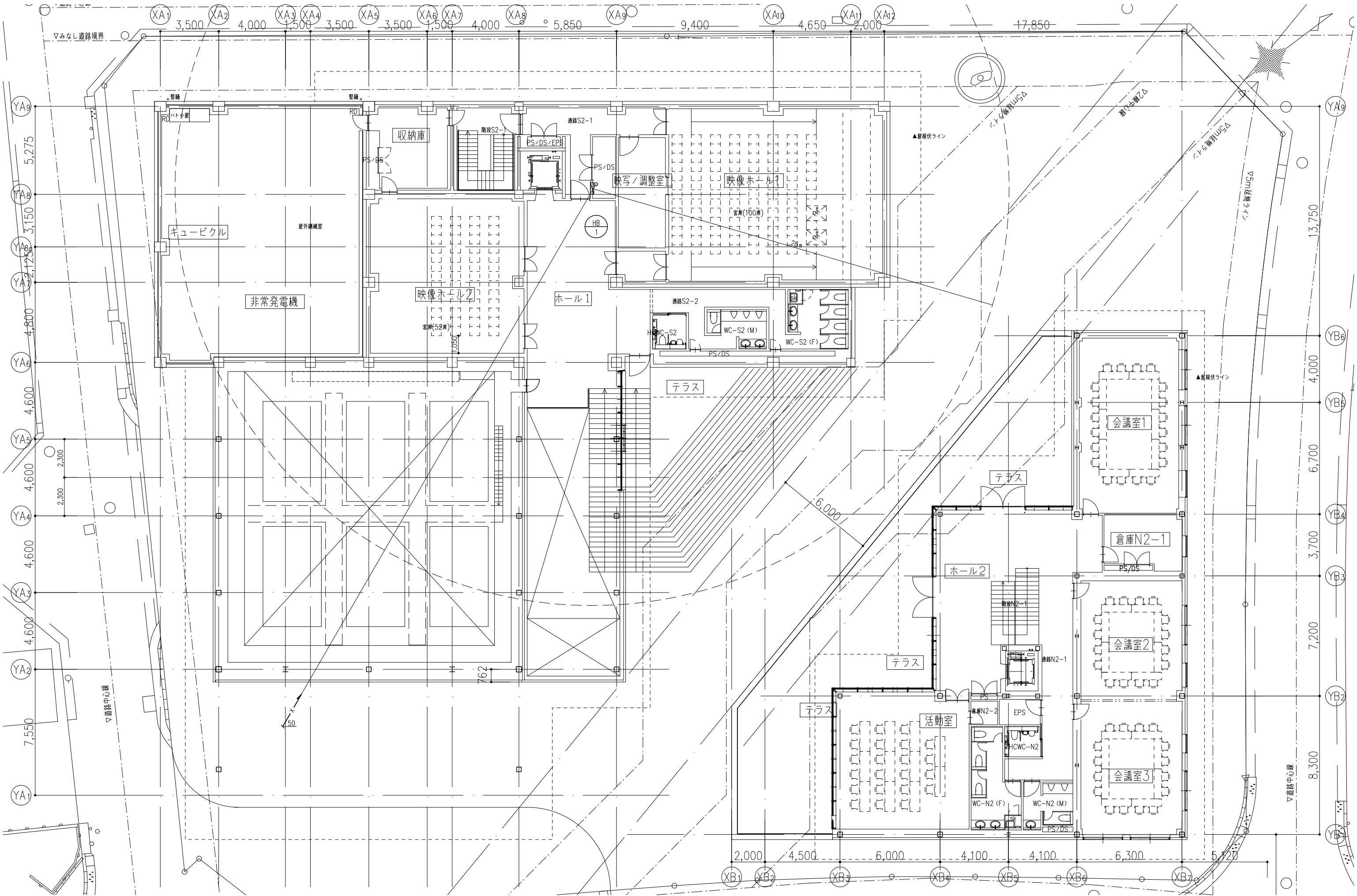
(注記)1. 特記無き配管は床下配管とする。
2. 室名の □ は直天を示し、内露出配管とする。



（注記）1. 室名の □ は直天を示し、内露出配管とする。
2. 〇は満水試験観手を示す。

KENGOKUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号	一級建築士 登録第3193352号 宮原賢次	DRAWN	COMPLETION DRAWING DRAWN	REVISION	東海市創造の杜交流館建設工事	DRAWING TITLE 消火設備 配管系統図	DRAWING No. M-310
		CHECKED	CHECKED			SCALE scale=N.S(A3)	DATE 2023/10/24
		APPROVED	APPROVED				





KENGO KUMA & ASSOCIATES

隈研吾建築都市設計事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録第 3275 号

一級建築士

登録第3193352号

宮原賢次

DRAWN

CHECKED

APPROVED

COMPLETION DRAWING

DRAWN

CHECKED

APPROVED

REVISION

東海市創造の杜交流館建設工事

DRAWING TITLE

消火設備 2階 配管平面図

SCALE

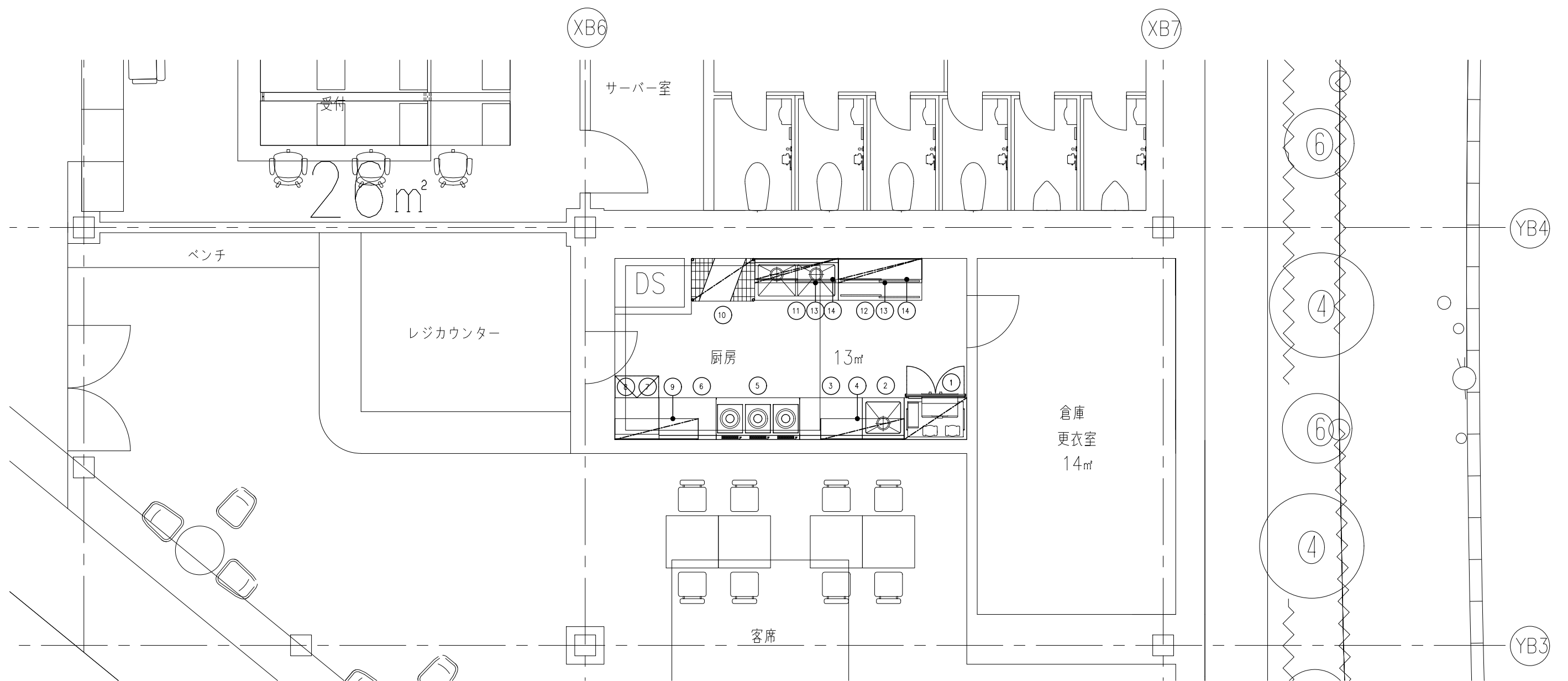
scale=1:200(A3)

DRAWING No.

M-312

DATE

2023/10/24



No.	品 名	形 式	台 数	寸 法 (mm)			配 管 □ 径 (A)				都 市 ガ ス		電 気 (60Hz,kW)			フ ィ ド	備 考
				W	D	H	給水	給湯	排 水		□ 径 A	kW	単相 100V	単相 200V	三相 200V		
									機 器 側	設 備 側							
ー	< >																
1	冷凍冷蔵庫	HRF-90AT-1-ML	1	900	650	1910			φ30	50			0.378				定格内容積：553L(冷蔵室427L・冷凍室126L)
2	一槽シンク		1	600	600	800	15	15	40	50							
3	ワークテーブル		1	900	600	800											
4	平棚		1	1200	300	250											
5	電磁調理器	HIH-555T12E-1	1	1200	600	800									5.0×3	GF	
6	ワークテーブル		1	820	600	800											
7	キューブアイスメーカー	IM-65M-2	1	630	525	800	GV15		20	50			0.35				
8	製氷機天板		1	635	600	40											
9	平棚		1	1200	300	250											
10	スーパ－エレクターシェルフ (I)	LS910・P1900	1	910	613	1892											三方枠付き / 棚三段
11	二槽シンク		1	1200	600	800	15×2	15×2	40×2	50×2							
12	キャビネットテーブル		1	1200	600	800											
13	吊戸棚		2	1200	350	600											
14	平棚		2	1200	300	250											
	合 計												0.728		15		